

公庫レポート

◇日本人・訪日客の沖縄旅行に関する調査 (2024年版)

第一部 日本人の沖縄旅行に関する調査

第二部 訪日客の沖縄旅行に関する調査



日本人・訪日客の沖縄旅行に関する調査（2024年版）

第一部 日本人の沖縄旅行に関する調査

第1章 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. データ提供を受けた調査の概要.....	1
3. 旅行市場の動向.....	2
第2章 調査要旨	3
第3章 沖縄旅行実施者及び国内旅行者全体の動向	7
1. 旅行者の属性と旅行内容.....	7
(1) 回答者属性.....	7
(2) 居住地.....	8
(3) 同行者.....	9
(4) 予約時期.....	10
(5) 旅行形態.....	11
(6) 旅行先での交通手段.....	12
(7) 宿泊数.....	14
(8) 宿泊施設.....	15
(9) 現地活動、現地ツアー等の参加率.....	16
(10) 旅行費用.....	18
(11) 来訪経験.....	19
(12) 他検討先.....	20
2. 満足度と再来訪意向.....	21
(1) 総合満足度.....	21
(2) 再来訪意向.....	22
第4章 沖縄旅行意向者の特徴・ニーズ	27
1. 沖縄旅行意向者の属性.....	27
(1) 性別・年代.....	27
(2) 居住地.....	27
(3) ライフステージ.....	28

(4) 世帯収入	28
(5) 旅行頻度	28
2. 沖縄旅行意向者のニーズ	29
(1) 旅行の動機	29
(2) 今後1～2年に行ってみたい旅行タイプ	30
(3) 旅行タイプ別の今後1～2年に行ってみたい旅行先	31
第5章 沖縄に求められる取組	34

第二部 訪日客の沖縄旅行に関する調査

第1章 調査概要	36
1. 調査の目的	36
2. データ提供を受けた調査の概要	36
第2章 調査要旨	37
第3章 調査結果	40
1. 旅行者全体の動向	40
(1) 訪日市場の回復状況	40
(2) 訪日旅行内容の変化	41
(3) 日本のポジション	44
(4) 沖縄の認知・訪問経験・訪問意向	46
2. 沖縄訪問経験者の動向	48
(1) 沖縄訪問経験者の定義	48
(2) 那覇空港における航空便の回復状況	48
(3) 訪日外国人における沖縄旅行実施者の回復状況	50
(4) 「沖縄県」における体験	53
(5) 沖縄訪問経験者のサステナブルに関する意識と行動	59
(6) 沖縄訪問経験者の訪日時のトラブル経験	61
3. 沖縄訪問意向者の特徴・ニーズ	62
(1) 沖縄訪問意向者の定義	62
(2) 人物像	62
(3) 沖縄訪問意向者における訪日時の体験意向	65
(4) 自国で実施した日本に関する活動とその効果	67
第4章 沖縄に求められる取組の視点	69

第一部

第一部 日本人の沖縄旅行に関する調査

第1章 調査概要

1. 調査の目的

2020年のコロナ禍以降、沖縄への入域観光客数は大幅に減少していたが、2023年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、社会経済活動は概ね正常化し国内観光客数は回復した。今後はコロナ禍前水準以上の入域観光客数が見込まれるが、コロナ禍を経て、旅行者の志向や観光ニーズは変化しており、国内各地では、持続可能な観光、消費額拡大、地方誘客促進など、高付加価値観光を含む様々な取組みが進められている。

本調査では、2020年度より公益財団法人日本交通公社（以下、「JTBF」という）が実施している「JTBF 旅行意識調査」及び「JTBF 旅行実態調査」を基に、沖縄を訪問した・又は訪問意向のある日本人旅行者の特徴やニーズに関する調査分析を行い、受入側の沖縄に求められる取組等について行政及び民間事業者へ情報提供を行うことを目的とする。

2. データ提供を受けた調査の概要

調査名	JTBF 旅行実態調査		JTBF 旅行意識調査
	全体調査	トリップ調査 国内宿泊観光旅行*1	
調査項目	主に、実施した旅行の内容		主に、旅行に対する意識
調査対象	全国 16～79 歳の男女 調査会社のパネルより抽出*2	期間中に観光・レクリエーション旅行を実施した人	全国 18～79 歳の男女 調査会社のパネルより抽出*2
調査方法	ウェブ調査		郵送自記式調査
調査時期	四半期毎（4-5月、7月、10月、1月）		年1回（5-6月）
標本の大きさ (人) / トリップ数*3 (件)	各回 50,000	<2024 年度調査> 各回約 1,500/2,400	約 1,200

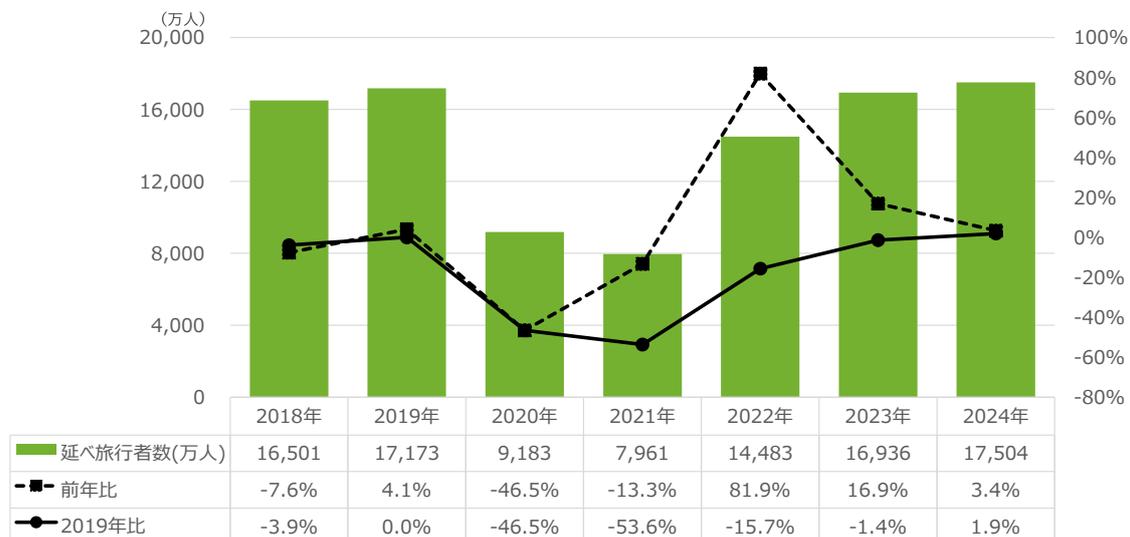
*1：海外観光旅行も調査対象としているが、今回は国内旅行を分析対象とした。

*2：地域、性別、年代の層別の全国人口構成比に基づき、調査会社のモニターを割り当て。

*3：トリップ数は旅行回数を指す。例えば、期間中に1人が2回旅行に行った場合は、標本の大きさは1人、トリップ数は2件となる。

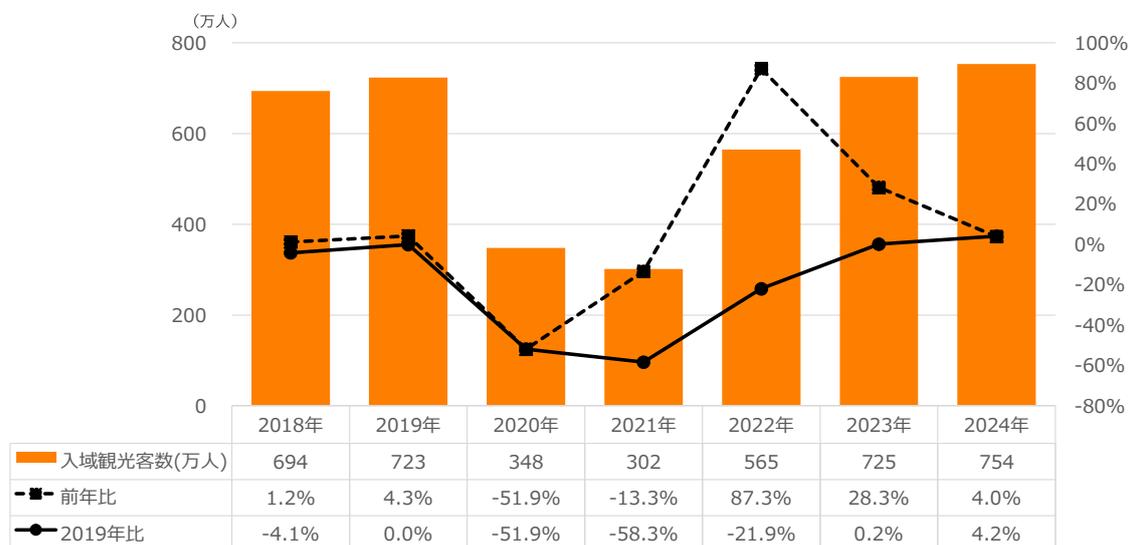
3. 旅行市場の動向

【図表 1-1】国内宿泊観光・レクリエーション延べ旅行者数の推移



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査（2024年1-9月:確報、10-12月:速報）」（2025年2月20日時点）よりJTBF作成

【図表 1-2】沖縄県入域観光客数（国内客）の推移



出典：沖縄県「入域観光客数概況」（2025年1月27日時点）よりJTBF作成

第2章 調査要旨

1. 沖縄旅行実施者の動向

①居住地 - 域内旅行の減少

- ・ 「関東」が最多で半数弱を占め、2019年同期と比べ、その割合は高まった。
- ・ コロナ禍の特徴であった「沖縄県内」割合は4.0%にとどまった。全国的にみても、域内旅行割合はコロナ禍前の水準に戻りつつある。

②同行者 - ひとり旅の増加

- ・ 2019年同期と比べ、「自分ひとり」が増加し（15.9%⇒19.3%）、「子供連れ家族（小中高生連れ）」及び「子供連れ家族（乳幼児連れ）」が減少した（13.0%⇒12.0%、9.6%⇒5.3%）。

③予約時期 - 全国に比べ早期に予約

- ・ 予約時期は5か月前まで（「1年以上前」「半年～1年前」「3～5か月前まで」を合わせて）が48.3%を占めた。この値は全国（30.9%）に比べて17.4ポイント高く、飛行機を利用する沖縄旅行の予約時期は早い。

④旅行形態 - 個別手配の増加

- ・ コロナ禍前の状況に戻りつつあるが、2019年同期と比較して、「個別手配」は10.6ポイント増加した。コロナ禍前から進んでいた個別手配の流れは、コロナ禍によって加速した。
- ・ ただし、近年では、物価高などの影響で節約志向からパッケージ旅行も選択されているものと推察される。

⑤旅行先での交通手段 - 公共交通利用の増加

- ・ 半数以上が「レンタカー」を利用したが、2019年同期と比べ、4.3ポイント減となった。一方、公共交通機関については、「列車（モノレール含む）」、「路線バス」とも増加傾向にある。沖縄県やOCVB、民間事業者は、レンタカーから公共交通利用への転換を狙った取り組みを実施しており、また、「Z世代」、「ミレニアル世代」と呼ばれる、主に現在10代後半～30代の世代の車離れも影響していると考えられる。

⑥宿泊数 - 4泊以上の増加

- ・ 「4泊」及び「5泊以上」を合わせた割合が前年同期から4.7ポイント増、「1泊」の割合が4.1ポイント減となり、平均宿泊数が延びた。コロナ禍前の2019年同期と比べても、「4泊」及び「5泊以上」の割合は増加、「1泊」の割合は減少した。

⑦現地活動 - 現地ツアー・体験プログラム参加率は回復途上

- ・ 全国に比して沖縄旅行が10ポイント以上高い活動は、「リゾート滞在（海浜）」、「海水浴・マリンスポーツ」、「自然や景勝地の訪問」であった。

- ・ 現地ツアー・体験プログラム参加率は、沖縄旅行においては32.4%であり、全国13.5%に比べて18.8ポイント高い。沖縄旅行における参加率は着実に回復しているものの、2019年同期を下回っている。

⑧旅行費用 - 旅行費用の上昇

- ・ 全国に比べて高い水準にある沖縄旅行の1人あたりの旅行費用は、前年同期、コロナ禍前の2019年同期と比べ、7万円以上の比較的高価格帯が微増した。物価高騰にともなう宿泊料金の上昇等の影響を受けたものと考えられる。

⑨来訪経験 - 初来訪者割合の減少

- ・ 「初めて」が17.9%であり、前年同期に比べ8.9ポイント減少した。「2～4回目」は53.7%（同12.7ポイント増）、「5回目以上」は28.3%（同3.9ポイント減）となった。「初めて」の割合が減少したことの要因のひとつには、物価高の影響もあって比較的高い費用の沖縄旅行に初めて行くことに躊躇している可能性も考えられる。

⑩他検討先 - 他検討先としての海外旅行の増加

- ・ 旅行先決定に際し、他に検討した旅行先があったかについては、海外も含めた検討は2019年同期と比べ4.5ポイント減ではあるものの、2021年同期を底に、徐々に増加している。今後、沖縄旅行者が海外旅行に移行する可能性も懸念される。

⑪総合満足度・再来訪意向 - 満足度の低下、初来訪者の再来訪意向の低下

- ・ 沖縄旅行の「大変満足」の割合は、前年同期に比べ3.8ポイント減、2019年に比べ5.7ポイント減となった。全国各地で旅行者の誘客強化が行われ、海外旅行を検討する人も増加するなか、旅先ならではの食や思い出を作ること等を一層強く求める旅行者に対し、適切なサービスが提供出来ているかとの検証が必要ではないか。
- ・ 満足度別再来訪は、大変満足した場合は「ぜひまた訪れたい（大変そう思う）」が84.0%を占めるのに対し、満足した場合の同割合は32.1%に低下する。再来訪につなげるためには、大変満足してもらうことが重要である。
- ・ 沖縄旅行における来訪経験別の再来訪意向をみると、2019年に比べ、リピーター（2～4回目及び5回目以上）の再来訪意向は高まったのに対し、初来訪者の再来訪意向は低下した。

⑫地域住民の旅行者に対する思い - どの年代でも沖縄の人は比較的観光客を歓迎

- ・ 居住地域に旅行者が訪れることについてどう思うかを尋ねたところ、沖縄県居住者の「来て欲しい（来て欲しい+まあ来てほしい）」層は45.3%（日本全体26.7%）、「来て欲しくない（あまり来て欲しくない+来て欲しくない）」は21.2%（日本全体34.5%）であった。沖縄県居住者については、どの年代でも日本全体と比べて来て欲しい層の割合は高く、比較的観光客を歓迎していると言えるだろう。

⑬居住地域における混雑や住民生活への負の影響等の発生認識 - 混雑等を認識

- ・ 居住地域において、観光客の来訪によって混雑や住民生活への負の影響等が発生していると思うか、という質問に対して「発生していると思う」という回答は、沖縄県居住者では 17.0%であった。
- ・ 観光が沖縄の発展に「重要だと思う」「やや思う」との回答が過半数となる一方、京都などの観光地と同様にオーバーツーリズムの課題を感じる回答も一定数あることから、観光立県を推進するに当たってはその対策が求められる。

2. 沖縄旅行意向者の特徴・ニーズ

①旅行の動機 - コロナの状況からの解放、食ニーズの高まり

- ・ 沖縄旅行意向者の旅行動機は、2020 年のコロナ禍以降、「日常生活からの解放」が継続して最も多かったが、2024 年は「旅先のおいしいものを求めて」が最多となった。
- ・ 全国と比べて、沖縄により求められているものは、「旅先のおいしいもの」、「思い出をつくる」、「家族の親睦」、「ぜいたく」であり、これらの割合は、コロナ禍前、前年と比べて増加している。

②今後 1～2 年の間に行ってみたい旅行タイプ

- コロナ禍前も今も自然や海が高評価、テーマパークへの注目大

- ・ 沖縄旅行意向者が、今後行ってみたい旅行タイプのトップは、コロナ禍前から変わらず「海浜リゾート」。海や島、リゾート関連の多さが沖縄旅行意向者の特徴。
- ・ 沖縄旅行意向者において、コロナ禍前、前年と比べて増加傾向にある旅行タイプは、「海浜リゾート」、「現地グルメ」、「温泉旅行」、「テーマパーク・レジャーランド」、「おしゃべり旅行」、「スポーツ観戦」などであった。特に、「テーマパーク・レジャーランド」については、コロナ禍前と比べて 1 割弱増加した。全国的にもニーズは高い。

③旅行タイプ別の今後 1～2 年の間に行ってみたい旅行先 - 自然や海関連の沖縄シェア拡大

- ・ 沖縄県が上位 3 位以内となった主な旅行タイプは以下の通り。
自然観光、海浜リゾート、マリンスポーツ、海水浴、離島観光、リゾートホテル、動物園・水族館、ホテルステイ、秘境ツアー、ロングステイ
- ・ 「海浜リゾート」については、過去 6 年で最高の水準であり、前年から 10 ポイント以上増加した。沖縄県が上位 3 位以内となった旅行タイプにおける沖縄県シェアは「離島観光」を除いて前年から増加した。

3. 沖縄に求められる取組

①早期の情報提供

- ・ 早期の予約や、海外旅行と比較しての検討など、コロナ禍前への回帰が進んでいることから、沖縄で楽しめることについて、産業祭りや離島フェア、おきなわ花と食のフェスティバル、やちむん市等の各種イベント情報も含め、早めに伝えていくことが必要である。各種イベントへの参加をプログラムに組み込んだ旅行商品（半日ツアー）の開発等も考えられる。

- ・ テーマパークは全国的にもニーズが高く、沖縄でも注目が高まっている。ジャングリア沖縄のオープンを7月に控え、早めの情報提供を行って沖縄観光に取り入れてもらうことが重要である。

②地域に根付いた従来からある資源の活用とアクティビティの充実

- ・ 沖縄に根付いている資源にこそ価値がある。これらの資源を活用・発信することで、持続可能な経済循環を促進し、付加価値を高めることができる。そのためには、地域住民との交流や自然とのふれあい、食体験などを通じて、いかに地域への敬意を育みながら伝えていくかが重要となる。
- ・ 行ってみたい「海浜リゾート」のポイントが過去最高の「今」をチャンスと捉え、魅力的なアクティビティ等の提供により、沖縄の印象をしっかりと伝える必要がある。また、再来訪につなげるためには、「大変満足」してもらうことが重要である。
- ・ 1回沖縄に来てもらい、ダイビングや集落歩き、紅型ややちむんづくりなど、心に刺さるアクティビティを体験してもらうことが重要となる。コロナ禍において減少したアクティビティ事業者の数がまだ戻り切れていないと推察されるため、アクティビティの充実・回復が求められる。

③公共交通の利用促進・利便性向上

- ・ 全国と同様、沖縄でも「ひとり旅」が増加していることに加え、若者の車離れ、脱炭素社会に向けた環境負荷軽減、観光客の来訪にともなう渋滞の緩和などの観点から公共交通の利便性向上・利用促進が欠かせない。
- ・ 利用者目線の分かり易い乗り継ぎ案内やバス停の改善などによる利便性向上、「おきなわのりもの旅」や、「のりものNAVI」や「GoogleMAP」等の運行情報提供サイトの紹介といった公共交通の利用促進も重要である。

(担当：平良、島)

第3章 沖縄旅行実施者及び国内旅行者全体の動向

本章では、沖縄及び国内全体の旅行動向を把握するため、コロナ禍以前の2019年から2024年（第三四半期まで）の旅行内容の比較分析、旅行意識・行動に関する分析を行う。

なお、経年推移を確認するため、「1.旅行者の属性と旅行内容」及び「2.満足度と再来訪意向」については2024年1-9月と同期（1-9月）を比較対象とすることとし、2019年～2023年の年間値については参考として示した。

1. 旅行者の属性と旅行内容

(1) 回答者属性

【図表 3-1】旅行者の性別、年代別（1～9月）

(%)

	沖縄県									全国							
	2019年 1-9月 (n=345)	2020年 1-9月 (n=208)	2021年 1-9月 (n=134)	2022年 1-9月 (n=114)	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2019年との差 前年との差		2019年 1-9月 (n=6939)	2020年 1-9月 (n=5007)	2021年 1-9月 (n=4263)	2022年 1-9月 (n=4357)	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2019年との差 前年との差		
性別	男性	62.0	51.9	55.2	55.3	59.3	54.8	-7.2	-4.5	52.7	53.5	51.6	50.4	52.4	52.7	-0.1	0.3
	女性	38.0	48.1	44.8	44.7	40.7	45.2	7.2	4.5	47.3	46.5	48.4	49.6	47.6	47.3	0.1	-0.3
年代	10代	4.6	1.9	3.7	0.9	1.7	2.1	-2.5	0.4	4.4	4.0	4.4	1.2	1.5	3.0	-1.4	1.5
	20代	17.7	16.8	7.5	22.8	21.0	21.1	3.4	0.1	14.2	14.6	12.7	12.8	17.9	19.8	5.7	1.9
	30代	19.7	16.3	20.1	21.9	19.3	20.6	0.9	1.3	15.9	14.9	14.4	14.0	15.9	15.9	0.0	-0.0
	40代	22.6	22.6	26.9	12.3	18.0	17.1	-5.5	-0.9	19.4	19.4	18.4	18.8	18.0	16.7	-2.6	-1.2
	50代	14.8	17.3	21.6	10.5	9.8	18.4	3.7	8.6	14.9	16.4	16.5	18.1	16.2	16.6	1.7	0.4
	60代	13.0	15.9	17.2	19.3	17.3	12.0	-1.0	-5.3	17.4	16.2	17.2	17.4	15.7	14.1	-3.3	-1.6
	70代	7.5	9.1	3.0	12.3	12.9	8.6	1.0	4.3	13.9	14.5	16.4	17.8	14.8	13.8	-0.1	-1.0

【参考 1】旅行者の性別、年代別（年間値）

(参考)

(%)

	沖縄県							全国						
	2019年 (n=443)	2020年 (n=249)	2021年 (n=183)	2022年 (n=190)	2023年 (n=376)	2024年 1-9月 (n=374)	沖縄-全国	2019年 (n=9364)	2020年 (n=6511)	2021年 (n=5803)	2022年 (n=6050)	2023年 (n=8258)	2024年 1-9月 (n=7458)	
性別	男性	60.4	52.9	54.1	56.8	59.4	54.8	2.1	52.7	53.0	51.4	51.0	52.0	52.7
	女性	39.6	47.1	45.9	43.2	40.6	45.2	-2.1	47.3	47.0	48.6	49.0	48.0	47.3
年代	10代	4.7	2.3	2.8	0.5	1.7	2.1	-0.9	4.4	4.0	4.1	1.2	1.6	3.0
	20代	18.0	19.0	7.2	22.6	21.4	21.1	1.3	14.1	14.0	13.0	13.2	17.3	19.8
	30代	18.7	15.6	17.1	18.9	16.7	20.6	4.7	15.7	14.7	14.5	14.6	16.1	15.9
	40代	21.6	22.4	24.9	15.3	21.0	17.1	0.4	19.4	19.2	18.6	18.2	18.2	16.7
	50代	15.3	17.5	20.4	13.7	10.2	18.4	1.8	15.3	16.7	16.4	18.3	16.5	16.6
	60代	14.2	14.1	21.0	18.9	16.4	12.0	-2.1	17.4	16.5	17.4	17.1	15.5	14.1
	70代	7.6	9.1	6.6	10.0	12.6	8.6	-5.3	13.8	14.9	16.1	17.4	14.8	13.8

(2) 居住地

- 2024年1-9月の沖縄旅行者の居住地は、「関東」が最多で半数弱を占めた。前年同期と比べて大きな変化はみられない。2019年同期と比べると、関東及び近畿の割合が高まった。コロナ禍の特徴であった「沖縄県内」割合は4.0%にとどまった。全国的にみても、域内旅行割合はコロナ禍前の水準に戻りつつある。
- 全国的な傾向と比べ、沖縄旅行者は「関東」の割合が高い。この傾向は、コロナ禍以前よりも顕著となった。

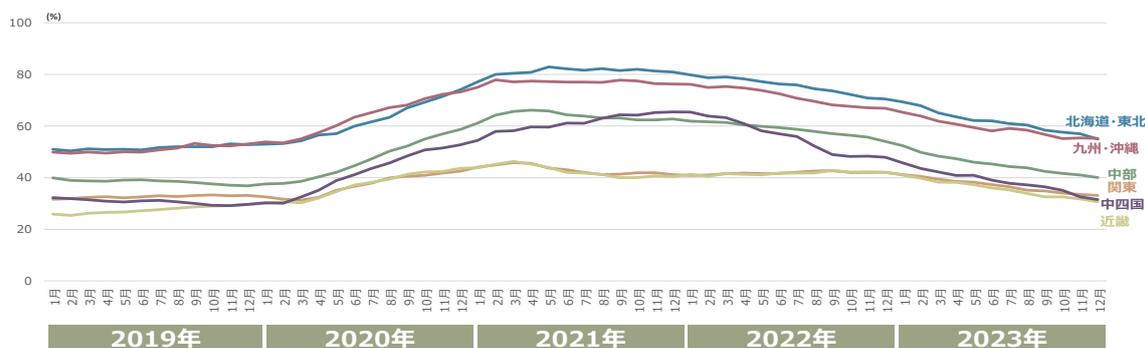
【図表 3-2】旅行者の居住地（1～9月）

		沖縄県							全国								
居住地	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2019年との差		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2019年との差		
	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	2019年との差	前年との差							1-9月	1-9月	1-9月
	(n=345)	(n=208)	(n=134)	(n=114)	(n=295)	(n=374)			(n=6939)	(n=5007)	(n=4263)	(n=4357)	(n=6263)	(n=7458)			
北海道	3.5	1.4	6.7	1.8	3.1	4.0	0.5	1.0	4.3	4.2	4.4	4.1	3.7	4.0	-0.3	0.3	
東北	3.2	2.9	0.7	2.6	3.7	3.5	0.3	-0.3	7.5	6.9	7.3	7.3	6.1	5.5	-2.0	-0.6	
関東	36.8	38.9	38.1	34.2	46.1	45.2	8.4	-0.9	34.8	35.3	36.1	35.4	38.8	38.1	3.3	-0.7	
中部	17.1	11.1	11.9	14.9	10.5	11.5	-5.6	1.0	18.1	17.9	17.3	18.2	17.8	17.1	-1.0	-0.7	
近畿	15.7	14.4	14.2	17.5	20.7	19.3	3.6	-1.4	16.7	16.5	16.4	15.9	17.1	17.7	1.0	0.6	
中四国	8.7	4.8	3.7	6.1	3.1	5.3	-3.3	2.3	7.6	7.6	7.4	7.3	6.5	6.4	-1.2	-0.1	
九州	9.0	15.9	5.2	4.4	7.5	7.2	-1.8	-0.2	10.0	10.7	10.0	10.5	9.3	10.1	0.1	0.8	
沖縄県内	6.1	10.6	19.4	18.4	5.4	4.0	-2.1	-1.4	1.1	0.9	1.1	1.2	0.8	1.1	0.0	0.3	

【参考 2】旅行者の居住地（年間値）

		沖縄県						全国						
居住地	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	沖縄-全国	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
	(n=443)	(n=249)	(n=183)	(n=190)	(n=376)	(n=374)								(n=9364)
北海道	4.1	2.7	4.5	3.8	2.7	4.0	-0.0	4.2	4.1	4.4	4.0	3.7	4.0	
東北	3.3	1.7	0.5	1.7	4.2	3.5	-2.0	7.6	6.9	7.2	7.0	6.2	5.5	
関東	37.2	40.5	38.0	36.0	44.0	45.2	7.1	35.0	35.5	35.7	35.7	38.1	38.1	
中部	16.9	8.3	13.2	13.1	13.2	11.5	-5.6	18.1	18.0	18.1	18.5	18.0	17.1	
近畿	14.9	13.5	9.2	17.9	19.1	19.3	1.6	16.3	16.6	16.2	15.9	16.7	17.7	
中四国	8.4	4.7	8.3	4.4	4.8	5.3	-1.0	7.7	7.3	7.2	7.3	6.8	6.4	
九州	8.9	13.8	5.9	4.1	7.0	7.2	-2.9	10.1	10.5	10.2	10.3	9.6	10.1	
沖縄県内	6.2	14.8	20.3	18.9	5.0	4.0	2.9	1.0	1.0	1.2	1.2	0.8	1.1	

【参考 3】域内旅行割合の推移（3ヶ月移動平均）



(3) 同行者

- 2024年1-9月の沖縄旅行の同行者は「夫婦」が24.9%で最も多く、「ひとり」19.3%、「友人や知人」16.6%と続く。この傾向は、全国的な傾向と変わらない。前年同期と比べて、沖縄旅行の同行者は大きな変化は見られず、「夫婦」、「カップル」が微増した。
- 2019年同期と比べ、沖縄旅行では「ひとり」が増加し、「子供連れ家族」が減少した。この傾向は全国的にも同様であった。

【図表 3-3】旅行者の同行者（1～9月）

(%)

	沖縄県								全国								
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年			
	1-9月 (n=345)	1-9月 (n=208)	1-9月 (n=134)	1-9月 (n=114)	1-9月 (n=295)	1-9月 (n=374)	2019年との差	前年との差	1-9月 (n=6939)	1-9月 (n=5007)	1-9月 (n=4263)	1-9月 (n=4357)	1-9月 (n=6263)	1-9月 (n=7458)	2019年との差	前年との差	
同行者	子供連れ家族 (小中高生連れ)	13.0	11.5	10.4	14.9	12.5	12.0	-1.0	-0.5	11.5	11.2	12.4	12.6	12.5	11.7	0.2	-0.8
	子供連れ家族 (乳幼児連れ)	9.6	4.3	3.0	8.8	4.7	5.3	-4.2	0.6	5.8	5.5	5.3	5.8	5.0	5.3	-0.5	0.3
	大人のみ家族	10.1	5.3	11.2	7.0	10.8	10.2	0.0	-0.7	10.2	11.2	10.3	11.4	11.1	12.0	1.8	0.9
	夫婦	24.6	28.4	19.4	22.8	24.1	24.9	0.2	0.8	26.4	27.2	27.9	29.1	25.0	24.2	-2.1	-0.8
	カップル	9.9	11.1	14.9	7.9	9.5	10.7	0.8	1.2	9.4	10.6	11.3	8.2	9.4	10.0	0.6	0.7
	友人や知人	16.5	17.3	10.4	18.4	16.9	16.6	0.1	-0.4	17.9	16.4	14.3	13.4	16.1	15.3	-2.5	-0.8
	自分ひとり	15.9	20.7	30.6	17.5	20.3	19.3	3.3	1.1	16.9	16.6	17.2	17.9	19.0	19.8	2.9	0.7
	その他	0.3	1.4	0.0	2.6	1.0	1.1	0.8	0.1	1.9	1.3	1.2	1.6	1.8	1.6	-0.2	-0.2

【参考 4】旅行者の同行者（年間値）

(参考)

(%)

	沖縄県							全国						
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
	(n=443)	(n=249)	(n=183)	(n=190)	(n=376)	(n=374)	沖縄-全国	(n=9364)	(n=6511)	(n=5803)	(n=6050)	(n=8258)	(n=7458)	
子供連れ家族 (小中高生連れ)	14.7	11.6	11.8	11.5	12.8	12.0	0.3	11.7	11.1	12.4	11.9	12.2	11.7	
子供連れ家族 (乳幼児連れ)	8.5	3.8	3.6	8.3	5.7	5.3	0.0	5.7	5.4	5.6	6.1	5.1	5.3	
大人のみ家族	9.4	4.4	7.1	7.8	9.5	10.2	-1.8	10.3	11.4	10.8	11.5	11.1	12.0	
夫婦	24.5	27.8	25.1	31.8	22.7	24.9	0.7	26.4	29.1	27.6	29.4	25.0	24.2	
カップル	9.6	12.8	12.9	6.3	10.8	10.7	0.7	9.3	10.0	11.1	8.0	9.4	10.0	
友人や知人	18.1	18.0	12.3	15.4	15.9	16.6	1.3	17.8	16.1	14.3	13.5	16.1	15.3	
自分ひとり	14.2	20.6	25.6	15.3	21.4	19.3	-0.5	16.9	15.4	16.6	17.6	19.2	19.8	
その他	0.9	1.0	1.6	3.5	1.2	1.1	-0.6	2.0	1.4	1.6	1.9	1.9	1.6	

(4) 予約時期

- 2024年1-9月の沖縄旅行の予約時期は「1年以上前」「半年～1年前」「3～5か月前まで」を合わせて48.3%を占める。この値は全国（30.9%）に比べて17.4ポイント高く、飛行機を利用する沖縄旅行の予約時期は早い。
- 「1か月を切ってから」は、22.9%と、コロナ禍前の2019年同期（19.9%）、前年同期（19.6%）と比べ、増加した。コロナ禍を経て、出発日が近づいてから（思い立って）沖縄へ行きたいと思う観光客も増加傾向にある。

【図表3-4】旅行者の予約時期（1～9月）

(%)

予約時期	沖縄県									全国								
	2019年 1-9月 (n=337)	2020年 1-9月 (n=206)	2021年 1-9月 (n=131)	2022年 1-9月 (n=112)	2023年 1-9月 (n=286)	2024年 1-9月 (n=367)	2019年との差 前年との差		2019年 1-9月 (n=6641)	2020年 1-9月 (n=4817)	2021年 1-9月 (n=4099)	2022年 1-9月 (n=4217)	2023年 1-9月 (n=6031)	2024年 1-9月 (n=7143)	2019年との差 前年との差			
1年以上前	2.1	1.9	2.3	0.9	1.7	2.5	0.4	0.7	1.4	1.0	1.0	0.5	0.7	1.1	-0.2	0.4		
半年～1年前	13.4	18.4	9.9	14.3	12.2	12.8	-0.5	0.6	7.6	5.9	3.8	3.9	6.7	8.0	0.4	1.3		
3～5か月前	32.3	25.7	25.2	22.3	34.6	33.0	0.6	-1.6	22.1	15.2	12.6	14.0	21.7	21.8	-0.2	0.2		
1～2か月前	32.3	28.6	35.9	26.8	31.8	28.9	-3.5	-2.9	34.5	29.1	30.5	33.2	38.0	35.4	0.9	-2.6		
3～4週間前	8.9	12.6	14.5	18.8	11.2	12.5	3.6	1.3	15.0	17.7	18.5	18.9	15.1	14.9	-0.1	-0.1		
1～2週間前	6.5	6.8	8.4	11.6	3.8	6.0	-0.5	2.1	11.5	18.0	19.9	17.8	10.8	11.1	-0.3	0.4		
6日前～出発後	4.5	5.8	3.8	5.4	4.5	4.4	-0.1	-0.2	8.0	13.0	13.7	11.8	7.1	7.7	-0.4	0.5		
1か月前まで	80.1	74.8	73.3	64.3	80.4	77.1	-3.0	-3.3	65.5	51.2	47.9	51.5	67.1	66.3	0.8	-0.8		
1か月を切ってから	19.9	25.2	26.7	35.7	19.6	22.9	3.0	3.3	34.5	48.8	52.1	48.5	32.9	33.7	0.8	0.8		

【参考5】旅行者の予約時期（年間値）

(参考)

(%)

予約時期	沖縄県							全国						
	2019年 (n=436)	2020年 (n=259)	2021年 (n=175)	2022年 (n=188)	2023年 (n=366)	2024年 1-9月 (n=367)	沖縄-全国	2019年 (n=8953)	2020年 (n=6286)	2021年 (n=5595)	2022年 (n=5847)	2023年 (n=7970)	2024年 1-9月 (n=7143)	
1年以上前	1.6	2.3	1.7	1.1	2.0	2.5	1.3	1.4	1.0	1.0	0.5	0.7	1.1	
半年～1年前	14.7	15.4	9.1	10.6	15.1	12.8	4.8	7.6	5.9	3.8	4.1	7.4	8.0	
3～5か月前	32.8	24.7	20.6	23.9	31.8	33.0	11.2	22.1	15.2	12.6	15.3	21.8	21.8	
1～2か月前	32.8	32.0	38.3	32.4	31.1	28.9	-6.5	34.5	29.1	30.5	35.2	38.5	35.4	
3～4週間前	8.7	13.9	13.7	16.0	12.2	12.5	-2.4	15.0	17.7	18.5	18.5	14.3	14.9	
1～2週間前	5.5	6.9	11.4	11.2	4.1	6.0	-5.1	11.5	18.0	19.9	16.0	10.5	11.1	
6日前～出発後	3.9	4.6	5.1	4.8	3.8	4.4	-3.3	8.0	13.0	13.7	10.4	6.8	7.7	
1か月前まで	81.9	74.5	69.7	68.1	79.9	77.1	10.8	65.5	51.2	47.9	55.1	68.4	66.3	
1か月を切ってから	18.1	25.5	30.3	31.9	20.1	22.9	-10.8	34.5	48.8	52.1	44.9	31.6	33.7	

(5) 旅行形態

- 「個別手配」は 63.1%、「パッケージ旅行」は 23.2%、「団体型ツアー」は 13.7%であった。全国と比べると、沖縄旅行は航空券と宿泊を組み合わせた「パッケージ旅行」や「団体型ツアー」の割合が高く、この傾向は、コロナ禍前および前年同期と比べ、大きな変化はみられない。
- コロナ禍前の状況に戻りつつあるが、2019 年同期と比較して、「個別手配」は 10.6 ポイント増加、「パッケージ旅行」及び「団体型ツアー」はあわせて 10.7 ポイント減少した。JAL・ANA での早期割引キャンペーン、LCC の就航、skyticket 等の活用、トリバゴや Agoda 等、様々なホテル料金比較サイトの活用により、コロナ禍前から進んでいた個別手配の流れは、コロナ禍によって加速した。一方、近年では、物価高などの影響でパッケージ旅行による節約志向も同時にみられるようになってきているものと推察される。
- コロナ禍で大幅に減少した「団体型ツアー」は、2021 年同期を底に増加傾向にある。この傾向は全国的な動きにおいても確認された。

【図表 3-5】旅行者の旅行形態（1～9 月）

旅行形態	沖縄県									全国												
	2019年 1-9月 (n=345)	2020年 1-9月 (n=208)	2021年 1-9月 (n=134)	2022年 1-9月 (n=114)	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=371)	2019年との差		前年との差		2019年 1-9月 (n=6939)	2020年 1-9月 (n=5007)	2021年 1-9月 (n=4263)	2022年 1-9月 (n=4357)	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2019年との差		前年との差			
個別手配	52.5	62.0	74.6	72.8	64.4	63.1	10.6	-1.3	77.9	83.3	91.6	89.3	79.6	75.6	75.6	-2.3	-4.0					
パッケージ旅行	30.4	30.3	23.1	19.3	24.4	23.2	-7.3	-1.2	13.3	11.5	6.2	6.8	13.1	15.7	15.7	2.3	2.5					
団体型ツアー	17.1	7.7	2.2	7.9	11.2	13.7	-3.4	2.6	8.8	5.2	2.2	3.9	7.2	8.8	8.8	-0.0	1.5					

【参考 6】旅行者の旅行形態（年間値）

(参考)

旅行形態	沖縄県							全国						
	2019年 (n=443)	2020年 (n=249)	2021年 (n=183)	2022年 (n=190)	2023年 (n=376)	2024年 1-9月 (n=371)	沖縄-全国	2019年 (n=9364)	2020年 (n=6511)	2021年 (n=5803)	2022年 (n=6050)	2023年 (n=8258)	2024年 1-9月 (n=7458)	
個別手配	52.2	62.0	73.5	67.4	66.1	63.1	-12.5	77.5	83.0	90.8	87.3	80.4	75.6	
パッケージ旅行	30.9	30.0	23.2	25.8	23.7	23.2	7.5	13.4	11.5	6.6	8.2	12.5	15.7	
団体型ツアー	16.9	8.0	3.3	6.8	10.2	13.7	5.0	9.1	5.5	2.6	4.5	7.1	8.8	

※本調査対象には修学旅行は含まれていない。

(6) 旅行先での交通手段

- 2024年1-9月の旅行先での交通手段をみると、半数以上が「レンタカー」を利用した。2019年同期と比べ、4.3ポイント減となった。
- 公共交通機関については、前年同期と比べて大きな変化はみられないが、コロナ禍前の2019年同期と比べると、「列車（モノレール含む）」7.1ポイント増、「路線バス」5.7ポイント増と、増加傾向にある。
- 沖縄県やOCVB、民間事業者は、レンタカーから公共交通利用への転換を狙った取り組みを実施している。また、「Z世代」、「ミレニアル世代」と呼ばれる、主に現在10代後半～30代の世代の車離れも影響していると考えられる。

* 公庫レポート No.179「ポストコロナ時代における沖縄観光のあり方」に関する調査～これからの“旅行牽引世代”の意向を踏まえた観光（観光地）とは～（2022年6月）

【図表 3-6】旅行者の旅行先での交通手段（1～9月）【複数回答】

旅行先での交通手段	沖縄県									全国								
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	1-9月 (n=345)	1-9月 (n=208)	1-9月 (n=134)	1-9月 (n=114)	1-9月 (n=295)	1-9月 (n=374)	1-9月 (n=6939)	1-9月 (n=5007)	1-9月 (n=4263)	1-9月 (n=4357)	1-9月 (n=6263)	1-9月 (n=7458)	1-9月 (n=6939)	1-9月 (n=5007)	1-9月 (n=4263)	1-9月 (n=4357)	1-9月 (n=6263)	1-9月 (n=7458)
レンタカー	62.3	53.8	54.5	52.6	56.9	58.0	-4.3	1.1	14.1	11.1	10.3	9.3	14.8	16.0	1.9	1.2		
飛行機	30.7	26.9	16.4	19.3	20.7	22.5	-3.3	1.8	8.5	5.4	2.3	2.2	5.4	7.2	-1.3	1.8		
列車（モノレール含む）	12.5	17.3	16.4	18.4	21.4	19.5	7.1	-1.8	29.6	21.8	17.8	23.5	32.1	32.5	2.9	0.4		
路線バス	9.6	16.3	15.7	12.3	15.6	15.2	5.7	-0.4	14.2	11.0	9.1	10.4	13.5	14.2	0.0	0.7		
タクシー・ハイヤー	15.4	13.0	9.7	11.4	13.6	14.2	-1.2	0.6	8.5	6.4	4.2	5.6	8.1	8.6	0.0	0.5		
自家用車	7.0	12.5	11.9	17.5	6.4	9.1	2.1	2.7	36.9	46.9	50.9	47.8	36.6	33.7	-3.2	-3.0		
船	6.7	8.2	7.5	7.9	8.5	8.8	2.2	0.3	3.1	2.1	1.9	2.4	2.8	2.4	-0.6	-0.3		
貸切・定期観光バス	6.4	3.4	3.7	5.3	8.5	5.6	-0.8	2.9	7.2	4.1	1.7	3.5	5.4	5.6	-1.6	0.2		
観光客向け巡回バスなど	5.5	1.9	1.5	3.5	5.4	4.5	-1.0	-0.9	4.1	3.0	1.8	2.2	3.5	3.6	-0.5	0.0		
レンタサイクル・キックボード	4.3	1.0	3.0	0.0	3.7	4.3	-0.1	0.5	1.4	1.2	0.8	1.1	1.5	1.6	0.3	0.2		
その他	1.2	2.9	2.2	1.8	1.0	1.6	0.4	0.6	1.0	1.4	0.9	0.8	0.6	0.9	-0.2	0.2		
利用なし	1.2	1.9	3.7	3.5	2.0	1.3	0.2	-0.7	7.1	12.1	15.1	12.7	8.4	8.4	1.2	-0.1		

【参考 7】旅行者の旅行先での交通手段（年間値）【複数回答】

旅行先での交通手段	沖縄県							全国						
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
	(n=443)	(n=249)	(n=183)	(n=190)	(n=376)	(n=374)	(n=9364)	(n=6511)	(n=5803)	(n=6050)	(n=8258)	(n=7458)		
レンタカー	60.8	51.5	58.8	56.0	55.9	58.0	42.0	13.6	10.9	9.7	10.2	14.2	16.0	
飛行機	30.5	24.1	12.2	16.7	23.4	22.5	15.3	8.1	4.2	2.1	2.9	5.3	7.2	
列車（モノレール含む）	13.7	17.7	16.7	18.2	21.9	19.5	-13.0	29.7	21.1	20.4	25.2	32.9	32.5	
路線バス	9.6	16.8	12.4	9.2	14.6	15.2	1.0	14.1	11.1	9.4	10.6	13.9	14.2	
タクシー・ハイヤー	16.0	13.1	9.0	12.1	13.9	14.2	5.6	8.5	5.8	4.9	6.2	8.1	8.6	
自家用車	7.8	16.1	10.4	16.4	7.2	9.1	-24.6	37.5	46.5	49.3	45.5	36.5	33.7	
船	7.3	7.6	6.0	6.1	8.4	8.8	6.4	2.9	2.3	2.0	2.4	2.8	2.4	
貸切・定期観光バス	7.2	5.1	4.4	4.6	7.3	5.6	0.0	7.3	4.4	2.4	3.9	5.5	5.6	
観光客向け巡回バスなど	5.1	2.4	1.0	4.3	5.4	4.5	1.0	3.9	2.9	1.8	2.5	3.4	3.6	
レンタサイクル・キックボード	4.1	1.3	1.9	0.5	5.1	4.3	2.6	1.4	1.1	0.8	1.1	1.7	1.6	
その他	0.9	2.4	1.4	1.8	0.7	1.6	0.7	1.1	1.3	0.9	0.8	0.6	0.9	
利用なし	1.4	1.9	4.1	5.2	2.1	1.3	-7.0	7.2	13.2	14.4	12.3	8.2	8.4	

【参考 8】各種団体による取り組み例

実施主体	取り組み内容
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ・わった〜バス感謝祭 乗りほ〜DAY
一般社団法人沖縄観光 コンベンションビューロー (OCVB)	<ul style="list-style-type: none"> ・Z 世代の沖縄旅行における移動手段に関する意識調査の実施 ・実践型 SDGs 授業「ちゅらモビリティプロジェクト」 ・沖縄観光情報 WEB サイト「おきなわ物語」内の特集サイト「レンタカーだけじゃない！おきなわ旅の楽しみ方」の開設・改修、情報発信 ・プロモーション動画及びお役立ち動画の制作 ・「レンタカーだけじゃない！おきなわ旅の楽しみ方」の PR 展開
那覇市	<ul style="list-style-type: none"> ・「那覇市の公共交通ハンドブック」作成
沖縄市	<ul style="list-style-type: none"> ・「胡屋」→「古島」夜間無料バスの運行 ・「沖縄市循環バス路線図」作成
南城市	<ul style="list-style-type: none"> ・「南城市バスマップ（N バスマップ）」作成
沖縄エアポートシャトル 有限責任事業組合	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄エアポートシャトルの運行
琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル直行のエアポートリムジンバスの運行
沖縄バス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・空港行きリムジンバスの運行
株式会社 JTB	<ul style="list-style-type: none"> ・空港行きリムジンバスの発着があるホテル紹介

(7) 宿泊数

- 2024年1-9月の宿泊数をみると、沖縄旅行においては「4泊」及び「5泊以上」を合わせた割合が前年同期から4.7ポイント増、「1泊」の割合が4.1ポイント減となり、平均宿泊数が延びた。コロナ禍前の2019年同期と比べても、「4泊」及び「5泊以上」の割合は増加、「1泊」の割合は減少した。
- 全国に比べ、沖縄旅行のほうが、平均宿泊数が1泊長い。なお、全国的にも「1泊」の割合は減少、平均宿泊数は延びが確認された。

【図表3-7】旅行者の宿泊数（1～9月）

(%)、平均宿泊数(泊)

	沖縄県									全国											
	2019年 1-9月 (n=345)	2020年 1-9月 (n=208)	2021年 1-9月 (n=134)	2022年 1-9月 (n=114)	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2019年との差		前年との差		2019年 1-9月 (n=6939)	2020年 1-9月 (n=5007)	2021年 1-9月 (n=4263)	2022年 1-9月 (n=4357)	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2019年との差		前年との差		
泊数	1泊	9.9	18.8	17.2	16.7	12.9	8.8	-1.0	-4.1	50.5	61.4	66.1	61.2	49.1	45.8	-4.7	-3.3				
	2泊	34.8	37.0	25.4	31.6	30.8	34.5	-0.3	3.6	29.3	22.4	19.8	23.1	30.2	30.5	1.2	0.2				
	3泊	32.5	27.9	22.4	32.5	35.3	31.0	-1.4	-4.2	12.1	9.3	7.7	9.0	12.7	13.8	1.7	1.1				
	4泊	12.2	8.7	10.4	11.4	10.2	13.6	1.5	3.5	3.8	3.2	2.7	3.1	3.9	5.1	1.3	1.2				
	5泊以上	10.7	7.7	24.6	7.9	10.8	12.0	1.3	1.2	4.3	3.8	3.8	3.6	4.1	4.9	0.5	0.8				
	平均宿泊数	2.86	2.54	3.21	2.72	2.86	2.96	0.10	0.10	1.85	1.69	1.62	1.68	1.87	1.97	0.11	0.10				

【参考9】旅行者の宿泊数（年間値）

(参考)

(%)、平均宿泊数(泊)

	沖縄県							全国						
	2019年 (n=362)	2020年 (n=214)	2021年 (n=165)	2022年 (n=167)	2023年 (n=323)	2024年 1-9月 (n=374)	沖縄-全国	2019年 (n=9364)	2020年 (n=6511)	2021年 (n=5803)	2022年 (n=6050)	2023年 (n=8258)	2024年 1-9月 (n=7458)	
泊数	1泊	10.1	22.0	20.8	15.8	13.2	8.8	-37.0	50.7	62.0	65.8	59.5	49.7	45.8
	2泊	36.4	31.4	28.1	33.0	29.5	34.5	4.0	29.2	22.9	20.1	24.3	30.2	30.5
	3泊	33.3	31.2	23.5	30.6	35.0	31.0	17.2	12.1	8.5	7.6	9.2	12.3	13.8
	4泊	10.5	10.5	11.2	10.6	10.9	13.6	8.6	3.7	3.2	2.7	3.3	3.9	5.1
	5泊以上	9.6	4.8	16.5	9.9	11.5	12.0	7.2	4.4	3.4	3.8	3.8	3.9	4.9
	平均宿泊数	2.80	2.49	2.49	2.77	2.88	2.96	0.99	1.85	1.66	1.62	1.71	1.85	1.97

(8) 宿泊施設

- 全国に比べて沖縄旅行は「ホテル」、特に「リゾートホテル」の割合が高く、2024年1-9月の沖縄旅行における「リゾートホテル」の割合は約半数を占めた。一方、この割合は、前年同期と比べ11.4ポイント減、2019年同期と比べ8.3ポイント減と大幅に減少した。宿泊単価の上昇の影響を受け、旅行者が他タイプに切り替えている可能性もあると考えられる。
- 全国的には、宿泊施設については大きな変化はみられなかった。

【図表 3-8】旅行者の宿泊施設タイプ（1～9月）〔複数回答〕

	沖縄県							全国								
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2019年との差	前年との差	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2019年との差	前年との差
	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月			1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月		
	(n=345)	(n=208)	(n=134)	(n=114)	(n=295)	(n=374)			(n=6939)	(n=5007)	(n=4263)	(n=4357)	(n=6263)	(n=7458)		
ホテル	88.7	87.0	86.6	86.0	91.2	82.8	-5.9	-8.4	62.4	56.3	53.6	60.0	65.2	65.2	2.8	-0.0
リゾートホテル	60.0	52.4	47.8	56.1	63.1	51.7	-8.3	-11.4	22.9	22.2	22.2	22.9	22.8	22.9	-0.0	0.1
シティホテル	23.8	16.8	27.6	15.8	21.4	21.2	-2.6	-0.2	19.5	15.4	13.5	18.6	21.0	19.7	0.2	-1.2
ビジネスホテル	18.0	25.0	20.1	26.3	16.9	17.9	-0.1	0.9	24.5	21.5	19.9	22.1	25.6	27.0	2.5	1.4
旅館	7.2	4.3	1.5	4.4	4.4	6.0	-1.3	1.6	27.2	29.0	31.0	28.1	25.5	24.6	-2.6	-0.9
比較的規模大	5.5	1.9	0.7	3.5	3.1	3.6	-1.9	0.6	16.7	16.1	16.2	15.5	15.4	14.5	-2.2	-0.9
比較的規模小	2.9	2.4	0.7	0.9	1.4	2.6	-0.2	1.3	11.1	13.5	15.3	13.0	10.6	10.9	-0.2	0.3
民宿・ペンション	8.7	7.2	9.0	4.4	3.1	5.6	-3.1	2.6	4.3	4.9	4.2	3.2	3.3	3.7	-0.6	0.4
実家・親戚・知人宅	2.0	1.9	0.7	7.9	0.7	3.6	1.6	3.0	6.9	6.8	5.3	6.1	5.7	5.9	-1.0	0.3
ゲストハウス	-	-	3.0	2.6	3.4	2.6	-	-0.7	-	-	1.1	1.0	1.3	1.6	-	0.3
別荘・会員制宿泊施設	2.6	1.4	2.2	0.0	4.4	1.7	-1.0	-2.8	2.6	3.2	2.8	2.5	2.3	2.6	0.1	0.3
公共の宿	0.6	1.4	0.0	1.8	1.4	1.7	1.1	0.3	1.8	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	-0.3	-0.0
キャンプ・オートキャンプ	1.4	1.4	1.5	0.9	1.4	1.3	-0.1	-0.0	1.7	2.3	3.5	2.3	2.1	2.1	0.4	-0.0
民泊	-	-	1.5	0.0	1.0	0.0	-	-1.0	-	-	0.5	0.5	0.6	0.7	-	0.1
その他	1.2	2.9	0.7	0.0	0.0	2.3	1.2	2.3	1.7	2.0	1.7	1.8	1.4	1.9	0.2	0.5

【参考 10】旅行者の宿泊施設タイプ（年間値）〔複数回答〕

(参考)

	沖縄県						全国						
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	沖縄-全国	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月		1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月
	(n=362)	(n=214)	(n=165)	(n=167)	(n=323)	(n=374)		(n=9364)	(n=6511)	(n=5803)	(n=6050)	(n=8258)	(n=7458)
ホテル	88.3	90.8	87.7	87.8	89.6	82.8	17.6	62.2	56.8	55.0	61.7	64.9	65.2
リゾートホテル	61.6	59.8	53.3	60.5	61.2	51.7	28.8	22.9	23.3	23.3	23.6	21.7	22.9
シティホテル	20.2	14.7	23.9	13.5	19.3	21.2	1.5	19.4	15.4	14.2	19.0	20.6	19.7
ビジネスホテル	16.2	21.7	17.0	22.8	17.8	17.9	-9.1	24.3	20.6	19.7	23.0	26.8	27.0
旅館	3.1	2.5	0.6	1.4	2.9	6.0	-18.6	27.0	31.7	30.4	27.9	25.0	24.6
比較的規模大	1.9	0.4	0.0	1.4	2.3	3.6	-10.9	16.9	18.3	16.7	15.4	15.2	14.5
比較的規模小	1.3	2.2	0.6	0.6	0.7	2.6	-8.2	10.8	14.2	14.3	13.0	10.4	10.9
民宿・ペンション	8.0	7.1	9.2	2.7	3.1	5.6	1.9	4.2	4.6	3.8	3.2	3.3	3.7
実家・親戚・知人宅	2.4	1.9	0.3	5.2	1.7	3.6	-2.3	7.4	5.2	6.1	5.6	6.0	5.9
ゲストハウス	-	-	3.4	3.2	2.9	2.6	1.1	-	-	1.1	1.0	1.2	1.6
別荘・会員制宿泊施設	2.4	0.8	1.5	0.0	3.0	1.7	-1.0	2.5	2.8	2.5	2.3	2.3	2.6
公共の宿	0.2	0.4	0.0	2.0	0.4	1.7	0.2	1.8	1.6	2.1	1.8	1.4	1.5
キャンプ・オートキャンプ	1.7	0.6	1.6	2.1	1.0	1.3	-0.8	1.7	1.9	3.1	2.5	2.1	2.1
民泊	-	-	0.6	0.6	1.4	0.0	-0.7	-	-	0.5	0.6	0.6	0.7
その他	1.1	3.3	0.3	0.0	0.4	2.3	0.4	1.8	1.9	1.6	1.6	1.6	1.9

(9) 現地活動、現地ツアー等の参加率

- 2024年1-9月の沖縄旅行における現地活動は、「自然や景勝地の訪問」が最も多く、以下、「現地グルメ」、「まち歩き」、「買い物」と続く。なお、これらの活動は前年同期と比べて実施率は減少した。前年同期と比べて実施率が3ポイント以上増加したのは、「都市観光」、「温泉」、「季節の花見」であった。2019年同期と比較すると多くの活動実施率が減少しており、増加(3ポイント以上)したのは「季節の花見」のみであった。
- 全国的に最も多い活動は「現地グルメ」と「温泉」であり、次いで「自然や景勝地の訪問」であった。全国に比して沖縄旅行が10ポイント以上高い活動は、「リゾート滞在(海浜)」、「海水浴・マリンスポーツ」、「自然や景勝地の訪問」であった。
- 現地ツアー・体験プログラム参加率は、沖縄旅行においては32.4%であり、全国13.5%に比べて18.8ポイント高い。2019年同期と比較すると、全国は同水準まで回復した。沖縄でも着実に回復しているものの、2019年同期を下回っている。

【図表3-9】旅行者が現地で楽しんだ活動(1~9月) [複数回答]

(%)、平均活動数(個)

	沖縄県								全国							
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2019年との差		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2019年との差	
	1-9月 (n=345)	1-9月 (n=208)	1-9月 (n=134)	1-9月 (n=114)	1-9月 (n=295)	1-9月 (n=374)			1-9月 (n=6939)	1-9月 (n=5007)	1-9月 (n=4263)	1-9月 (n=4357)	1-9月 (n=6263)	1-9月 (n=7458)		
自然や景勝地の訪問	60.0	55.3	49.3	48.2	53.6	47.3	-12.7	-6.2	39.8	36.2	36.9	34.6	36.6	33.9	-6.0	-2.7
現地グルメ	43.8	42.3	39.6	36.8	44.4	43.3	-0.5	-1.1	36.2	33.4	34.1	35.0	37.7	35.0	-1.1	-2.7
まち歩き	36.8	36.1	29.1	30.7	38.3	36.9	0.1	-1.4	32.4	25.9	22.8	26.7	31.0	32.0	-0.4	0.9
ショッピング・買い物	38.0	35.1	23.9	28.1	34.2	32.4	-5.6	-1.9	25.6	21.3	20.1	23.3	26.2	27.4	1.9	1.3
歴史・文化的な名所の訪問	36.2	27.9	15.7	20.2	28.8	27.5	-8.7	-1.3	30.1	22.4	20.7	23.2	26.7	25.9	-4.2	-0.8
都市観光	28.4	21.2	13.4	14.0	23.1	27.5	-0.9	4.5	19.4	14.6	10.9	13.1	18.8	19.9	0.6	1.1
リゾート滞在(海浜)	35.1	27.4	33.6	34.2	31.9	25.4	-9.7	-6.5	4.8	4.2	3.8	3.9	4.9	5.2	0.4	0.3
観光施設・動物園・水族館	26.4	20.7	9.7	19.3	24.4	20.3	-6.1	-4.1	11.3	8.2	7.9	10.4	11.9	11.9	0.6	0.0
海水浴・マリンスポーツ	24.3	18.8	30.6	19.3	22.4	19.3	-5.1	-3.1	2.6	2.0	2.6	1.8	2.5	2.3	-0.3	-0.2
温泉	10.7	5.3	13.4	12.3	9.8	12.8	2.1	3.0	37.7	43.5	46.7	42.6	36.9	35.0	-2.6	-1.8
ドライブ	14.8	18.3	11.2	20.2	15.3	12.3	-2.5	-3.0	6.9	8.0	8.7	8.1	7.9	7.1	0.2	-0.8
テーマパーク・リゾート	7.8	5.3	3.7	2.6	7.1	9.1	1.3	2.0	10.0	6.3	5.8	8.6	9.5	11.0	1.0	1.5
アウトドア体験	8.1	4.8	9.7	3.5	8.1	8.0	-0.1	-0.1	2.3	2.1	2.7	2.2	2.3	2.4	0.1	0.1
季節の花見	3.8	2.4	2.2	3.5	2.0	7.2	3.5	5.2	5.4	3.2	4.2	3.7	5.1	5.5	0.1	0.4
祭り・イベント	9.3	4.3	0.7	1.8	5.1	6.7	-2.6	1.6	7.0	3.4	1.7	3.8	5.8	7.3	0.4	1.5
家族や親戚、友人訪問	2.9	5.8	3.0	5.3	3.4	5.1	2.2	1.7	6.9	7.2	5.4	6.5	6.6	6.2	-0.7	-0.4
リゾート滞在(高原)	3.5	1.9	3.0	5.3	2.7	4.8	1.3	2.1	3.4	3.6	3.5	3.1	3.4	4.0	0.7	0.6
美術館・博物館	2.3	4.8	0.0	2.6	4.7	4.8	2.5	0.1	6.5	5.0	4.7	5.8	6.4	7.9	1.4	1.5
世界遺産訪問	7.2	6.3	6.7	2.6	8.8	4.8	-2.4	-4.0	3.2	2.4	2.1	2.1	3.4	3.2	-0.0	-0.2
ゴルフ	4.3	3.8	2.2	1.8	3.1	4.5	0.2	1.5	2.0	2.1	1.9	1.4	1.4	2.0	-0.0	0.6
写真・写生	8.4	2.9	5.2	4.4	4.4	4.5	-3.9	0.1	4.1	2.7	2.7	2.6	3.4	2.8	-1.3	-0.6
芸術鑑賞	3.5	1.9	0.7	0.9	2.0	3.5	-0.0	1.4	4.7	2.4	2.6	4.3	5.4	5.4	0.7	-0.0
サイクリング	4.6	2.4	3.0	0.9	5.4	3.5	-1.2	-1.9	1.2	1.3	1.2	0.8	1.4	1.5	0.2	0.1
野生動物観察	4.9	2.9	2.2	0.0	1.7	3.2	-1.7	1.5	1.0	0.8	0.9	0.5	0.5	1.1	0.1	0.6
生活文化体験	5.5	1.4	0.0	1.8	2.0	2.9	-2.6	0.9	1.2	0.9	0.6	0.4	0.9	1.2	-0.0	0.3
スパ・エステ	5.2	3.8	3.0	1.8	3.7	2.4	-2.8	-1.3	1.4	1.2	1.1	1.1	1.4	1.4	-0.0	0.0
マラソン・ジョギング	1.7	1.4	0.0	1.8	2.0	2.1	0.4	0.1	0.8	0.5	0.5	0.7	0.6	0.8	0.0	0.2
産業観光	2.3	1.0	0.7	3.5	1.4	2.1	-0.2	0.8	1.2	1.0	0.4	0.7	1.2	1.4	0.2	0.2
スポーツ観戦	1.7	2.4	0.7	4.4	2.4	1.9	0.1	-0.5	2.8	1.5	1.7	2.8	3.2	3.6	0.8	0.4
登山・トレッキング	2.6	1.4	2.2	2.6	2.7	1.9	-0.7	-0.8	2.5	3.2	4.0	2.2	2.7	2.7	0.2	0.1
乗物釣り・農林漁業体験	2.3	0.5	0.0	0.9	1.4	1.6	-0.7	0.2	1.7	1.3	1.0	0.8	1.4	1.4	-0.3	0.0
スキー・スノーボード	0.3	0.0	0.7	0.9	0.0	1.3	1.0	1.3	1.6	2.1	1.7	1.9	1.4	1.5	-0.1	0.1
その他	0.3	1.9	3.0	4.4	0.3	1.3	1.0	1.0	2.3	2.7	3.3	2.4	1.6	1.7	-0.5	0.2
平均活動数	4.47	3.72	3.22	3.40	4.02	3.93	-0.55	-0.09	3.20	2.76	2.69	2.81	3.10	3.12	-0.08	0.02
現地ツアー等の参加率	43.2	26.0	16.4	16.7	29.2	32.4	-10.8	3.2	13.5	9.9	4.5	4.4	11.6	13.5	0.0	1.9

【参考 11】旅行者が現地で楽しんだ活動（年間値）[複数回答]

(参考)

(%)、平均活動数(個)

	沖縄県							全国						
	2019年 (n=362)	2020年 (n=214)	2021年 (n=165)	2022年 (n=167)	2023年 (n=323)	2024年 1-9月 (n=374)	沖縄-全国	2019年 (n=9364)	2020年 (n=6511)	2021年 (n=5803)	2022年 (n=6050)	2023年 (n=8258)	2024年 1-9月 (n=7458)	
現地で楽しんだ活動	自然や景勝地の訪問	63.9	56.8	54.0	52.9	51.4	47.3	13.4	39.5	39.6	35.9	35.3	36.4	33.9
	現地グルメ	46.8	41.8	31.4	42.7	47.1	43.3	8.3	35.9	34.7	34.6	36.4	38.2	35.0
	まち並み散策・まち歩き	34.5	27.4	28.3	29.1	34.9	36.9	4.9	32.0	25.9	23.6	27.7	31.0	32.0
	ショッピング・買い物	39.2	35.5	24.8	33.9	37.3	32.4	4.9	25.7	22.0	21.4	25.6	26.3	27.4
	歴史・文化的な名所の訪問	34.7	27.8	15.1	22.5	25.2	27.5	1.7	29.8	24.2	21.3	24.2	26.9	25.9
	都市観光	27.4	18.3	11.8	19.2	24.0	27.5	7.6	19.5	14.6	11.8	14.2	18.7	19.9
	リゾート滞在（海浜）	35.1	34.2	35.7	33.8	31.9	25.4	20.2	4.7	4.1	3.7	3.9	4.7	5.2
	観光施設・動物園・水族館	28.9	19.3	15.4	23.4	24.0	20.3	8.4	11.2	8.9	8.7	10.5	11.8	11.9
	海水浴・マリンスポーツ	26.6	17.5	27.0	21.5	25.9	19.3	17.0	2.5	1.9	2.2	1.7	2.4	2.3
	温泉	6.9	3.8	13.1	6.5	6.2	12.8	-22.2	37.5	44.8	46.1	41.6	36.8	35.0
	ドライブ	13.5	15.8	12.9	15.9	14.3	12.3	5.2	6.8	7.5	8.2	7.8	7.7	7.1
	テニール・リゾート・トラスト*	6.9	4.1	6.6	4.1	6.8	9.1	-1.9	10.2	7.1	6.8	9.3	9.8	11.0
	アウトドア体験	8.2	6.3	7.1	5.8	10.1	8.0	5.7	2.3	2.0	2.3	2.0	2.3	2.4
	季節の花見	2.4	0.2	0.3	3.3	2.0	7.2	1.7	4.7	2.7	3.0	3.1	4.4	5.5
	祭り・イベント	6.8	5.0	0.6	1.9	4.3	6.7	-0.6	7.1	2.9	2.2	4.3	6.1	7.3
	家族や親戚、友人訪問	2.8	6.6	3.9	4.5	4.1	5.1	-1.1	7.1	6.3	6.1	6.2	6.9	6.2
	リゾート滞在（高原）	2.2	0.6	1.0	4.1	1.1	4.8	0.8	3.4	3.4	3.1	3.3	3.4	4.0
	美術館・博物館	2.9	2.3	0.8	2.0	4.4	4.8	-3.1	7.0	5.5	5.3	6.1	7.0	7.9
	世界遺産訪問	7.0	7.4	4.9	7.0	6.6	4.8	1.6	3.0	2.9	2.4	2.7	3.3	3.2
	ゴルフ	4.2	2.5	2.1	1.8	3.7	4.5	2.5	2.0	2.0	1.9	1.5	1.6	2.0
	写真・写生	6.4	4.4	4.2	3.4	5.7	4.5	1.7	3.9	3.0	2.9	2.6	3.2	2.8
	芸術鑑賞	2.8	2.0	0.9	0.0	1.1	3.5	-1.9	4.9	2.2	2.9	4.4	5.8	5.4
	サイクリング	4.0	3.8	1.9	1.3	4.9	3.5	2.0	1.2	1.2	0.9	0.8	1.3	1.5
	野生動物観察	4.6	1.2	1.1	1.4	1.7	3.2	2.1	1.0	0.8	0.7	0.5	0.6	1.1
	生活文化体験	4.7	2.2	0.0	2.0	1.7	2.9	1.7	1.3	0.7	0.6	0.5	0.9	1.2
	スパ・エステ	4.8	3.0	3.3	3.0	2.1	2.4	1.0	1.5	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4
	マラソン・ジョギング	1.1	2.0	0.0	0.7	1.8	2.1	1.3	0.7	0.4	0.6	0.8	0.7	0.8
	産業観光	2.4	1.1	1.4	2.6	0.6	2.1	0.7	1.4	0.9	0.6	0.9	1.2	1.4
	スポーツ観戦	0.9	2.3	0.0	2.0	1.7	1.9	-1.7	2.9	1.4	1.7	2.9	3.1	3.6
	登山・トレッキング	2.0	2.6	1.4	1.2	1.8	1.9	-0.9	2.5	3.4	3.5	2.3	2.6	2.7
果物狩り・農林漁業体験	1.4	0.5	0.0	0.8	0.6	1.6	0.2	1.8	1.2	1.1	0.7	1.4	1.4	
スキー・スノーボード	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	-0.1	1.3	1.5	1.2	1.0	1.0	1.5	
その他	0.5	3.9	4.4	4.3	0.3	1.3	-0.4	2.3	2.8	2.7	2.2	1.7	1.7	
平均活動数	4.47	3.72	3.22	3.65	3.88	3.93	0.8	3.20	2.76	2.69	2.87	3.11	3.12	
現地VIP-等の参加率	37.7	21.2	18.7	20.6	26.5	32.4	18.8	13.1	8.0	4.5	5.8	11.5	13.5	

(10) 旅行費用

- 2024年1-9月の沖縄旅行の1人あたりの旅行費用は「10万円以上」が最頻値であり、4割弱を占めた。沖縄旅行にかかる旅行費用は全国に比べて高い水準にある。前年同期、コロナ禍前の2019年同期と比べ、7万円以上の比較的高価格帯が微増した。
- 全国的にみても、前年同期、2019年同期と比べ、高価格帯が増加、低価格帯が減少した。物価高騰ともなう宿泊料金の上昇等の影響を受けたものと考えられる。

【図表 3-10】旅行者の旅行費用（1～9月）

(%)

旅行費用	沖縄県							全国						
	2019年 1-9月 (n=345)	2020年 1-9月 (n=208)	2021年 1-9月 (n=134)	2022年 1-9月 (n=114)	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=361)	2019年 1-9月 (n=6939)	2020年 1-9月 (n=5007)	2021年 1-9月 (n=4263)	2022年 1-9月 (n=4357)	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7175)		
	2019年との差		前年との差		2019年との差		前年との差		2019年との差		前年との差			
4万円未満	15.9	25.7	25.8	32.7	19.7	18.0	51.5	64.3	67.0	62.4	50.6	45.1		
4～7万円未満	27.6	30.7	21.0	26.0	24.3	24.4	25.9	21.3	20.0	21.0	26.8	27.1		
7～10万円未満	18.2	18.8	14.5	13.5	17.3	18.6	9.8	7.0	5.9	7.8	9.6	11.4		
10万円以上	38.2	24.8	38.7	27.9	38.7	39.1	12.8	7.4	7.1	8.9	12.9	16.4		

【参考 12】旅行者の旅行費用（年間値）

(参考)

(%)

旅行費用	沖縄県							全国						
	2019年 (n=352)	2020年 (n=206)	2021年 (n=156)	2022年 (n=155)	2023年 (n=306)	2024年 1-9月 (n=361)	2019年 (n=9111)	2020年 (n=6322)	2021年 (n=5620)	2022年 (n=5882)	2023年 (n=7960)	2024年 1-9月 (n=7175)		
	沖縄-全国		沖縄-全国		沖縄-全国		沖縄-全国		沖縄-全国		沖縄-全国			
4万円未満	16.3	31.3	29.3	23.1	18.0	18.0	51.7	64.9	64.9	60.6	50.1	45.1		
4～7万円未満	26.7	28.7	17.3	32.8	23.9	24.4	26.2	21.5	20.8	21.7	27.1	27.1		
7～10万円未満	20.8	19.0	15.4	20.3	16.7	18.6	9.8	6.6	6.4	8.2	9.8	11.4		
10万円以上	36.2	21.0	37.9	23.8	41.3	39.1	12.3	7.1	7.9	9.5	13.0	16.4		
平均費用(概数)	96,528	72,290	89,776	77,885	98,185	-	53,444	41,133	41,580	45,855	54,229	-		

(11) 来訪経験

- 2024年1-9月の来訪経験は、沖縄は「初めて」が17.9%であり、前年同期に比べ8.9ポイント減少した。「2～4回目」は53.7%（同12.7ポイント増）、「5回目以上」は28.3%（同3.9ポイント減）となった。「初めて」の割合が減少している要因のひとつには、物価高の影響もあり、比較的費用の高い沖縄旅行に初めて行くことに躊躇している可能性も考えられる。
- 全国の動向と比べ、沖縄は「2～4回目」が8.0ポイント高く、「初めて」および「5回目以上」は4ポイント前後低くなった。

【図表 3-11】旅行者の来訪経験（1～9月）

		沖縄県						全国									
来訪経験	割合	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2024年		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2024年	
		1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	2019年との差	前年との差	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	2019年との差
		(n=345)	(n=208)	(n=134)	(n=114)	(n=295)	(n=374)			(n=6939)	(n=5007)	(n=4263)	(n=4357)	(n=6263)	(n=7458)		
全て初めて	25.8	21.6	21.6	22.8	26.8	17.9	-7.9	-8.9	21.7	22.0	22.5	21.9	22.0	22.2	0.4	0.2	
2～4回目	47.2	47.6	27.6	43.0	41.0	53.7	6.5	12.7	45.7	40.5	38.5	41.2	44.6	45.8	0.1	1.2	
5回目以上	27.0	30.8	50.7	34.2	32.2	28.3	1.4	-3.9	32.6	37.5	38.9	36.9	33.4	32.1	-0.5	-1.4	

【参考 13】旅行者の来訪経験（年間値）

(参考)

		沖縄県						全国							
来訪経験	割合	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2024年		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
		1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	沖縄-全国	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月	1-9月
		(n=443)	(n=249)	(n=183)	(n=190)	(n=376)	(n=374)			(n=9364)	(n=6511)	(n=5803)	(n=6050)	(n=8258)	(n=7458)
全て初めて	23.6	22.4	22.1	20.5	25.6	17.9	-4.2		21.4	22.8	22.6	21.9	21.9	22.2	
2～4回目	49.8	47.9	34.3	44.2	41.0	53.7	8.0		45.6	40.6	39.0	41.7	44.2	45.8	
5回目以上	26.7	29.7	43.6	35.3	33.4	28.3	-3.7		33.0	36.5	38.3	36.3	33.9	32.1	

(12) 他検討先

- 今回の沖縄旅行を決める際に他に検討した旅行先があったかという設問に対して、2024年1-9月は82.1%が「ない（他検討先がなかった。旅行先の候補は沖縄県一択）」と回答、前年同期からは大きな変化はなかった。ただし、コロナ禍前の2019年同期と比べると8.2ポイント増であり、依然として高い傾向にある。海外も含めた検討は4.5ポイント減ではあるものの、2021年同期を底に、徐々に増加していることから、今後、沖縄旅行者が海外旅行に移行する可能性も考えられる。
- 全国的には、「ない（他検討先がなかった）」は88.6%であり、この割合は沖縄より6.5ポイント高い。つまり、沖縄旅行のほうが、他検討先が多いということが示唆される。

【図表 3-12】旅行者の他検討先（1～9月）[複数回答]

(%)

他 検 討 先	沖縄県							全国								
	2019年 1-9月 (n=345)	2020年 1-9月 (n=208)	2021年 1-9月 (n=134)	2022年 1-9月 (n=114)	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2019年との差	前年との差	2019年 1-9月 (n=6939)	2020年 1-9月 (n=5007)	2021年 1-9月 (n=4263)	2022年 1-9月 (n=4357)	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2019年との差	前年との差
ある(国内)	22.6	19.2	13.4	7.9	12.9	15.8	-6.8	2.9	16.2	15.9	12.5	11.1	12.4	10.8	5.4	-1.6
ある(海外)	13.0	11.1	1.5	5.3	7.5	8.6	-4.5	1.1	4.6	3.2	0.8	0.5	1.8	2.2	-2.4	0.4
ない	73.9	76.9	85.8	90.4	83.7	82.1	8.2	-1.6	82.4	83.2	87.3	88.7	87.1	88.6	6.2	1.4

【参考 14】旅行者の他検討先（年間値）[複数回答]

(参考)

(%)

他 検 討 先	沖縄県							全国						
	2019年 (n=443)	2020年 (n=249)	2021年 (n=183)	2022年 (n=190)	2023年 (n=376)	2024年 1-9月 (n=374)	沖縄-全国	2019年 (n=9364)	2020年 (n=6511)	2021年 (n=5803)	2022年 (n=6050)	2023年 (n=8258)	2024年 1-9月 (n=7458)	
ある(国内)	22.9	17.1	11.6	37.9	11.7	15.8	5.0	16.0	15.2	12.1	33.1	12.4	10.8	
ある(海外)	12.9	8.7	1.1	10.0	6.4	8.6	6.4	4.6	2.6	0.8	3.2	1.6	2.2	
ない	73.3	79.8	87.8	56.8	85.4	82.1	-6.5	82.6	83.9	87.8	64.2	87.1	88.6	

2. 満足度と再来訪意向

(1) 総合満足度

- 2024年1-9月の沖縄旅行の「大変満足」の割合は43.3%を占め、全国よりも10ポイント以上高い水準であった。
- 沖縄旅行の「大変満足」の割合は、前年同期に比べ3.8ポイント減、2019年に比べ5.7ポイント減となった。全国的にも「大変満足」の割合は低下した。全国各地で旅行者の誘客強化が行われ、海外旅行を検討する人も増加するなか、旅先ならではの食や思い出を作ること等を一層強く求める旅行者に対し、適切なサービスが提供出来ているかとの検証が必要ではないか。

※満足度指数：大変満足（7点）～大変不満（1点）の7段階評価の平均値。

【図表 3-13】旅行者の総合満足度（1～9月）

	沖縄県							全国								
	2019年 1-9月 (n=345)	2020年 1-9月 (n=208)	2021年 1-9月 (n=134)	2022年 1-9月 (n=114)	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2019年との差	前年との差	2019年 1-9月 (n=6939)	2020年 1-9月 (n=5007)	2021年 1-9月 (n=4263)	2022年 1-9月 (n=4357)	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2019年との差	前年との差
	大変満足	49.0	38.0	36.6	39.5	47.1	43.3	-5.7	-3.8	33.4	28.0	28.7	31.2	35.5	32.5	0.9
満足	34.5	42.8	46.3	36.0	38.6	36.6	2.1	-2.0	45.4	44.6	45.9	46.2	44.7	43.0	2.4	-1.6
やや満足	13.3	13.5	9.7	14.0	10.2	15.8	2.4	5.6	16.0	19.6	18.8	17.2	14.8	17.9	1.9	3.1
どちらでもない	1.7	3.4	3.0	5.3	3.7	3.7	2.0	0.0	3.9	5.6	4.7	3.9	3.9	5.1	1.3	1.3
やや不満	0.3	1.0	3.7	2.6	0.0	0.0	-0.3	0.0	0.9	1.5	1.3	1.0	0.7	0.8	0.0	0.1
不満	0.3	0.5	0.0	1.8	0.0	0.3	+0.0	0.3	0.2	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0
大変不満	0.9	1.0	0.7	0.9	0.3	0.3	-0.6	-0.1	0.3	0.2	0.4	0.3	0.3	0.4	0.1	0.1
総合満足度指数	6.26	6.08	6.06	5.96	6.28	6.18	-0.08	-0.10	6.05	5.90	5.93	6.01	6.09	5.99	-0.06	-0.10

【参考 15】旅行者の総合満足度（年間値）

	沖縄県							全国							
	2019年 (n=362)	2020年 (n=214)	2021年 (n=165)	2022年 (n=167)	2023年 (n=323)	2024年 1-9月 (n=374)	沖縄-全国	2019年 (n=9364)	2020年 (n=6511)	2021年 (n=5803)	2022年 (n=6050)	2023年 (n=8258)	2024年 1-9月 (n=7458)		
	大変満足	46.2	40.7	36.5	36.9	48.5	43.3	10.8	32.8	29.1	29.0	31.8	35.2	32.5	
満足	37.1	41.4	47.0	38.7	37.2	36.6	-6.4	45.5	45.1	46.0	46.1	44.5	43.0		
やや満足	13.3	12.2	9.9	16.5	9.6	15.8	-2.2	16.1	18.6	18.5	16.4	15.2	17.9		
どちらでもない	2.0	3.4	3.3	2.7	4.2	3.7	-1.4	4.3	5.2	4.7	4.2	3.9	5.1		
やや不満	0.2	1.1	2.8	2.7	0.3	0.0	-0.8	0.9	1.4	1.2	0.9	0.8	0.8		
不満	0.2	0.4	0.0	1.7	0.0	0.3	0.1	0.2	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2		
大変不満	0.9	0.8	0.6	0.8	0.3	0.3	-0.1	0.3	0.2	0.4	0.2	0.3	0.4		
総合満足度指数	6.23	6.13	6.09	5.96	6.28	6.18	0.18	6.04	5.93	5.95	6.02	6.08	5.99		

(2) 再来訪意向

- 2024年1-9月の沖縄旅行の再来訪意向は、「ぜひまた訪れたい（大変そう思う）」が5割を占め、全国に比べ20ポイント高い水準であった。
- 沖縄旅行において、「ぜひまた訪れたい（大変そう思う）」の割合は、前年同期に比べ6.7ポイント増、2019年に比べ3.5ポイント増となった。全国的にも同割合は大きな変化はなかった。
- 満足度別再来訪は、大変満足した場合は「ぜひまた訪れたい（大変そう思う）」が84.0%を占めるのに対し、満足した場合の同割合は32.1%に低下する。再来訪につなげるためには、大変満足してもらうことが重要である。
- 沖縄旅行における来訪経験別の再来訪意向をみると、2019年に比べ、リピーター（2～4回目及び5回目以上）の再来訪意向は高まったのに対し、初来訪者の再来訪意向は低下した。

※再来訪意向指数：大変そう思う（7点）～全く思わない（1点）の7段階評価の平均値。

【図表 3-14】旅行者の再来訪意向（1～9月）

(%)

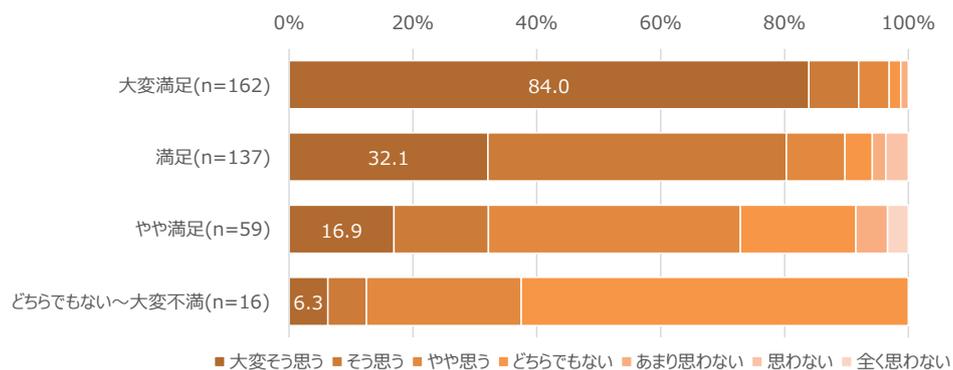
	沖縄県							全国								
	2019年 1-9月 (n=345)	2020年 1-9月 (n=208)	2021年 1-9月 (n=134)	2022年 1-9月 (n=114)	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2019年との差 前年との差		2019年 1-9月 (n=6939)	2020年 1-9月 (n=5007)	2021年 1-9月 (n=4263)	2022年 1-9月 (n=4357)	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2019年との差 前年との差	
再来訪意向																
大変そう思う	47.5	42.8	46.3	39.5	44.4	51.1	3.5	6.7	29.9	28.0	29.0	26.7	29.1	29.5	0.5	0.4
そう思う	28.4	27.9	29.1	29.8	26.8	23.8	-4.6	-3.0	33.2	31.8	33.4	33.6	32.7	32.0	1.2	-0.8
やや思う	14.2	14.9	14.9	7.9	16.6	13.1	-1.1	-3.5	18.0	18.9	18.6	18.9	18.7	18.9	0.8	0.1
どちらでもない	6.1	8.2	6.0	13.2	6.8	8.0	1.9	1.2	11.2	12.9	12.1	12.0	11.1	11.5	0.3	0.3
あまり思わない	2.6	4.8	1.5	5.3	3.4	2.1	-0.5	-1.3	4.5	5.4	4.3	5.3	5.0	4.9	0.3	-0.2
思わない	0.6	0.0	2.2	1.8	2.0	1.3	0.8	-0.7	2.3	2.1	1.9	2.6	2.3	2.1	-0.1	-0.1
全く思わない	0.6	1.4	0.0	2.6	0.0	0.5	-0.0	0.5	0.8	0.9	0.7	0.9	1.0	1.2	0.4	0.2
再来訪意向指数	6.08	5.90	6.06	5.69	5.96	6.07	-0.01	0.12	5.63	5.54	5.62	5.53	5.59	5.59	-0.04	-0.01

【参考 16】旅行者の再来訪意向（年間値）

(参考) (%) (%)

	沖縄県							全国					
	2019年 (n=362)	2020年 (n=214)	2021年 (n=165)	2022年 (n=167)	2023年 (n=323)	2024年 1-9月 (n=374)	沖縄-全国	2019年 (n=9364)	2020年 (n=6511)	2021年 (n=5803)	2022年 (n=6050)	2023年 (n=8258)	2024年 1-9月 (n=7458)
再来訪意向													
大変そう思う	45.8	44.5	43.6	40.9	45.8	51.1	21.6	29.8	27.4	28.4	27.1	29.1	29.5
そう思う	30.4	26.6	29.8	29.6	26.6	23.8	-8.2	33.8	31.7	33.1	32.8	32.8	32.0
やや思う	13.6	13.3	16.0	11.5	13.5	13.1	-5.8	17.8	18.7	19.1	19.3	18.4	18.9
どちらでもない	7.1	8.7	7.2	9.1	8.3	8.0	-3.5	11.3	13.2	12.3	12.2	11.3	11.5
あまり思わない	2.0	4.9	1.7	5.3	3.0	2.1	-2.7	4.4	5.7	4.5	5.2	5.0	4.9
思わない	0.7	0.4	1.7	2.2	2.4	1.3	-0.8	2.2	2.2	1.9	2.7	2.3	2.1
全く思わない	0.4	1.5	0.0	1.4	0.4	0.5	-0.6	0.7	1.1	0.8	0.8	1.1	1.2
再来訪意向指数	6.07	5.90	6.02	5.80	5.95	6.07	0.49	5.64	5.51	5.60	5.53	5.58	5.59

【参考 17】満足度別再来訪意向



【参考 18】来訪経験別再来訪意向

「大変そう思う」の割合	沖縄県			全国		
	初めて (n=106/45/21/ 29/79/67)	2～4回目 (n=224/99/29/ 49/121/201)	5回目以上 (n=120/64/68/ 39/95/106)	初めて (n=2002/1101/961/ 954/1375/1653)	2～4回目 (n=4270/2030/1643/ 1794/2794/3414)	5回目以上 (n=1092/1876/1659/ 1609/2094/2391)
2019年1-9月	39.6	41.5	59.2	21.0	23.8	43.7
2020年1-9月	33.3	39.4	54.7	16.1	21.3	42.2
2021年1-9月	13.8	45.9	60.3	18.7	20.8	43.0
2022年1-9月	38.5	32.7	48.7	17.7	19.8	39.7
2023年1-9月	32.9	36.4	64.2	18.5	23.2	43.9
2024年1-9月	32.8	47.8	68.9	19.7	24.3	43.6

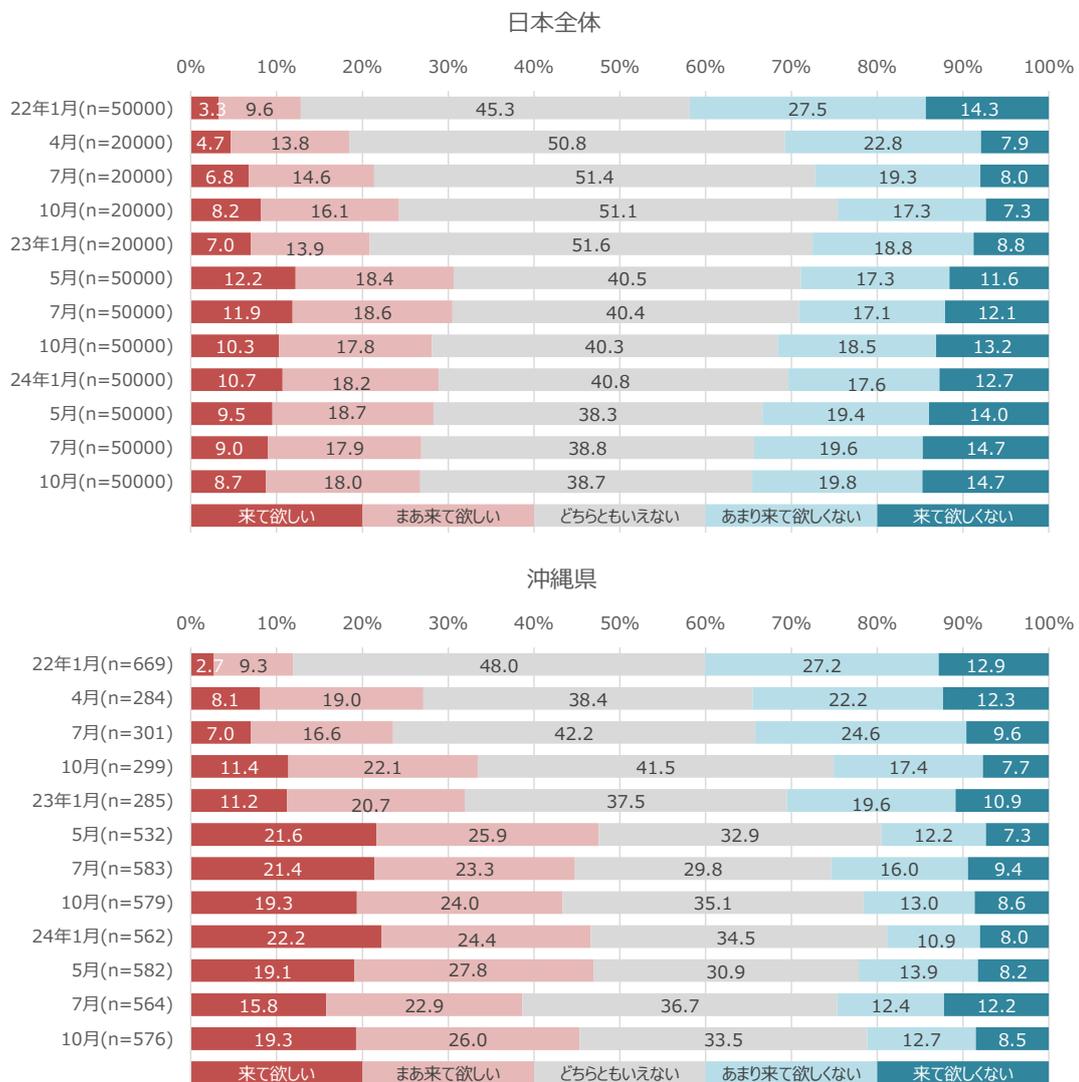
※n 2019年/2020年/2021年/2022年/2023年/2024年

(参考) 沖縄観光に対する住民意識

①地域住民の旅行者に対する思い

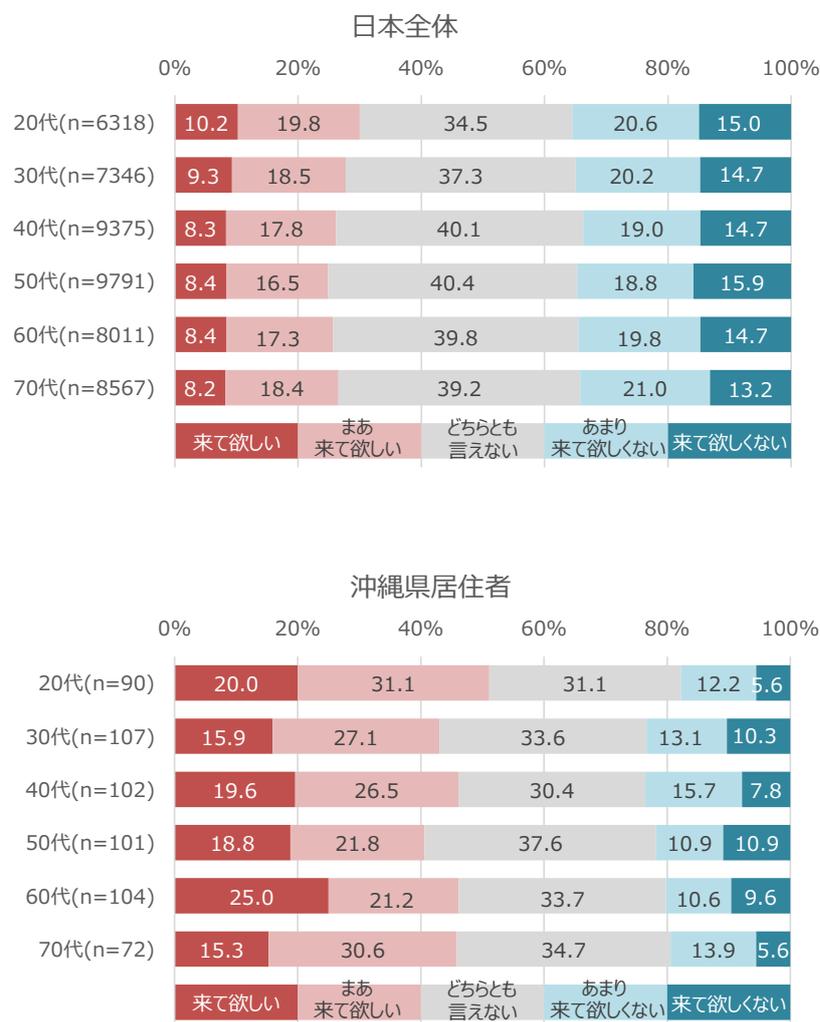
- 居住地域に旅行者が訪れることについてどう思うかを尋ねた結果を以下に示す。2024年10月時点において、「来て欲しい」「まあ来てほしい」を合わせた、来て欲しい層は26.8%、「あまり来て欲しくない」「来て欲しくない」を合わせた、来て欲しくない層は34.6%であった。
- 同時点において、沖縄県居住者の来てほしい層は45.3%、来て欲しくない層は21.2%であった。

【図表 19】 居住地域に旅行者が訪れることに対する思い



- 年齢別にみると、日本全体においては、来て欲しい層の割合が最も高いのは20代（30.0%）、最も低いのは50代（24.9%）であった。
- 沖縄県居住者においても、20代の来て欲しい意向が最も高く（51.1%）、50代が最も低い（40.6%）という結果となり、日本全体と同様の傾向がみられた。
- 沖縄県居住者については、最も低い50代であっても日本全体と比べてその割合は高く、沖縄の人は比較的観光客を歓迎していると言えるだろう。

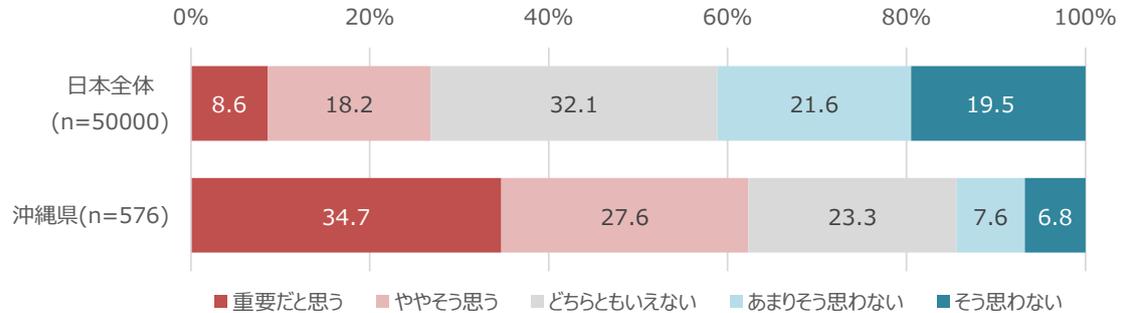
【図表 20】 居住地域に旅行者が訪れることに対する思い（年代別）【2024年10月】



②地域の発展における観光の重要度認識

- 居住地域の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか、という質問に対して、「重要だと思う」という回答は、日本全体の 8.6%に対し、沖縄県居住者では 34.7%であった。

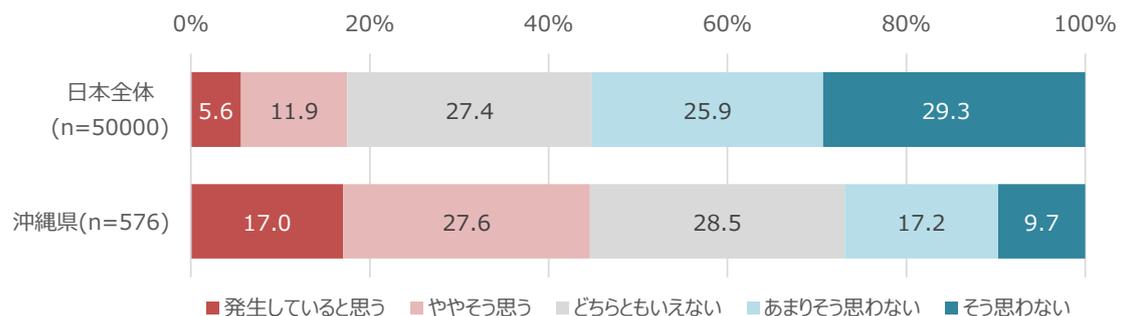
【図表 21】地域の発展における観光の重要度認識【2024 年 10 月】



③居住地域における混雑や住民生活への負の影響等の発生認識

- 居住地域において、観光客の来訪によって混雑や住民生活への負の影響等が発生していると思うか、という質問に対して、「発生していると思う」という回答は、日本全体の 5.6%に対し、沖縄県居住者では 17.0%であった。
- 観光が沖縄の発展に「重要だと思う」「やや思う」との回答が過半数となる一方、京都などの観光地と同様にオーバーツーリズムの課題を感じる回答も一定数あることから、観光立県を推進するに当たってはその対策が求められる。

【図表 22】居住地域における混雑や住民生活への負の影響等の発生認識【2024 年 10 月】



第4章 沖縄旅行意向者の特徴・ニーズ

本章では、沖縄への旅行意向がある者の特徴やニーズを把握するため、コロナ禍以前の2019年から2024年の沖縄旅行意向者の属性や意識についての経年比較分析、国内旅行意向者全体との比較分析を行う。

1. 沖縄旅行意向者の属性

(1) 性別・年代

- 性別については、コロナ禍前、前年と比べ、「男性」が減少し、「女性」が増加した。
- 年代については、沖縄旅行意向者は全体に比べて「30～40代」が多い。この傾向は、コロナ禍前、前年と比べても変わらない。

【図表 4-1】旅行者意向者の属性

		沖縄旅行意向者 (最も行きたい国内旅行先が沖縄)										国内旅行意向者全体						
		2019年 (n=288)	2020年 (n=330)	2021年 (n=297)	2022年 (n=288)	2023年 (n=244)	2024年 (n=241)	2019年の差	前年との差	沖縄-全国	2019年 (n=1,380)	2020年 (n=1,370)	2021年 (n=1,376)	2022年 (n=1,318)	2023年 (n=1,213)	2024年 (n=1,147)	2019年の差	前年との差
性別	男性	52.8	48.5	54.2	54.2	52.0	43.6	-9.2	-8.4	-3.2	49.9	50.2	50.3	50.2	48.8	46.8	-3.1	-2.0
	女性	47.2	51.5	45.8	45.8	48.0	55.4	9.2	8.4	3.2	50.1	49.8	49.7	49.8	51.2	53.2	3.1	2.0
年代	10代	2.8	3.0	1.3	1.4	2.5	2.5	-0.3	0.0	-0.4	2.1	3.6	1.9	1.5	2.4	2.9	0.8	0.5
	20代	16.3	14.5	17.8	18.1	12.3	12.4	-3.9	0.1	2.8	14.1	11.7	14.5	12.4	12.4	9.7	-4.4	-2.7
	30代	23.6	24.5	23.2	19.8	17.6	22.8	-0.8	5.2	9.4	16.7	15.9	16.3	14.3	13.4	13.4	-3.3	0.0
	40代	23.3	21.5	25.3	22.9	28.3	28.2	5.0	-0.1	6.5	20.1	19.1	19.6	19.7	19.0	21.7	1.6	2.7
	50代	13.5	17.0	14.5	14.9	18.0	17.4	3.9	-0.6	-2.5	15.6	16.3	14.9	17.3	18.3	19.9	4.3	1.6
	60代	11.8	13.0	12.5	13.2	12.7	10.8	-1.0	-1.9	-6.4	17.1	19.8	18.9	17.2	16.0	17.2	0.1	1.2
	70代	8.7	6.4	5.4	9.7	8.6	5.8	-2.9	-2.8	-9.4	14.3	13.7	14.0	17.6	18.5	15.3	1.0	-3.2

(2) 居住地

- 沖縄旅行意向者は、コロナ禍前から全体に比べ、居住地は「関東」、都市規模は「大都市」が多く、2024年もその傾向が続く。

【図表 4-2】旅行者意向者の居住地

		沖縄旅行意向者 (最も行きたい国内旅行先が沖縄)										国内旅行意向者全体						
		2019年 (n=288)	2020年 (n=330)	2021年 (n=297)	2022年 (n=288)	2023年 (n=244)	2024年 (n=241)	2019年の差	前年との差	沖縄-全国	2019年 (n=1,380)	2020年 (n=1,370)	2021年 (n=1,376)	2022年 (n=1,318)	2023年 (n=1,213)	2024年 (n=1,147)	2019年の差	前年との差
居住地	北海道・東北	12.2	10.3	12.8	14.6	4.9	14.5	2.4	9.6	3.5	11.4	10.8	12.0	11.6	11.5	11.0	-0.4	-0.5
	関東	46.2	42.4	45.1	44.1	46.3	41.5	-4.7	-4.8	2.8	41.3	34.1	35.2	38.2	37.7	38.7	-2.6	1.0
	中部・北陸	13.5	12.7	14.5	14.2	16.4	17.0	3.5	0.6	0.1	15.5	15.3	15.8	14.9	15.7	16.9	1.4	1.2
	近畿	12.5	18.2	13.1	14.2	21.7	14.9	2.4	-6.8	0.6	14.5	18.2	15.2	14.3	16.4	14.4	-0.1	-2.0
	中四国・九州・沖縄	15.6	16.4	14.5	12.8	10.7	12.0	-3.6	1.3	-7.0	17.3	21.6	21.8	21.1	18.8	19.0	1.7	0.2
都市規模	大都市 (政令市及び東京都区部)	37.2	33.9	33.7	38.2	34.0	39.8	2.7	5.8	3.8	36.1	33.4	33.6	34.4	34.9	36.0	-0.1	1.1
	中都市 (本都市域人口15万以上の市)	33.7	28.5	30.6	26.0	30.7	18.3	-15.4	-12.4	2.1	31.7	30.3	29.1	30.0	29.6	16.1	-15.5	-13.5
	小都市 (人口15万未満の市)	22.6	27.9	25.3	27.1	30.3	35.7	13.1	5.4	-5.2	26.0	27.2	28.7	28.0	29.3	40.9	14.9	11.6
	町村	6.6	9.7	10.4	8.7	4.9	6.2	-0.4	1.3	-0.8	6.2	9.1	8.6	7.6	6.3	7.0	0.7	0.7

(3) ライフステージ

- 沖縄旅行意向者は、コロナ禍前から全体に比べて男女ともに「子育て世代」の割合が高く、「子育て後」の割合が低い。2024年は、旅行の動機として「食」や「思い出づくり」、「家族の親睦」などが上がっていることもあり、特に「女性・子育て中」の割合が増加した。

【図表 4-3】旅行者意向者のライフステージ

	沖縄旅行意向者 (最も行きたい国内旅行先が沖縄)									国内旅行意向者全体								
	2019年 (n=288)	2020年 (n=330)	2021年 (n=297)	2022年 (n=288)	2023年 (n=244)	2024年 (n=241)	2019年との差	前年との差	沖縄-全国	2019年 (n=1,380)	2020年 (n=1,370)	2021年 (n=1,376)	2022年 (n=1,318)	2023年 (n=1,213)	2024年 (n=1,147)	2019年との差	前年との差	
	ライフ ス テ ー ジ	男性・未婚	11.8	10.9	11.1	13.2	9.4	8.3	-3.5	-1.1	-1.8	10.9	10.1	11.3	10.0	11.0	10.1	-0.8
男性・既婚/子供なし	3.8	1.8	2.4	3.1	2.9	1.7	-2.2	-1.2	-0.9	3.3	2.4	2.5	2.9	3.0	2.5	-0.8	-0.5	
男性・子育て中	26.4	27.6	34.0	26.4	30.7	27.0	0.6	-3.7	5.9	23.3	25.3	25.0	23.3	21.4	21.1	-2.2	-0.3	
男性・子育て後	10.1	8.5	5.7	10.4	9.0	6.2	-3.8	-2.8	-6.0	11.6	12.4	11.4	13.4	13.1	12.2	0.6	-0.9	
女性・未婚	7.6	6.1	7.7	7.3	10.2	7.1	-0.6	-3.1	-0.5	8.6	7.8	8.9	7.7	10.2	7.6	-1.0	-2.6	
女性・既婚/子供なし	2.1	3.3	1.3	2.1	2.9	2.1	0.0	-0.8	0.1	2.4	2.0	2.0	2.0	2.2	2.0	-0.4	-0.2	
女性・子育て中	27.4	32.1	29.6	29.2	25.8	38.2	10.7	12.4	10.2	24.9	23.4	22.2	22.8	22.6	28.0	3.1	5.4	
女性・子育て後	10.1	9.7	7.1	7.3	8.2	8.3	-1.8	0.1	-6.4	13.6	16.3	16.5	16.4	15.8	14.7	1.2	-1.1	
無回答	0.7	0.0	1.0	1.0	0.9	1.2	0.5	0.3	-0.5	1.4	0.2	0.2	1.5	0.7	1.7	0.3	1.0	

(4) 世帯収入

- 沖縄旅行意向者の世帯年収は、コロナ禍において海外旅行から沖縄旅行に振り替える動きを見せていた高所得層の影響もあり、「1,000万円以上」の割合が高まった。2024年も引き続き、沖縄旅行意向者のほうが全体よりも高い傾向にある。

【図表 4-4】旅行者意向者の世帯収入

	沖縄旅行意向者 (最も行きたい国内旅行先が沖縄)									国内旅行意向者全体								
	2019年 (n=288)	2020年 (n=330)	2021年 (n=297)	2022年 (n=288)	2023年 (n=244)	2024年 (n=241)	2019年との差	前年との差	沖縄-全国	2019年 (n=1,380)	2020年 (n=1,370)	2021年 (n=1,376)	2022年 (n=1,318)	2023年 (n=1,213)	2024年 (n=1,147)	2019年との差	前年との差	
	世帯 収 入	400万円未満	29.9	24.2	21.5	29.2	23.3	22.8	-7.0	-0.5	-4.5	30.7	30.6	32.7	32.4	33.6	27.3	-3.4
400～600万円未満	25.3	28.5	24.9	25.0	24.6	22.8	-2.5	-1.8	-1.0	24.4	27.6	24.0	25.5	24.2	23.8	-0.6	-0.4	
600～800万円未満	20.5	20.0	24.2	20.5	25.5	24.5	4.0	-1.0	1.9	20.3	19.7	20.1	18.0	18.6	22.6	2.3	4.0	
800～1,000万円未満	12.2	13.9	10.4	9.0	12.3	10.8	-1.4	-1.5	-0.1	10.0	10.3	10.0	9.5	10.4	10.9	0.9	0.5	
1,000万円以上	9.4	12.4	16.8	14.2	11.0	15.8	6.4	4.8	4.0	10.7	10.1	11.1	12.1	9.9	11.8	1.1	1.9	
収入なし	0.7	0.3	0.0	0.3	0.8	0.8	0.1	0.0	0.1	0.4	0.7	0.4	0.6	1.1	0.7	0.3	-0.4	
無回答	2.1	0.6	2.0	1.8	2.5	2.5	0.4	0.0	-0.5	3.6	1.1	1.6	1.9	2.2	3.0	-0.6	0.8	

(5) 旅行頻度

- 前年に続き、沖縄旅行意向者、全体ともに、コロナ禍前に比べて旅行慣れしている人（年に1回以上旅行に行く人）の割合が高い。さらに、沖縄旅行意向者のほうが全国よりもその割合が高い。

【図表 4-5】旅行者意向者の旅行頻度

	沖縄旅行意向者 (最も行きたい国内旅行先が沖縄)									国内旅行意向者全体								
	2019年 (n=288)	2020年 (n=330)	2021年 (n=297)	2022年 (n=288)	2023年 (n=244)	2024年 (n=241)	2019年との差	前年との差	沖縄-全国	2019年 (n=1,380)	2020年 (n=1,370)	2021年 (n=1,376)	2022年 (n=1,318)	2023年 (n=1,213)	2024年 (n=1,147)	2019年との差	前年との差	
	旅行 頻 度	あまり行かない	28.8	19.7	23.9	26.4	26.9	30.7	1.9	3.8	0.4	30.4	24.5	25.2	23.6	27.9	30.3	0.0
2年に1回程度	9.4	9.1	7.1	7.6	7.9	2.1	-7.3	-5.8	-3.0	9.3	10.7	7.8	9.4	7.6	5.1	-4.2	-2.5	
年に1～2回程度	47.6	57.0	54.5	50.3	45.9	49.0	1.4	3.1	1.4	46.0	51.1	50.2	52.0	48.2	47.5	1.5	-0.7	
年に3～5回程度	11.8	11.8	12.1	12.5	16.1	14.5	2.7	-1.6	1.3	10.4	11.0	13.5	11.8	13.7	13.3	2.8	-0.4	
年に6回以上	2.4	1.8	2.0	3.1	3.3	3.3	0.9	0.0	0.1	2.6	2.3	2.9	2.7	2.6	3.2	0.6	0.6	
無回答	0.0	0.6	0.3	0.1	0.0	0.4	0.4	0.4	-0.2	1.3	0.4	0.4	0.5	0.0	0.6	-0.7	0.6	
2年に1回以下	38.2	28.8	31.0	34.0	34.8	32.8	-5.4	-2.0	-2.6	39.6	35.2	33.0	33.0	35.5	35.4	-4.2	-0.1	
年に1回以上	61.8	70.6	68.7	65.9	65.3	66.8	5.0	1.5	2.8	59.1	64.4	66.6	66.5	64.5	64.0	4.9	-0.5	

2. 沖縄旅行意向者のニーズ

(1) 旅行の動機

- 沖縄旅行意向者の旅行動機は、2020年のコロナ禍以降、「日常生活からの解放」が継続して最も多かったが、2024年は「旅先のおいしいものを求めて」が最多となった。
- 全国と比べて、沖縄により求められているものは、「旅先のおいしいもの」、「思い出をつくる」、「家族の親睦」、「ぜいたく」であり、これらの割合は、コロナ禍前、前年と比べて増加している。
- 全国でも「旅先のおいしいものを求めて」が最多となり、2022年、2023年に最多だった「日常生活からの解放」は次点となった。

【図表 4-6】旅行者意向者の旅行動機 [複数回答]

	沖縄旅行意向者 (最も行きたい国内旅行先が沖縄)										国内旅行意向者全体							
	2019年 (n=288)	2020年 (n=330)	2021年 (n=297)	2022年 (n=288)	2023年 (n=244)	2024年 (n=241)	2019年との差			2019年との差			2019年との差					
							前年との差	前年との差	沖縄-全国	前年との差	前年との差	前年との差	前年との差	前年との差	前年との差			
旅先のおいしいものを求めて	63.5	70.3	68.7	63.5	59.8	71.8	8.2	12.0	6.1	65.0	67.3	68.1	67.8	65.4	65.6	0.6	0.2	
思い出をつくるため	61.8	64.2	65.3	59.4	59.0	67.6	5.8	8.6	10.0	56.8	56.4	56.5	54.5	53.9	57.6	0.8	3.7	
日常生活から解放されるため	62.8	73.0	73.4	71.9	73.0	65.1	2.3	-7.9	1.2	62.5	64.8	65.6	68.8	66.7	63.9	1.4	-2.8	
家族の親睦のため	47.2	50.9	48.8	40.6	46.3	50.6	3.4	4.3	7.5	45.0	46.2	42.0	41.2	40.3	43.2	-1.8	2.9	
保養、休養のため	47.2	51.2	49.8	46.5	47.5	41.1	-6.1	-6.4	-0.3	44.3	44.5	47.2	45.0	42.0	41.4	-2.9	-0.6	
美しいものにふれるため	27.8	38.2	36.7	37.8	40.6	32.4	4.6	-8.2	0.1	34.2	38.3	37.7	36.6	36.1	32.3	-1.9	-3.8	
感動したい	26.0	26.1	29.0	24.3	27.0	26.1	0.1	-0.9	-3.1	28.7	27.8	30.7	28.8	27.0	29.2	0.5	2.2	
未知のものにふれたい	30.2	30.0	32.3	29.9	29.1	25.7	-4.5	-3.4	-2.7	32.0	30.0	31.9	30.7	30.3	28.4	-3.6	-1.9	
友達とのつきあいを楽しむため	17.0	24.2	20.5	24.3	23.0	19.1	2.1	-3.9	-1.7	20.9	23.9	22.6	21.3	21.3	20.7	-0.1	-0.6	
ぜいたくしたい	12.2	14.2	13.1	15.6	15.2	18.7	6.5	3.5	6.6	9.5	10.9	11.4	11.5	11.0	12.0	2.5	1.0	
知識や教養を深めるため	18.1	17.6	13.8	12.5	13.1	14.5	-3.5	1.4	-3.9	20.1	19.9	19.3	18.4	18.1	18.4	-1.7	0.3	
現地の人や生活にふれたい	14.9	11.8	14.8	11.1	10.2	14.1	-0.8	3.9	1.9	13.6	11.2	12.6	11.8	8.6	12.2	-1.4	3.6	
思い出の場所を訪れるため	9.0	13.0	9.4	7.3	10.7	12.0	3.0	1.3	-0.2	10.7	12.4	11.1	10.3	11.5	12.2	1.6	0.7	
なんとなく	1.7	3.0	4.4	3.1	3.3	4.6	2.8	1.3	1.1	3.8	3.3	4.2	3.9	4.0	3.5	-0.3	-0.5	
自分を見つめるため	2.8	2.4	2.4	3.1	2.5	4.6	1.8	2.1	1.3	3.0	3.0	2.8	3.0	3.4	3.3	0.3	-0.1	
何の予定もない時間を求めて	5.6	4.5	6.4	5.2	9.0	4.1	-1.4	-4.9	-1.4	5.7	4.7	5.4	6.3	6.8	5.6	-0.1	-1.2	
みんなが行くから	2.4	2.1	1.0	2.1	2.0	3.7	1.3	1.7	0.9	3.5	2.4	1.4	2.8	2.2	2.8	-0.7	0.6	
一人になりたい	0.7	1.8	2.0	0.7	3.3	3.3	2.6	0.0	0.6	2.0	2.1	2.8	1.9	3.7	2.7	0.7	-1.0	
健康増進のため	3.8	1.8	2.0	1.4	4.9	2.9	-0.9	-2.0	-0.6	4.2	2.9	3.3	3.3	3.7	3.5	-0.7	-0.2	
新しい友達を求めて	0.7	0.3	1.0	1.0	1.6	2.1	1.4	0.5	1.1	1.1	0.7	1.0	1.1	1.1	1.0	-0.1	-0.1	
ハブニングを求めて	2.1	2.4	3.4	2.8	1.6	1.2	-0.8	-0.4	0.1	1.4	1.5	1.7	2.0	1.4	1.1	-0.3	-0.3	
上記のいずれにもあてはまらない	1.0	0.6	0.3	0.0	0.4	1.2	0.2	0.8	0.6	0.4	0.4	0.4	0.1	0.4	0.6	0.2	0.2	
旅行をしたとは思わない	0.7	0.3	1.3	1.4	1.6	1.7	1.0	0.1	0.5	0.8	1.0	1.5	1.4	1.8	1.1	0.3	-0.7	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0	0.0	-0.4	-0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	-0.1	

(2) 今後1～2年の間に行ってみたい旅行タイプ

- 沖縄旅行意向者の行ってみたい旅行タイプのトップは「海浜リゾート」である。これは2019年以降継続しており、いずれの年もその選択率は全国と比較して大幅に高い。その他、全国に比べて特徴的な旅行タイプは、「離島観光」、「海水浴」、「リゾートホテル」、「マリンスポーツ」など、いわゆる海や島、リゾート関連の旅行タイプが多い。
- 沖縄旅行意向者において、コロナ禍前、前年と比べて増加傾向にある旅行タイプは、「海浜リゾート」、「現地グルメ」、「温泉旅行」、「テーマパーク・レジャーランド」、「おしゃべり旅行」、「スポーツ観戦」などであった。
- 特に、「テーマパーク・レジャーランド」については、コロナ禍前と比べて1割弱増加した。全国的にもニーズは高い。

【図表 4-7】旅行者意向者の行ってみたい旅行タイプ [複数回答]

	沖縄旅行意向者 (最も行きたい国内旅行先が沖縄)										国内旅行意向者全体									
	2019年 (n=288)	2020年 (n=330)	2021年 (n=297)	2022年 (n=288)	2023年 (n=244)	2024年 (n=241)	2019年との差	前年との差	沖縄-全国	2019年 (n=1,380)	2020年 (n=1,370)	2021年 (n=1,376)	2022年 (n=1,318)	2023年 (n=1,213)	2024年 (n=1,147)	2019年との差	前年との差			
海浜リゾート	54.9	56.1	62.0	52.8	52.5	61.8	7.0	9.3	30.2	34.8	33.1	37.3	33.5	29.3	31.6	-3.1	2.3			
現地グルメ	47.2	42.7	48.1	44.8	42.6	53.5	6.3	10.9	5.2	44.4	42.9	45.9	43.6	45.1	48.3	3.9	3.2			
温泉旅行	49.7	45.8	59.3	51.7	45.5	51.5	1.8	6.0	-2.5	51.2	48.3	58.4	52.4	49.3	54.0	2.8	4.7			
自然観光	46.9	49.7	51.9	49.7	42.6	44.0	-2.9	1.4	-2.8	51.5	49.3	50.7	50.8	47.1	46.8	-4.7	-0.3			
テーマパーク・レジャーランド	31.6	38.8	49.8	37.5	40.2	41.1	9.5	0.9	5.1	33.3	32.8	41.5	34.7	34.2	36.0	2.7	1.8			
歴史・文化観光	38.2	32.1	35.0	34.0	29.1	35.7	-2.5	6.6	-4.2	43.6	38.6	41.6	40.9	40.1	39.9	-3.6	-0.2			
離島観光	-	-	32.3	27.8	29.9	28.6	-	-1.3	8.6	-	-	23.7	20.6	19.5	20.1	-	0.6			
都市観光	25.7	28.5	27.3	30.2	20.9	27.4	1.7	6.5	2.2	26.9	25.4	29.8	29.2	26.1	25.2	-1.7	-0.9			
海水浴	24.3	23.0	25.3	24.7	22.5	26.1	1.8	3.6	14.0	14.9	12.1	15.0	12.7	11.7	12.1	-2.8	0.4			
リゾートホテル	26.4	22.1	37.4	21.5	26.6	24.9	-1.5	-1.7	8.8	18.3	16.8	24.4	17.1	16.5	16.1	-2.1	-0.4			
おしゃべり旅行	13.2	16.4	17.2	16.7	17.6	19.9	6.7	2.3	1.8	12.2	13.9	17.2	18.1	16.6	18.1	6.0	1.5			
和風旅館	14.9	16.1	23.2	15.6	12.3	19.5	4.6	7.2	-0.2	17.5	17.4	23.4	19.3	18.7	19.7	2.2	1.0			
世界遺産巡り	22.2	15.2	21.9	16.7	20.5	19.5	-2.7	-1.0	-2.6	21.6	17.7	23.0	20.8	22.0	22.1	0.6	0.1			
動物園・水族館	22.2	16.7	26.6	20.1	17.6	18.7	-3.6	1.1	1.1	18.3	16.0	23.7	18.7	17.6	17.6	-0.6	0.0			
ショッピング	20.8	25.5	29.3	20.8	17.2	18.3	-2.6	1.1	1.7	18.4	19.9	24.9	18.6	17.2	16.6	-1.8	-0.6			
町並み散策	20.5	17.6	18.9	16.3	18.9	18.3	-2.2	-0.6	-1.8	23.6	22.5	24.3	19.7	21.3	20.1	-3.5	-1.2			
マリンスポーツ	25.0	23.0	24.6	20.5	18.0	17.4	-7.6	-0.6	8.4	12.8	12.2	14.0	10.2	9.2	9.0	-3.8	-0.2			
ロングステイ	26.0	26.4	31.0	18.4	16.4	15.4	-10.7	-1.0	1.3	21.2	21.1	23.7	14.3	13.5	14.0	-7.2	0.5			
キャンプ	-	-	-	12.2	9.8	14.5	-	4.7	6.0	-	-	-	9.9	6.8	8.5	-	1.7			
スポーツ観戦	9.7	8.8	12.1	8.0	8.6	13.7	4.0	5.1	1.1	10.9	8.3	11.7	8.0	8.5	12.6	1.8	4.1			
自然現象鑑賞	10.8	9.7	11.1	12.5	9.0	13.7	2.9	4.7	2.4	12.0	11.3	14.8	11.4	9.5	11.3	-0.6	1.8			
高原リゾート	15.3	17.6	22.9	14.2	11.9	13.3	-2.0	1.4	-0.9	14.2	14.3	23.0	14.9	14.4	14.2	0.0	-0.2			
スキー・スノーボード	16.7	13.0	17.5	12.8	13.1	13.3	-3.4	0.2	4.8	9.8	8.9	13.5	9.6	8.6	8.5	-1.3	-0.1			
パワースポット	14.2	10.9	18.2	10.4	9.0	12.9	-1.4	3.9	-0.1	14.7	12.0	16.2	10.2	10.4	13.0	-1.7	2.6			
祭・イベント	8.7	10.0	13.1	11.8	10.2	12.0	3.4	1.8	0.4	9.6	11.0	15.0	12.4	11.5	11.7	2.0	0.2			
グランピング	-	-	-	11.5	11.5	11.2	-	-0.3	2.2	-	-	-	7.6	7.4	9.0	-	1.6			
芸術鑑賞	11.1	8.2	10.4	7.6	10.2	11.2	0.1	1.0	-2.6	14.1	12.7	17.0	12.8	11.9	13.8	-0.3	1.9			
ホテルステイ	9.4	14.2	12.5	10.4	6.6	9.5	0.2	2.9	1.8	9.1	10.4	11.6	9.0	6.6	7.8	-1.4	1.2			
秘境ツアー	9.4	8.8	12.1	8.3	7.4	8.7	-0.7	1.3	1.4	9.7	8.8	12.1	8.4	6.8	7.3	-2.4	0.5			
登山・山歩き	9.4	8.8	10.4	5.9	9.8	7.5	-1.9	-2.3	-0.9	11.7	10.7	14.2	10.0	9.6	8.4	-3.3	-1.2			

※沖縄旅行意向者2024年の上位30位までを掲載 - : 選択肢未設定

(注)本設問は、最も行きたい旅行先で行いたい旅行タイプではない点に注意(沖縄旅行意向者が沖縄に限らず旅行を実施するにあたって行いたい旅行タイプであり、沖縄で行いたい旅行タイプではない)。

(3) 旅行タイプ別の今後1～2年の間に行ってみたい旅行先

- 旅行タイプ別に行ってみたい旅行先を尋ねたところ、沖縄県が上位3位以内となった旅行タイプは、「自然観光」、「海浜リゾート」、「マリンスポーツ」、「海水浴」、「離島観光」、「リゾートホテル」、「動物園・水族館」、「ホテルステイ」、「秘境ツアー」、「ロングステイ」などであった。
- 「自然観光」については、2019年から2024年まで、1位「北海道」、2位「沖縄」は変わらない。海浜リゾートについては、過去6年で最高の水準であり、特に、前年から10ポイント以上増加した。「ロングステイ」については、沖縄県は日本全国に比べて泊数が高い傾向にあり、国内では唯一、上位3位以内であり続けている。
- 沖縄県が上位3位以内となった旅行タイプにおける沖縄県シェアをみると、「離島観光」を除いて前年から増加した。

【図表 4-8】旅行タイプ別の今後1～2年の間に行ってみたい旅行先（行ってみたい旅行タイプ上位6位）

①温泉旅行

2019年 (n=742)		2020年 (n=691)		2021年 (n=836)		2022年 (n=716)		2023年 (n=619)		2024年 (n=635)	
1位	大分県 16.4%	1位	大分県 16.6%	1位	大分県 22.5%	1位	大分県 17.5%	1位	大分県 14.4%	1位	大分県 21.6%
2位	群馬県 12.5%	2位	群馬県 12.0%	2位	神奈川県 14.2%	2位	群馬県 16.5%	2位	神奈川県 7.6%	2位	群馬県 15.4%
3位	静岡県 7.3%	3位	神奈川県 6.5%	3位	群馬県 8.9%	3位	神奈川県 8.4%	3位	北海道 6.1%	3位	神奈川県 6.1%

②現地グルメ

2019年 (n=631)		2020年 (n=605)		2021年 (n=655)		2022年 (n=593)		2023年 (n=558)		2024年 (n=565)	
1位	北海道 40.7%	1位	北海道 36.7%	1位	北海道 41.8%	1位	北海道 42.0%	1位	北海道 32.6%	1位	北海道 38.4%
2位	韓国 6.7%	2位	台湾 6.4%	2位	石川県 6.1%	2位	韓国 5.6%	2位	福岡県 6.1%	2位	韓国 8.0%
3位	台湾 6.0%	3位	大阪府 4.6%	3位	韓国 3.7%	3位	福岡県 5.2%	3位	石川県 3.2%	3位	福岡県 7.3%

③自然観光

2019年 (n=742)		2020年 (n=701)		2021年 (n=725)		2022年 (n=693)		2023年 (n=586)		2024年 (n=552)	
1位	北海道 22.4%	1位	北海道 19.8%	1位	北海道 27.2%	1位	北海道 27.0%	1位	北海道 25.8%	1位	北海道 23.2%
2位	沖縄県 8.0%	2位	沖縄県 8.7%	2位	沖縄県 10.1%	2位	沖縄県 11.1%	2位	沖縄県 6.8%	2位	沖縄県* 8.3%
3位	ハワイ 7.0%	3位	ハワイ 6.0%	3位	鹿児島県 4.3%	3位	ハワイ 6.1%	3位	鹿児島県 5.6%	3位	ハワイ 6.3%

*宮古島：4、石垣島：3

④歴史・文化観光

2019年 (n=625)		2020年 (n=547)		2021年 (n=586)		2022年 (n=549)		2023年 (n=495)		2024年 (n=469)	
1位	京都府 24.0%	1位	京都府 21.8%	1位	京都府 41.3%	1位	京都府 29.9%	1位	京都府 24.4%	1位	京都府 25.8%
2位	イタリア 9.0%	2位	イタリア 5.1%	2位	イタリア 5.3%	2位	イタリア 8.2%	2位	イタリア 5.7%	2位	奈良県 7.0%
3位	奈良県 5.6%	3位	広島県、フランス 2.9%	3位	石川県 3.9%	3位	奈良県 5.3%	3位	エジプト 3.8%	3位	イタリア 5.5%

⑤テーマパーク・レジャーランド

2019年 (n=474)		2020年 (n=461)		2021年 (n=585)		2022年 (n=469)		2023年 (n=424)		2024年 (n=418)	
1位	大阪府 38.2%	1位	千葉県 36.9%	1位	千葉県 41.7%	1位	千葉県 41.6%	1位	千葉県 36.6%	1位	千葉県 38.5%
2位	千葉県 36.5%	2位	大阪府 25.8%	2位	大阪府 31.8%	2位	大阪府 36.0%	2位	大阪府 31.5%	2位	大阪府 31.8%
3位	東京都 8.4%	3位	東京都 8.2%	3位	東京都 5.5%	3位	東京都 6.8%	3位	東京都 5.9%	3位	東京都 6.5%

⑥海浜リゾート

2019年 (n=490)		2020年 (n=466)		2021年 (n=521)		2022年 (n=452)		2023年 (n=358)		2024年 (n=367)	
1位	ハワイ 38.0%	1位	ハワイ 37.3%	1位	沖縄県 32.2%	1位	ハワイ 40.5%	1位	ハワイ 32.4%	1位	沖縄県* 41.7%
2位	沖縄県 33.1%	2位	沖縄県 28.1%	2位	ハワイ 31.3%	2位	沖縄県 35.2%	2位	沖縄県 29.6%	2位	ハワイ 32.2%
3位	グアム 5.1%	3位	グアム 3.2%	3位	和歌山県 5.0%	3位	グアム 4.9%	3位	静岡県 2.8%	3位	グアム 2.7%

*宮古島：11、石垣島：9、波照間島：1、竹富島：1、沖縄の離島：1

※行ってみたい旅行先は、国内・海外問わず自由に回答してもらい、その回答を国内は都道府県別（または地方別）、海外は国別（または島別）に整理して集計。

*沖縄県については、記述された具体的な観光地名（「沖縄県」「沖縄」といった回答は除く）を注釈に追加。数値は回答件数。

*回答数（n数）が少ない旅行タイプについては、自由記述の回答件数も少ないため留意されたい。

【図表 4-9】旅行タイプ別の今後 1～2 年の間に行ってみたい旅行先（沖縄県が上位の旅行タイプ）

① マリンスポーツ

2019年 (n=180)		2020年 (n=170)		2021年 (n=195)		2022年 (n=135)		2023年 (n=112)		2024年 (n=105)	
1位	沖縄県 42.2%	1位	沖縄県 49.4%	1位	沖縄県 52.3%	1位	沖縄県 61.5%	1位	沖縄県 62.5%	1位	沖縄県* 63.8%
2位	ハワイ 28.3%	2位	ハワイ 20.0%	2位	ハワイ 22.6%	2位	ハワイ 17.8%	2位	ハワイ 14.3%	2位	ハワイ 17.1%
3位	グアム 7.8%	3位	グアム 6.5%	3位	グアム 6.2%	3位	グアム 8.1%	3位	静岡県、パリ 1.8%	3位	グアム 2.9%

*石垣島：4、宮古島：2、青の洞窟：1

② 海水浴

2019年 (n=211)		2020年 (n=169)		2021年 (n=209)		2022年 (n=170)		2023年 (n=145)		2024年 (n=142)	
1位	沖縄県 42.2%	1位	沖縄県 42.0%	1位	沖縄県 32.5%	1位	沖縄県 40.6%	1位	沖縄県 39.3%	1位	沖縄県* 43.7%
2位	ハワイ 25.1%	2位	ハワイ 27.2%	2位	ハワイ 20.1%	2位	ハワイ 20.6%	2位	ハワイ 20.0%	2位	ハワイ 16.9%
3位	グアム 6.6%	3位	静岡県 5.9%	3位	和歌山県、静岡県 9.6%	3位	静岡県 5.9%	3位	静岡県 6.9%	3位	静岡県、和歌山県 4.2%

*宮古島：2、石垣島：1、波照間：1、慶良間：1、沖縄の離島：1

③ 離島観光

2019年 (n=-)		2020年 (n=-)		2021年 (n=335)		2022年 (n=280)		2023年 (n=242)		2024年 (n=232)	
-	-	-	-	1位	沖縄県 48.7%	1位	沖縄県 52.1%	1位	沖縄県 49.6%	1位	沖縄県* 40.9%
				2位	鹿児島県 14.0%	2位	東京都 7.9%	2位	鹿児島県 8.7%	2位	鹿児島県 12.1%
				3位	東京都 10.7%	3位	鹿児島県 7.1%	3位	東京都 8.3%	3位	長崎県 10.8%

*宮古島：23、石垣島：18、与那国島：3、西表島：3、慶良間諸島：1、久米島：1、竹富島：1、波照間島：1、小浜島：1、先島諸島：1、八重山諸島：1

④ リゾートホテル

2019年 (n=258)		2020年 (n=235)		2021年 (n=342)		2022年 (n=235)		2023年 (n=205)		2024年 (n=187)	
1位	沖縄県 26.0%	1位	沖縄県 20.9%	1位	沖縄県 30.1%	1位	沖縄県 28.5%	1位	沖縄県 23.9%	1位	沖縄県* 32.6%
2位	ハワイ 20.9%	2位	ハワイ 19.1%	2位	ハワイ 15.2%	2位	ハワイ 14.5%	2位	ハワイ 13.7%	2位	ハワイ 19.3%
3位	北海道 6.6%	3位	北海道 6.0%	3位	長野県 5.6%	3位	長野県 6.8%	3位	北海道 5.9%	3位	北海道 5.9%

*宮古島：7、石垣島：2、小浜島：1、恩納村：1

⑤ 動物園・水族館

2019年 (n=262)		2020年 (n=226)		2021年 (n=336)		2022年 (n=265)		2023年 (n=219)		2024年 (n=209)	
1位	沖縄県 27.9%	1位	沖縄県 22.6%	1位	沖縄県 26.2%	1位	北海道 21.9%	1位	北海道 20.1%	1位	北海道 24.4%
2位	北海道 25.6%	2位	北海道 16.8%	2位	北海道 15.2%	2位	沖縄県 21.5%	2位	沖縄県 19.6%	2位	沖縄県* 23.0%
3位	和歌山県 8.0%	3位	和歌山県 9.3%	3位	和歌山県 9.8%	3位	和歌山県 13.2%	3位	和歌山県 8.2%	3位	東京都、神奈川県 11.5%

*美ら海水族館：11

⑥ ホテルステイ

2019年 (n=131)		2020年 (n=144)		2021年 (n=161)		2022年 (n=121)		2023年 (n=79)		2024年 (n=91)	
1位	ハワイ 14.5%	1位	ハワイ 9.0%	1位	ハワイ 13.0%	1位	東京都 14.0%	1位	東京都 10.1%	1位	東京都 12.1%
2位	北海道、東京都 6.9%	2位	沖縄県 8.3%	2位	沖縄県 11.2%	2位	ハワイ 12.4%	2位	沖縄県 8.9%	2位	沖縄県* 11.0%
		3位	東京都 5.6%	3位	東京都 8.7%	3位	沖縄県 10.7%	3位	北海道 7.6%	3位	ハワイ 7.7%

*石垣島：4、小浜島：1

⑦ 秘境ツアー

2019年 (n=137)		2020年 (n=125)		2021年 (n=174)		2022年 (n=118)		2023年 (n=84)		2024年 (n=85)	
1位	鹿児島県 9.5%	1位	鹿児島県 7.2%	1位	鹿児島県 14.4%	1位	鹿児島県 8.5%	1位	北海道 13.1%	1位	沖縄県* 10.6%
2位	沖縄県 7.3%	2位	沖縄県、ペルー 5.6%	2位	北海道 6.9%	2位	北海道 6.8%	2位	鹿児島県 8.3%	2位	ペルー 7.1%
3位	ペルー 5.8%	3位	沖縄県 5.7%	3位	宮崎県 5.9%	3位	沖縄県 5.9%	3位	沖縄県 7.1%	3位	北海道、鹿児島県 4.7%

*西表島：2、宮古島：1、玉泉洞：1

⑧ ロングステイ

2019年 (n=300)		2020年 (n=301)		2021年 (n=334)		2022年 (n=193)		2023年 (n=165)		2024年 (n=165)	
1位	ハワイ 27.3%	1位	ハワイ 20.3%	1位	ハワイ 21.3%	1位	ハワイ 17.6%	1位	ハワイ 18.8%	1位	ハワイ 16.4%
2位	沖縄県 8.0%	2位	沖縄県 10.3%	2位	沖縄県 13.5%	2位	沖縄県 15.5%	2位	アメリカ合衆国本土 6.7%	2位	沖縄県* 9.7%
3位	アメリカ合衆国本土 7.0%	3位	アメリカ合衆国本土 6.3%	3位	アメリカ合衆国本土 4.5%	3位	オーストラリア、アメリカ本土 5.2%	3位	北海道、沖縄県、オーストラリア 4.8%	3位	オーストラリア 7.9%

*石垣島：2

⑨ エコツアー

2019年 (n=68)		2020年 (n=70)		2021年 (n=81)		2022年 (n=47)		2023年 (n=37)		2024年 (n=31)	
1位	北海道 14.7%	1位	北海道、オーストラリア 10.0%	1位	沖縄県 10.7%	1位	北海道 14.9%	1位	北海道、オーストラリア 8.1%	1位	沖縄県* 9.7%
2位	沖縄県、オーストラリア 5.9%	2位	鹿児島県 7.1%	2位	北海道 6.0%	2位	鹿児島県 8.5%	2位	カナダ 5.4%	2位	北海道、静岡県、長野県、奈良県 6.5%
3位		3位	鹿児島県 7.1%	3位	鹿児島県 6.0%	3位	鹿児島県 8.5%	3位		3位	

*西表島：1

⑩ おしゃべり旅行

2019年 (n=180)		2020年 (n=198)		2021年 (n=249)		2022年 (n=250)		2023年 (n=206)		2024年 (n=222)	
1位	北海道 6.7%	1位	静岡県 7.1%	1位	東京都、神奈川県 6.0%	1位	沖縄県 7.6%	1位	北海道 8.7%	1位	北海道、沖縄県 8.6%
2位	神奈川県 6.1%	2位	沖縄県 6.6%	2位	静岡県 5.6%	2位	北海道 6.4%	2位	東京都 4.4%	2位	東京都 5.9%
3位	東京都 5.0%	3位	北海道 5.6%	3位	沖縄県 4.8%	3位	静岡県 5.6%	3位	静岡県 3.9%	3位	

⑪アドベンチャーツーリズム

2019年 (n=-)	2020年 (n=-)	2021年 (n=-)	2022年 (n=-)	2023年 (n=-)	2024年 (n=36)
-	-	-	-	-	1位 沖縄県 25.0%
					2位 北海道 8.3%
					3位 新潟県 5.6%

⑫ウェルネスツーリズム

2019年 (n=-)	2020年 (n=-)	2021年 (n=-)	2022年 (n=-)	2023年 (n=19)	2024年 (n=25)
-	-	-	-	1位 タイ 15.8%	1位 バリ 12.0%
				2位 鹿児島県 10.5%	2位 北海道、沖縄県、タイ、ハワイ、インド 8.0%
				3位 山形県、茨城県他 5.3%	

⑬産業観光

2019年 (n=60)			2020年 (n=42)			2021年 (n=61)			2022年 (n=28)			2023年 (n=20)			2024年 (n=37)		
1位 愛知県 6.7%	2位 東京都、群馬県、新潟県 5.0%	3位	1位 愛知県、京都府、兵庫県、愛媛県、等 3.0%	2位	3位	1位 群馬県、千葉県 6.6%	2位 石川県 4.9%	3位	1位 群馬県、大阪府、九州地方 7.1%	2位	3位	1位 神奈川県、三重県、長崎県、沖縄県 5.0%	2位	3位	1位 神奈川県 8.1%	2位 群馬県、千葉県、三重県、山梨県、沖縄県 5.4%	3位

【参考 23】旅行タイプ別の今後1～2年の間に行ってみたい旅行先（他都道府県との比較）

旅行タイプ	沖縄県		北海道		京都府		東京都	
	順位	シェア率	順位	シェア率	順位	シェア率	順位	シェア率
温泉旅行 (n=635)	-	-	5	5.2%	-	-	-	-
現地グルメ (n=565)	10	1.9%	1	38.4%	8	2.5%	16	0.9%
自然観光 (n=552)	2	8.3%	1	23.2%	7	2.4%	18	1.1%
歴史・文化観光 (n=469)	9	2.3%	11	2.1%	1	25.8%	-	-
テーマパーク (n=418)	-	-	14	0.2%	-	-	3	6.5%
海浜リゾート (n=367)	1	41.7%	-	-	-	-	20	0.5%
都市観光 (n=295)	-	-	9	3.1%	4	5.4%	1	26.8%
世界遺産巡り (n=259)	20	1.2%	15	1.5%	7	4.2%	-	-
町並み散策 (n=236)	-	-	11	2.1%	1	16.9%	-	-
離島観光 (n=232)	1	40.9%	6	2.2%	-	-	4	9.9%

※旅行タイプは国内旅行意向者全体の人気上位10項目を抜粋（詳細は、(公財)日本交通公社『旅行年報2024』を参照されたい）

※各旅行タイプにおいて上位20位に入らなかった都道府県の結果は「-」表記としグレーアウトする

第5章 沖縄に求められる取組

- 今回の調査結果を踏まえ、沖縄観光では以下の取組の視点が重要になると考えられる。
 - ① コロナ禍前への回帰が進んでいることを踏まえた、沖縄で楽しめる各種イベント情報などの早期の情報提供
 - ② 沖縄ならではの資源・ヒトの強みを活かした、地域に根付いた従来からある資源の活用とアクティビティの充実
 - ③ 利用交通手段の変化を踏まえた、公共交通の利用促進・利便性向上

1. 早期の情報提供

調査結果	求められる取組の視点
<p>○コロナ禍前への回帰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期に予約 ・ 4泊以上が増加 ・ 域内旅行の減少 ・ 他検討先としての海外旅行の増加 ・ 旅行動機「日常生活からの解放」の減少 <p>○旅行行動や意識の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別手配の増加 ・ 食ニーズの高まり ・ テーマパークへの注目の高まり 	<p>○早期の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期の予約や、海外旅行と比較しての検討など、コロナ禍前への回帰が進んでいることから、沖縄で楽しめることについて、産業祭りや離島フェア、おきなわ花と食のフェスティバル、やちむん市等の各種イベント情報も含め、早めに伝えていくことが必要である。各種イベントへの参加をプログラムに組み込んだ旅行商品（半日ツアー）の開発等も考えられる。 ・ テーマパークは全国的にもニーズが高く沖縄でも注目が高まっている。ジャングリア沖縄のオープンを7月に控え、早めの情報提供を行って沖縄観光に取り入れてもらうことが重要である。

2. 地域に根付いた従来からある資源の活用とアクティビティの充実

調査結果	求められる取組の視点
<p>○沖縄ならではの資源・ヒトの強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍前も今も変わらず自然や海が高評価 ・ 旅行タイプ別の行きたい旅行先として自然や海関連の沖縄のシェア拡大。特に、海浜リゾートは過去6年で最高水準 ・ どの年代でも沖縄の人は観光客を歓迎する率が全国より高い <p>○現地ツアー等参加率は回復途上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地ツアー、体験プログラムの参加率は回復しているが、コロナ禍前を下回っている <p>○物価高騰、円安等の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行費用の上昇 ・ 初来訪者割合の減少 ・ 満足度の低下、初来訪者の再来訪意向の低下 	<p>○地域に根付いた従来からある資源の活用とアクティビティの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄に根付いている資源にこそ価値がある。これらの資源を活用・発信することで、持続可能な経済循環を促進し、付加価値を高めることができる。そのためには、地域住民との交流や自然とのふれあい、食体験などを通じて、いかに地域への敬意を育みながら伝えていくかが重要となる。 ・ 行ってみたい「海浜リゾート」のポイントが過去最高の「今」をチャンスと捉え、魅力的なアクティビティ等の提供により、沖縄の印象をしっかりと伝える必要がある。また、再来訪につなげるためには、「大変満足」してもらうことが重要である。 ・ 1回沖縄に来てもらい、ダイビングや集落歩き、紅型ややちむんづくりなど、心に刺さるアクティビティを体験してもらうことが重要となる。コロナ禍において減少したアクティビティ事業者の数が未だ戻り切れていないと推察されるため、アクティビティの充実・回復が求められる。

3. 公共交通の利用促進・利便性向上

調査結果	求められる取組の視点
<p>○利用交通手段の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族旅行が減少、ひとり旅が増加 ・ レンタカー利用の減少、公共交通利用の増加 ・ 「Z世代」、「ミレニアル世代」の車離れ <p>○混雑などの発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客の来訪にともない、混雑など住民生活への負の影響を認識 	<p>○公共交通の利用促進・利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国と同様、沖縄でも「ひとり旅」が増加していることに加え、若者の車離れ、脱炭素社会に向けた環境負荷軽減、観光客の来訪にともなう渋滞の緩和などの観点から公共交通の利用促進・利便性向上が欠かせない。 ・ 利用者目線の分かり易い乗り継ぎ案内やバス停の改善などによる利便性向上、「おきなわのりもの旅」や、「のりものNAVI」や「GoogleMAP」等の運行情報提供サイトの紹介といった公共交通の利用促進も重要である。

第二部

第二部 訪日客の沖縄旅行に関する調査

第1章 調査概要

1. 調査の目的

2020年のコロナ禍以降、沖縄への外国人入域観光客数は0となっていたが、2023年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う水際対策の終了により、航空路線やクルーズ船の再開が続いたことで段階的に回復してきた。円安等の影響から、2024年の年間訪日外客数は過去最多を記録。沖縄においても当面の間、航空路線の就航再開・新規就航、クルーズ船の寄港増加に伴い、外国人入域観光客数は回復基調で推移することが見込まれる。また、外国人観光客の急増に伴い、国内各地では、持続可能な観光、消費額拡大、ゴールデンルート以外の地方誘客促進など、高付加価値観光を含む様々な取組みが進められている。

本調査では株式会社日本政策投資銀行（以下、DBJ）および公益財団法人日本交通公社（以下、JTBF）が実施している「DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 2024年度版」を基に、沖縄を訪問した・又は訪問意向のある外国人旅行者の特徴やニーズに関する調査分析を行い、受入側の沖縄に求められる取組等について行政及び民間事業者へ情報提供を行うことを目的とする。

2. データ提供を受けた調査の概要

調査名	DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査（2024年度）
調査実施者	株式会社日本政策投資銀行（DBJ）・公益財団法人日本交通公社（JTBF）
調査方法	インターネットによる調査
実施時期	2024年7月8日～7月18日
調査地域	韓国、中国（上海・北京のみ）、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの12ヶ国・地域
調査対象者	20歳～79歳の男女、かつ、海外旅行経験者 （注）中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行は、海外旅行経験から除く
有効回答者数	上記各国・地域に居住する住民計7,796人

第2章 調査要旨

1. 旅行者全体の動向

- ・ 2024年は訪日外客数、旅行消費額ともに過去最高の結果となった。
- ・ コロナ禍前後の旅行内容について、主に下記の変化が見られた。
 - 世代：「ミレニアル世代」が増加、中高年層が低下
 - 訪日回数：「リピーター」の割合が増加
 - 同行者：「配偶者・パートナー」「自分の子供」の割合が増加
 - 手配方法：「個別手配」の割合が増加
- ・ 次に観光旅行したい国・地域として「日本」は引き続き1位であり、再訪意向率も高い。自国以外で好きな国・地域はアジアで1位、欧米豪で4位である。
- ・ コロナ禍前後で、「沖縄」の認知率、訪問意向率、訪問経験率に大きな変動はない。

2. 沖縄訪問経験者の動向

- ・ 那覇空港における国際定期便の回復状況は、2019年同期比△10%で回復途上にある。
- ・ 沖縄への入域客数は、2024年11月までは2019年を下回っていたものの、直近の12月で対2019年同月比108.1%と、コロナ禍前を超えた。
- ・ 「インバウンド消費動向調査」における支出状況は、総額では単価、消費額ともに対2019年同期比でプラスとなった。費目別では、円安の影響もあり、いずれも単価はプラスである。消費額は、旅行の基盤となる「宿泊費」「飲食費」「交通費」はプラスだが、「娯楽等サービス費」「買物代」はマイナスの傾向である。
- ・ 「沖縄県」で実際に行われた体験は、自然関連2.9%、歴史・文化関連2.6%、レジャー関連2.4%、食関連2.0%、買い物関連1.9%。詳細な体験別では「マリナクティビティを楽しむこと（30.9%）」「その他のアウトドアアクティビティを楽しむこと（5.4%）」「伝統工芸品の制作や購入（4.7%）」「伝統芸能鑑賞（4.3%）」「繁華街の街歩き（2.9%）」が上位である。
- ・ 体験カテゴリ別の支出率は、レジャー関連で高く、約95%。自然関連は低く、75%を下回る。
- ・ 属性は、訪日経験者全体と比べてリピーター（訪日回数「2～5回目」「6回目以上」）の割合が高い。
- ・ 海外旅行先におけるサステナブルな取組に関して「意識>行動」となっている項目は、「収益の一部を野生動物保護に充てる体験プログラムに参加する」「その地域で許可・認可されているツアーガイドを選択する」「地域の生態系の保全に貢献できる体験アクティビティに参加する」「地域ガイドによる野生動物ウォッチングツアーに参加する」で特に差分が大きい。その中でも上記取組の後者3点は、訪日経験者の差分と比べて大きく、沖縄訪問経験者の特徴と言える。
- ・ 訪日時のトラブル経験は、他エリアと大きな差はない。交通関連のトラブル経験は約1割。

3. 沖縄訪問意向者の特徴・ニーズ

- ・ 沖縄訪問意向者は下記のような特徴が見られる。
 - 国籍・地域：アジアの構成比が高く、特に東アジア、特に「台湾」の構成比が高い。
 - 訪日回数：約 5 割が訪日リピーターである。
 - 訪日経験・訪沖経験：約 35%が訪日未経験者、約 40%が訪日経験ありかつ沖縄訪問未経験者、約 25%が沖縄訪問経験者である。
- ・ 沖縄訪問意向者のうち沖縄訪問経験者における意向が高い体験は、アクティビティ関連や伝統工芸、伝統芸能関連である。
- ・ 沖縄訪問意向者における自国で実施した日本に関する活動による日本を好きな度合いの高まり、訪日意向の高まりを確認すると、「日本の文化を楽しむ、体験する」「日本に関するイベントに参加する」「日本国内を案内するオンラインツアーに参加する」といった活動の訪日意欲喚起の効果が高い。

4. 沖縄に求められる取組の視点

- ① 認知の底上げとともに、訪問意向・訪問経験につながる取組の検討・実施
 - ・ 東アジア市場を中心に、引き続き「認知」の底上げを図る。欧米豪においても、まずは認知の向上に取り組むことで、訪問意向の向上に繋げる。
 - ・ 訪日意欲の喚起に効果的な「文化体験」「オンラインツアー参加」「イベント参加」等の活動を軸に、「認知」→「意向」→「経験」へつながる取組に注力する。
 - ・ 前述のような海外における沖縄の PR に加えて、訪日観光客に対する沖縄の PR も重要な取組と考えられる。
- ② 沖縄の強みを活かした体験の環境整備・誘致
 - ・ 自然関連の体験の中でも特に、アクティビティや自然に配慮したツアー、伝統工芸関連など、沖縄の強みを活かした体験の提供に注力する。
 - ・ サステナブルに関する意識と行動の乖離が大きい自然保護・保全関連や地域ガイド関連の項目と、沖縄での実施率が高い自然関連の体験といった親和性の高いものを軸に、沖縄らしい体験を創る。
 - ・ 沖縄が元々保有している自然・文化・食事など多くの資源※を旅行者のニーズにマッチした体験に繋げていく（見せていく）ことも重要である。
 - ※海を中心とした自然、世界自然遺産に登録された生物・地域社会の多様性、御嶽や聖域、世界文化遺産に指定された琉球王国のグスク及び関連遺産群、伝統祭祀、琉球料理、琉球文化、伝統的な生活スタイル等
- ③ 旅行者の意識、環境変化への対応
 - ・ コロナ禍前後で旅行者の意識に変化が見られたが、特にサステナブル関連に関して意識は高まっているものの行動に繋がっていないケースも見受けられる。この状況をチャンスと捉え、自然アクティビティ関連や伝統工芸・伝統芸能など、サステナブルと親和性の高い沖縄の強

みを活かす形で、旅行者のニーズに応じていく。

- ・ インバウンド市場の更なる回復を図るとともに、訪日時に経験したトラブルを参考にオーバーツーリズムへの対応も並行して行う。他エリアでの成功事例を参考にした仕組みづくりを進め、特に、本島北部や離島への誘導を進めることで、分散を強化する。

2023 年の調査結果に続き、交通に関する課題は沖縄県でも生じているため、継続的な対応が必要である。

(担当：平良、島)

第3章 調査結果

本章では、コロナ禍からの回復期を経て成長期に入ったインバウンドの意向・動向について、DBJ と JTBF が調査・分析した本調査の結果を用いて、全体の動向ならびに沖縄の観光に関連する内容について取りまとめた。

1. 旅行者全体の動向

(1) 訪日市場の回復状況

2024 年は、訪日外客数、旅行消費額ともに、コロナ禍前（2019 年）を超える結果となり、年間値は 3,687 万人で、2019 年比+15.6%、前年比+47.1%で過去最高を記録した。特に 10～12 月はコロナ禍前と比較すると、外客数、1 人当たり旅行支出、旅行消費額のいずれも大きく上回った（図表 1-1、1-2）。

【図表 1-1】 訪日外客数の推移



出典：JNTO「訪日外客数」、2024年1～10月は暫定値、11、12月は推計値。2019年、2023年の確定値を元に2019年比、前年比を算出した。

【図表 1-2】 旅行支出と旅行消費額の推移

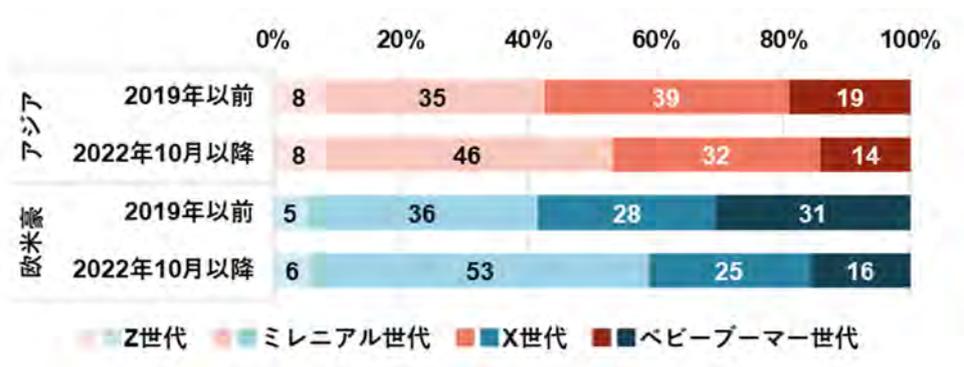


出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」

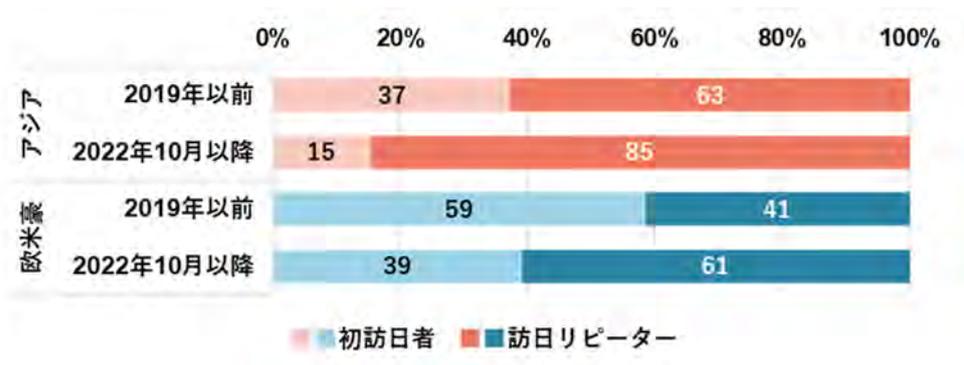
(2) コロナ禍前後の訪日旅行内容の変化

- ・ 年代は、アジア、欧米豪ともにミレニアル世代の割合が増加し、中高年層の割合が低下した（図表 1-3）。
- ・ 訪日回数は、コロナ禍後はアジア、欧米豪ともにリピーターの割合が 20 ポイント以上増加した（図表 1-4）。
- ・ 同行者は、配偶者・パートナーの割合が高く、新型コロナ収束後はその割合も増加した。特に欧米豪では 30 ポイント増加しており、大きく伸長した。また、「自分の子供」も同様にコロナ禍後に割合が増加した（図表 1-5）。
- ・ 滞在日数は、日数別構成比に大きな違いはないが、アジアで「7～13 日間」の割合が増加した（図表 1-6）。
- ・ 手配方法は、個別手配の割合が増加した（図表 1-7）。
- ・ 利用した宿泊施設は、「温泉のある日本旅館」の利用率がアジアで増加した。また、アジア、欧米豪ともにコロナ禍後は「基本的な設備のみが備わっているホテル（西洋式）」の利用率が高い（図表 1-8）。

【図表 1-3】 世代



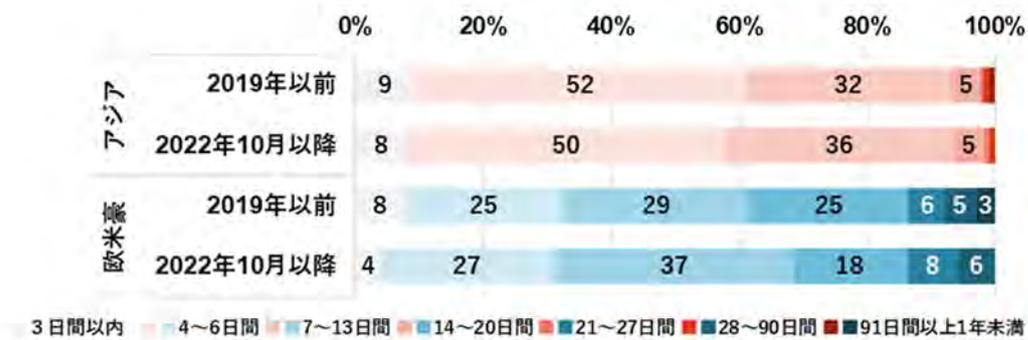
【図表 1-4】 訪日回数



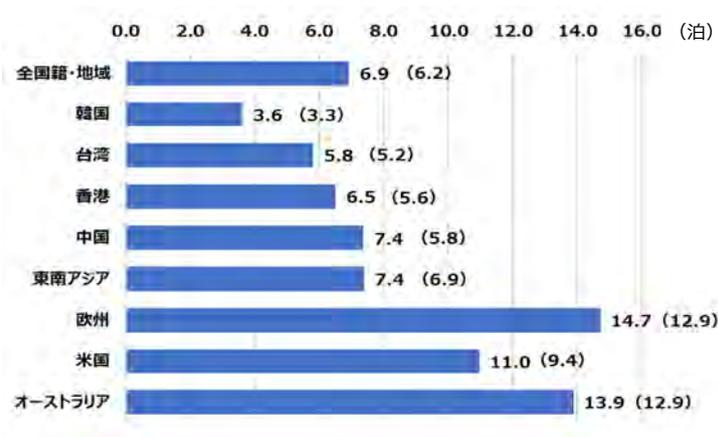
【図表 1-5】 同行者



【図表 1-6】 滞在日数

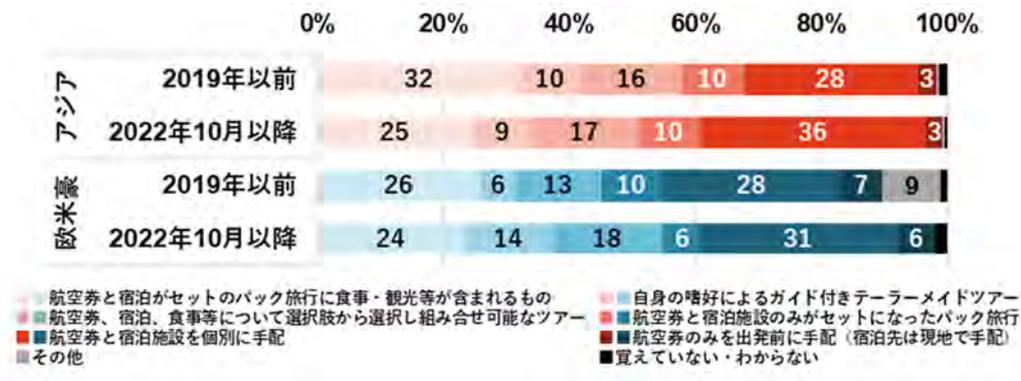


【参考 1-1】 2023 年暦年の国籍・地域別平均泊数（カッコ内は 2019 年値）

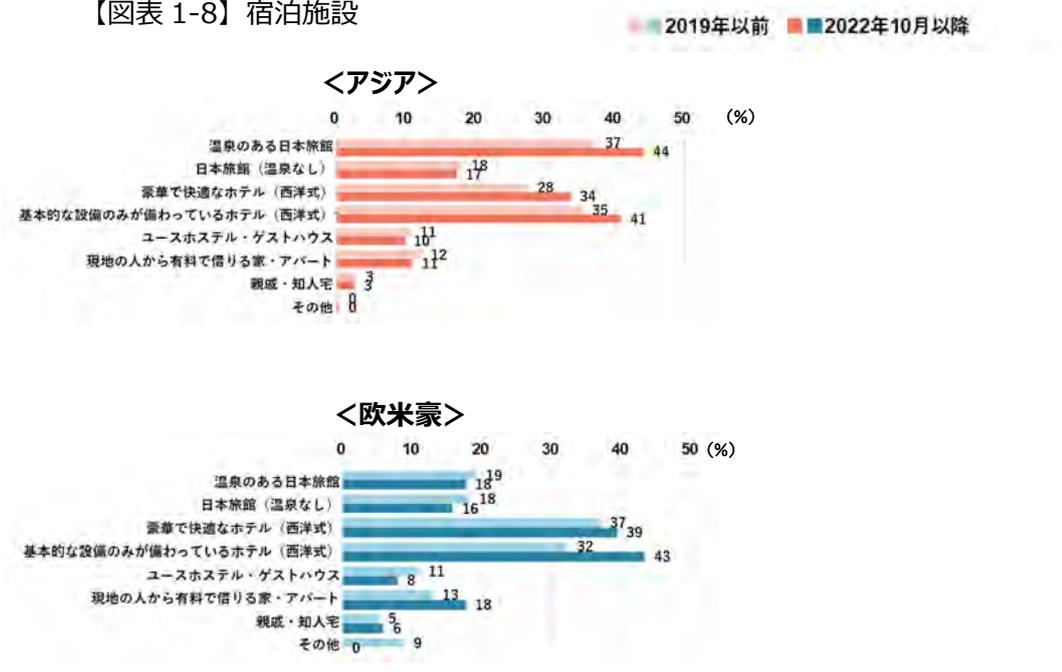


出典：観光庁「都道府県別訪問状況の分析」（訪日外国人消費動向調査、2023 年トピックス分析）

【図表 1-7】 旅行手配方法



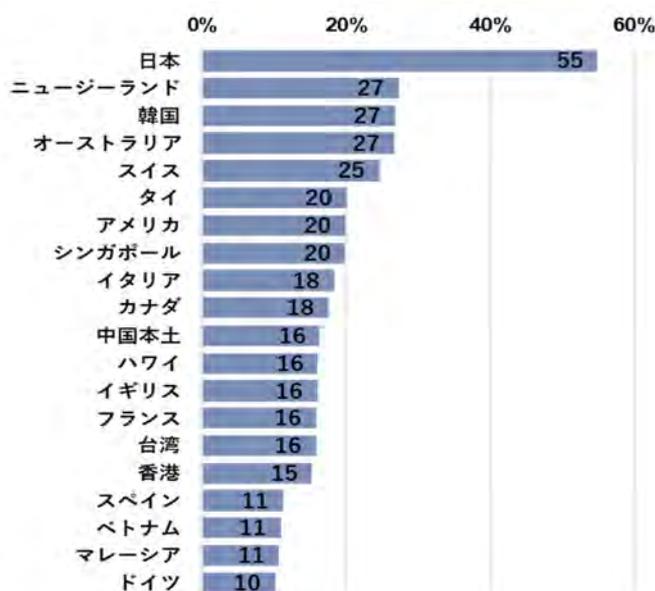
【図表 1-8】 宿泊施設



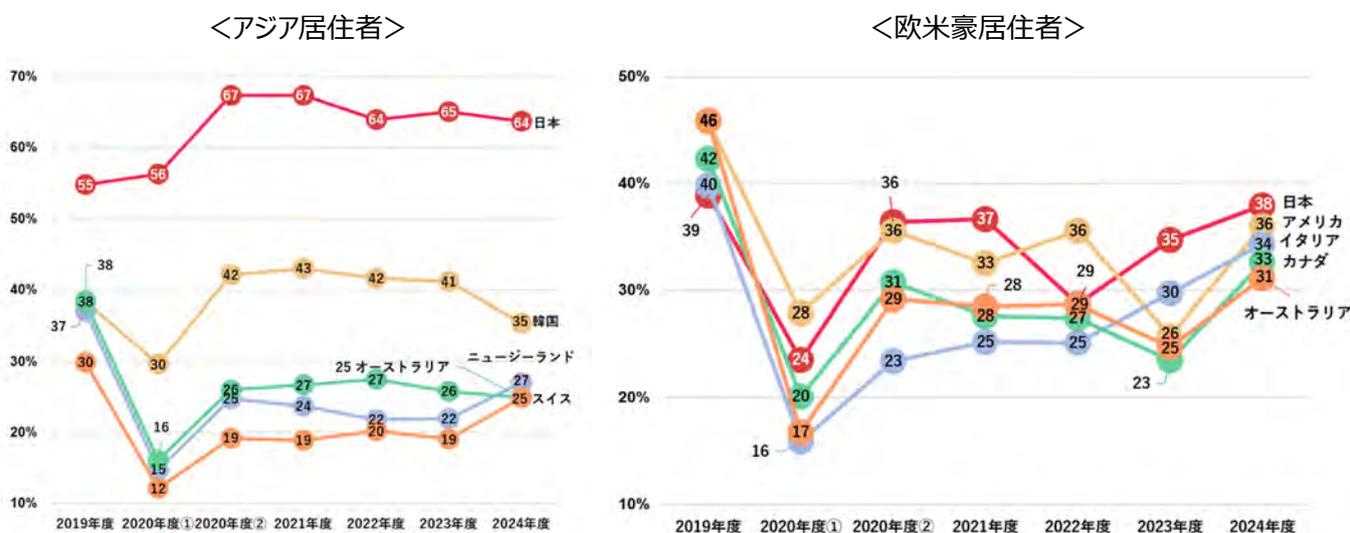
(3) 日本のポジション

- ・ 次に観光旅行したい国・地域として、日本は 1 位を継続。アジア、欧米豪それぞれにおいても 1 位となったが、欧米豪では上位 5 か国が僅差であり、アジアにおける日本ほど圧倒的な人気とは言えない（図表 1-9、1-10）。
- ・ また、日本は再訪意向率（訪問経験者における訪問意向率）も高く、アジアでは約 7 割、欧米豪では約 4 割である（図表 1-11）。2019 年は、再訪意向率はアジアで 1 位、欧米豪で 2 位であった（参考 1-2）。
- ・ 自国以外の好きな国・地域についても、日本はアジアでは 2 位以下に大きく差をつけて 1 位、欧米豪では 4 位（図表 1-12）。

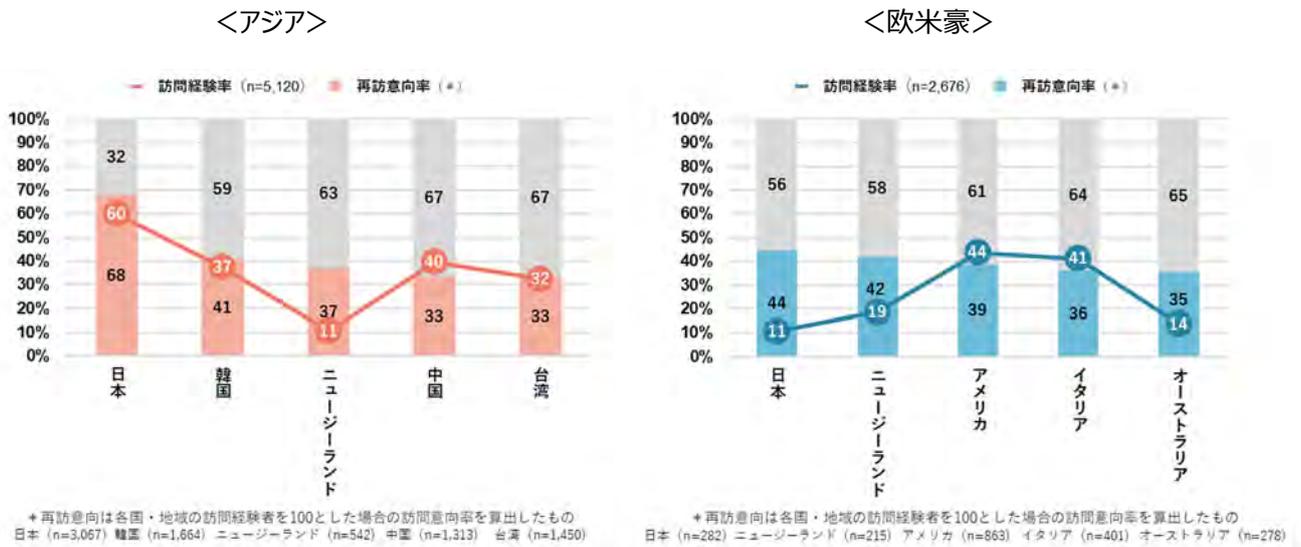
【図表 1-9】次に観光旅行したい国・地域（回答は最大 5 つまで）



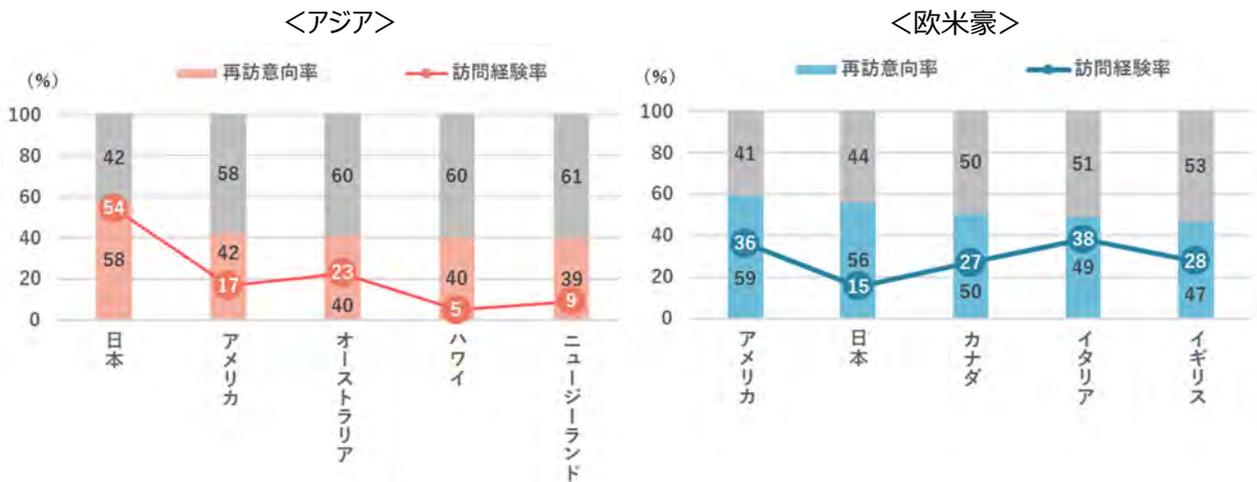
【図表 1-10】アジア・欧米豪居住者別の次に海外旅行したい国・地域（回答は最大 5 つまで）



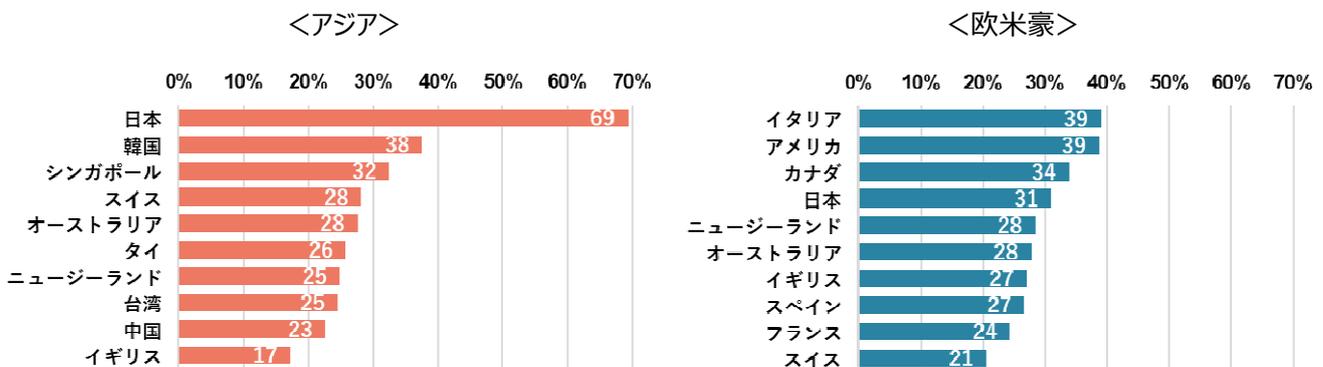
【図表 1-11】 日本などへの再訪意向 ※それぞれ再訪意向率の上位 5 か国のみ表示



【参考 1-2】 2019 年の日本などへの再訪意向 ※それぞれ再訪意向率の上位 5 か国のみ表示



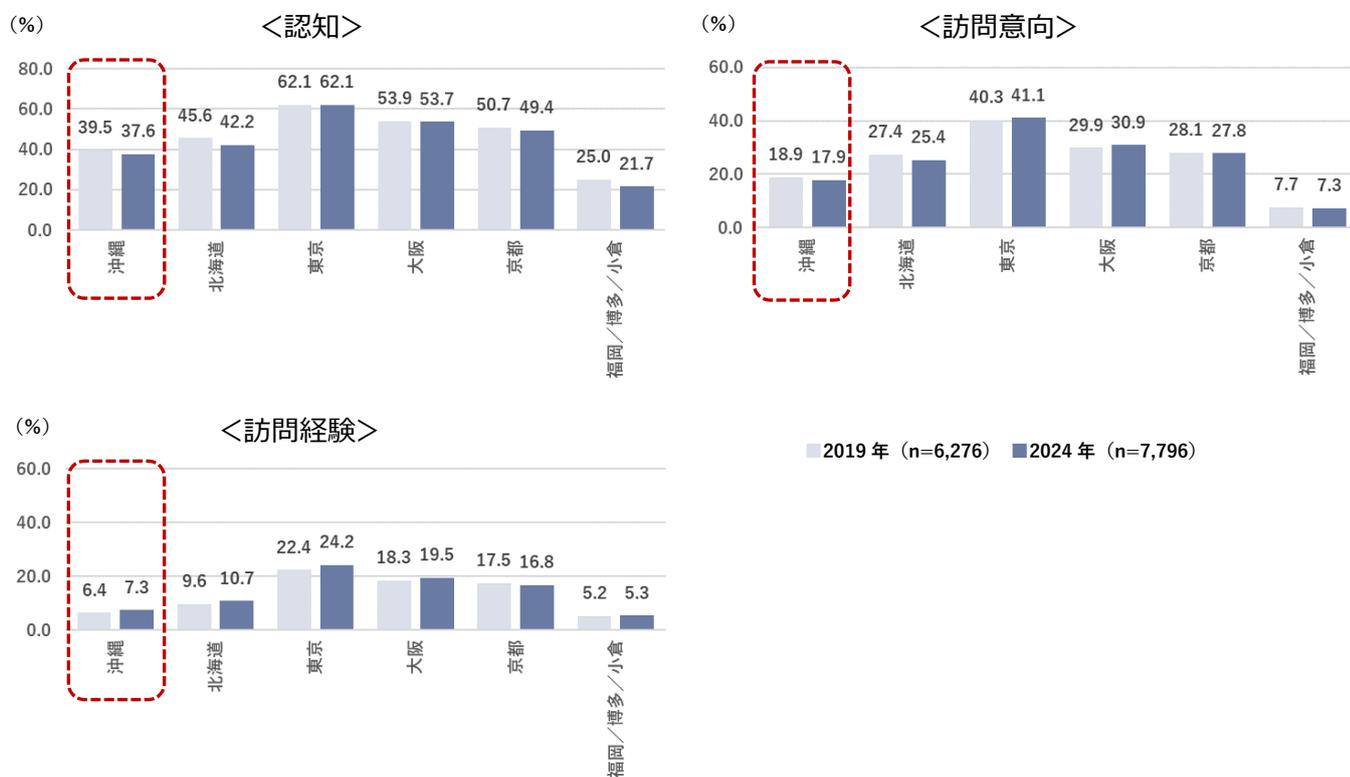
【図表 1-12】 自国以外の好きな国・地域



(4) 沖縄の認知・訪問経験・訪問意向

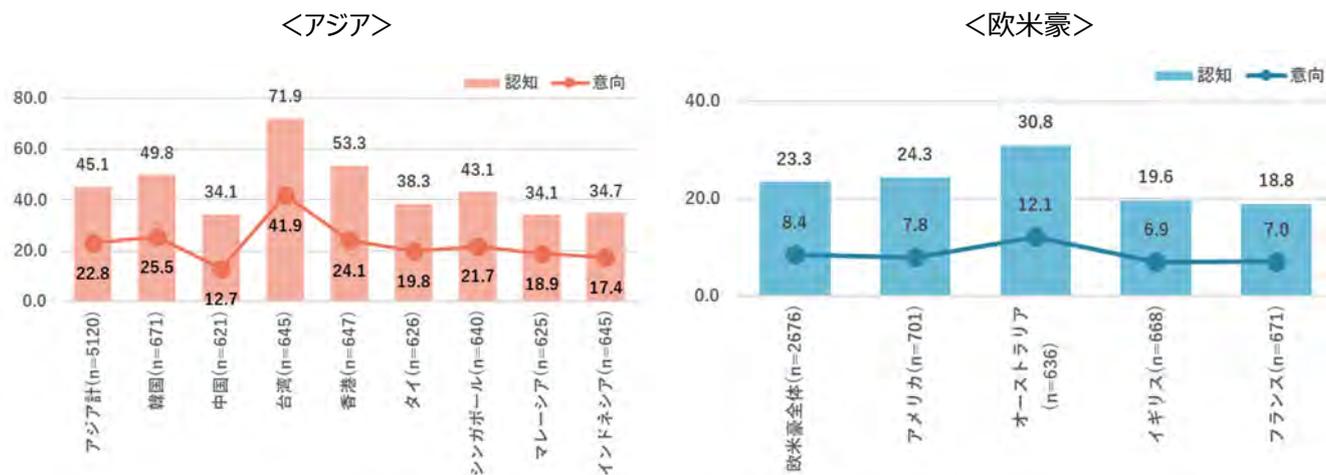
- ・ コロナ禍前後（2019年と2024年）の変化をみると、沖縄の認知率、訪問意向率、訪問経験率に大きな変動は見られない。これは他エリアも同様である（図表 1-13）。
- ・ 2024年の沖縄の状況をアジアと欧米豪に分けてみると、認知率、訪問意向率ともにアジアで高く、それぞれ45.1%、22.8%となっている。なお、認知率、訪問意向率が高い国籍・地域は、アジアでは「台湾」、欧米豪では「オーストラリア」である（図表 1-14）。
- ・ 2024年のアジア諸国における沖縄の訪問経験の状況をみると、「台湾」で訪問経験率、沖縄認知者における訪問経験率がいずれも高く、次いで「香港」と続く。訪問経験率は「台湾」「香港」を除いていずれも1割に満たないが、沖縄認知者における訪問経験率はいずれも2割を超えており、特に高いのは先述の「台湾」「香港」に加え、「インドネシア」である（図表 1-15）。

【図表 1-13】 認知・訪問意向の変化



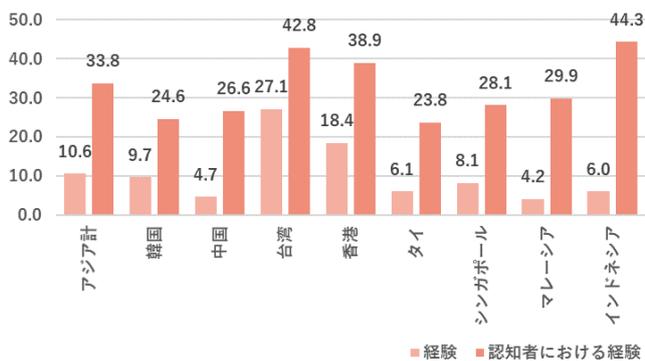
※認知、訪問意向、訪問経験は、それぞれ全数ベース（海外旅行経験者）で算出した。

【図表 1-14】 2024 年のアジアと欧米豪における「沖縄」の認知と訪問意向



※認知、訪問意向は、それぞれ全数ベース（海外旅行経験者）で算出した。

【図表 1-15】 2024 年のアジア諸国における「沖縄」の訪問経験



※訪問経験は全数ベース（海外旅行経験者）で算出した。

※「認知者における訪問経験」は、沖縄を知っていると回答した人のうち、沖縄を訪問したことがある人の割合。各国籍・地域における沖縄認知者のサンプル数は、アジア計 1,608 サンプル、韓国 264 サンプル、中国 109 サンプル、台湾 409 サンプル、香港 306 サンプル、タイ 160 サンプル、シンガポール 185 サンプル、マレーシア 87 サンプル、インドネシア 88 サンプルである。

2. 沖縄訪問経験者の動向

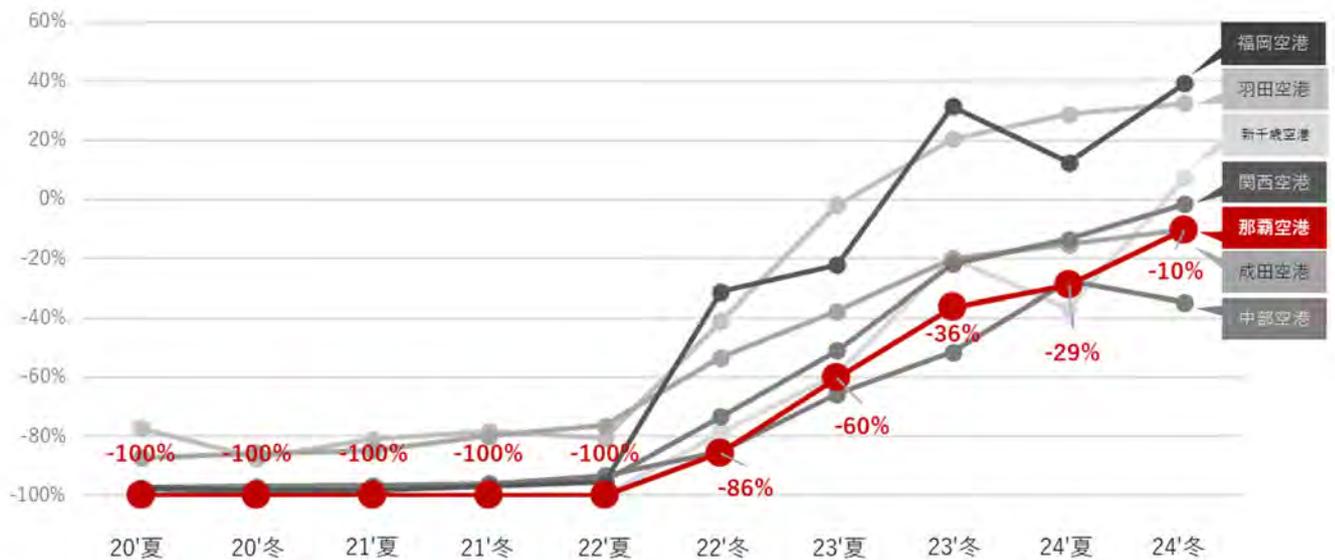
(1) 沖縄訪問経験者の定義

「沖縄訪問経験者」とは、この調査における訪日経験者に対して「実際に行ったことがある日本の観光地」を聴取し、そこで「沖縄」を選択した者を指す。なお、訪問した時期は問わない。

(2) 那覇空港における航空便の回復状況

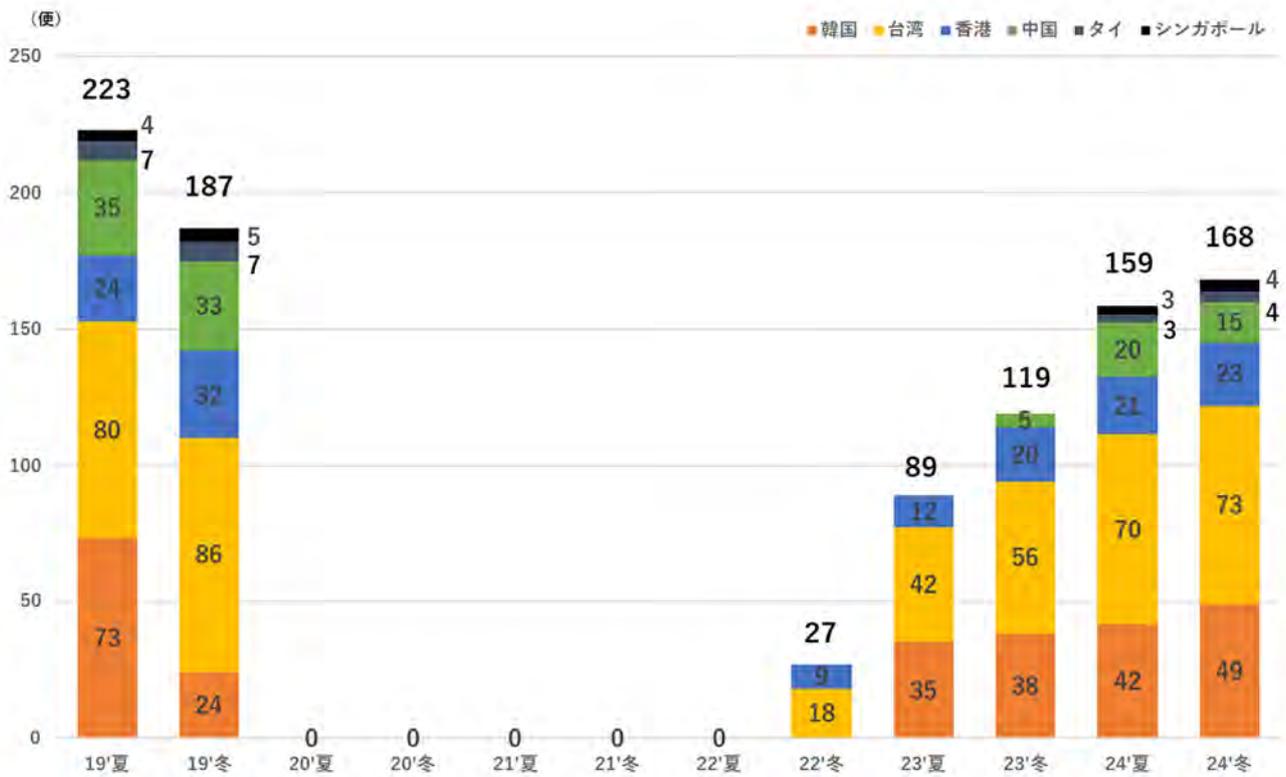
- ・ 那覇空港におけるコロナ禍後の国際定期便（直行便）数は着実に回復しているものの、2024年冬ダイヤにおいて2019年同期比△10%であり、回復途上である。一方、福岡空港、羽田空港、新千歳空港は、2024年冬ダイヤにおいて2019年同期を上回っている（図表 2-1）。那覇空港の回復が遅れている要因は、主に人手不足による受入態勢に課題がある点と、コロナ禍で減便した航空会社の回復過程において、需要の多い大規模空港を先行して復便させている点が考えられる。
- ・ 那覇空港の国別国際定期便（直行便）数をみると、いずれも2022年冬以降徐々に便数は増加しているものの、「中国」を中心に回復が遅れており、未だコロナ禍前に戻っていない。24年夏ダイヤについて、新型コロナウイルスの影響がなかった19年夏ダイヤと比較すると、台湾からの定期便は85%程度まで回復しているが、韓国は6割弱に留まっている（図表 2-2）。

【図表 2-1】 主要空港別の国際定期便（直行便）の回復状況（2019年夏ダイヤ、冬ダイヤ基準）



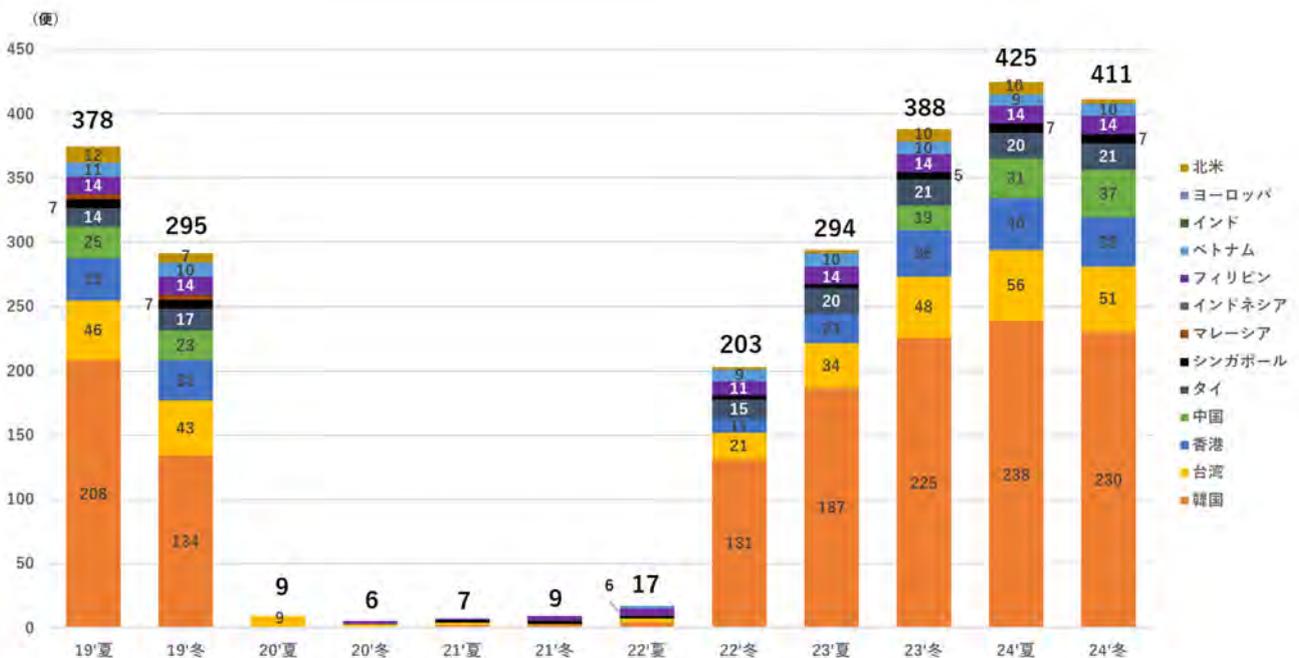
出典：国土交通省 HP「国際線就航状況」の国際定期便（直行便）における1週当たりの便数
 ※夏ダイヤは3月下旬～10月下旬ごろ、冬ダイヤは10月下旬～3月下旬ごろ
 ※2019年夏、2019年冬ダイヤを基準とした場合の各年の夏ダイヤ、冬ダイヤの回復率

【図表 2-2】 那覇空港における国別国際定期便（直行便）数の推移



出典：国土交通省 HP「国際線就航状況」の国際定期便（直行便）における1週当たりの便数

【参考 2-1】 福岡空港における国別国際定期便（直行便）数の推移



出典：国土交通省 HP「国際線就航状況」の国際定期便（直行便）における1週当たりの便数。5便以上のケースのみ数値ラベルを表記。

(3) 訪日外国人における沖縄旅行実施者の回復状況

- ・ 2024年の沖縄県入域観光客数（外国人）を2019年同月と比べると、1月は5割程度だったものの、直近の12月は2019年を上回る結果となり、暦年では212.6万人で、対2019年比で△26.5%に留まったが、直近の2024年12月は2019年同月を上回り、+8.1%となった（図表2-3）。
- ・ 観光庁のインバウンド消費動向調査によると、都道府県の訪問率*は東京都、福岡県などの大都市において2019年を上回る結果となっている一方で、沖縄県や北海道は2019年を下回っている。図表1-1にあるように訪日外客数は増えているが、大都市圏に集中しており、地方部への訪問は回復が遅れている（図表2-4）。
- ・ 沖縄県の1人当たり消費単価、消費額についてコロナ禍前と比較すると、総額（沖縄県内での総支出）は1人当たり消費単価、消費額ともに増加している。また、ほぼすべての費目において1人当たり消費単価は上がっている一方で、消費額は費目によって異なっており、旅行の基盤となる「宿泊費」、「飲食費」、「交通費」は高くなっているものの、特に「買物代」はコロナ禍前より低い状況である（図表2-5）。

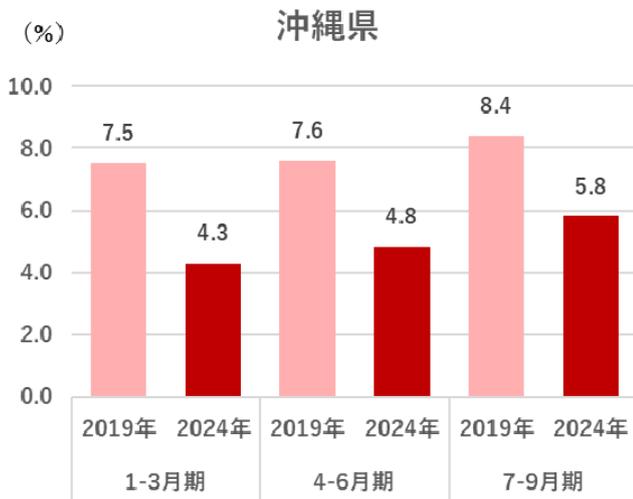
* 訪問率とは、訪日外国人のうち各都道府県を訪れた人の割合を示したものである。

【図表2-3】 沖縄県入域観光客数（外国人）



出典：沖縄県庁ホームページの「入域観光客数」、2024年は1～10月までは確報値、11、12月は速報値である。

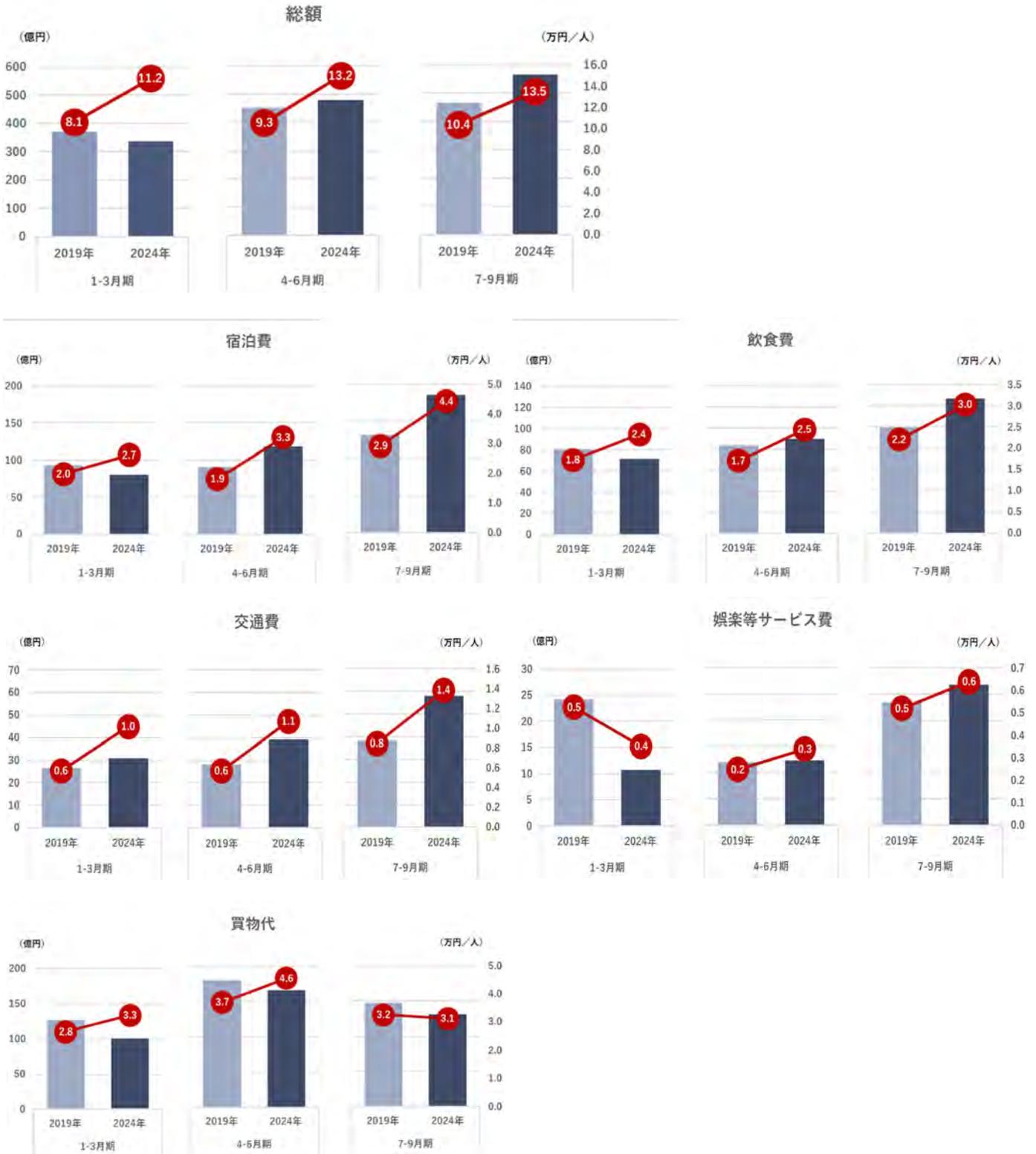
【図表 2-4】沖縄県を含む各地域の訪問率の変化



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」都道府県別集計表より

【図表 2-5】沖縄県における旅行消費額ならびに 1 人当たり消費単価（総額・費目別）の変化

■ 消費額 ● 1人当たり消費単価



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」都道府県別集計表より

(4) 「沖縄県」における体験

- 回答された訪日時の体験を5つのカテゴリに区分し（図表 2-6）、沖縄県ならびに他エリアでの実施状況を確認した。なお、この(4)で使用しているデータは、直近の訪日旅行で実施した各体験について、最も印象に残った場所を自由記入してもらい、その記入内容を元に各都道府県に振り分けた結果*1を用いたものである。
- 訪日時に各体験を実施した人のうち沖縄県における体験カテゴリ別の実施率は、「自然（2.9%）」、「歴史・文化（2.6%）」、「レジャー（2.4%）」、「食（2.0%）」、「買い物（1.9%）」の順である（図表 2-7）。
- 沖縄県における実施率が相対的に高い上位3カテゴリについて、より具体的にみると、自然関連の体験で圧倒的に高いのは「マリナクティビティを楽しむこと（30.9%）」、次いで「その他アウトドアアクティビティを楽しむこと（5.4%）」、歴史・文化関連の体験では「伝統工芸品の制作や購入（4.7%）」、「伝統芸能鑑賞（4.3%）」、レジャー関連体験では「繁華街の街歩き（2.9%）」、「遊園地やテーマパーク（2.5%）」がそれぞれ上位となっている（図表 2-8）。
- 各体験について、訪日経験者全体の実施率と「沖縄県」での実施率の関係性を確認した。沖縄県の強みの1つは「マリナクティビティを楽しむこと」をはじめとしたアクティビティ関連である。また、「伝統工芸品の制作や購入」、「伝統芸能鑑賞」など、訪日経験者全体の実施率は高くないものの、沖縄県における実施率が高い傾向にある体験についても沖縄県の強みと言える（図表 2-9）。
- 次に、上位3カテゴリにおける実施率と支出率*2の関係性をみると、他エリアと比較して沖縄県では相対的に実施率は低い傾向にある。支出率は、自然カテゴリにおいて他都道府県と比べて低く、歴史・文化やレジャーカテゴリにおいては高い傾向にある。なお、東京都、大阪府はいずれの体験カテゴリにおいても実施率、支出率ともに高い傾向にある（図表 2-10）。

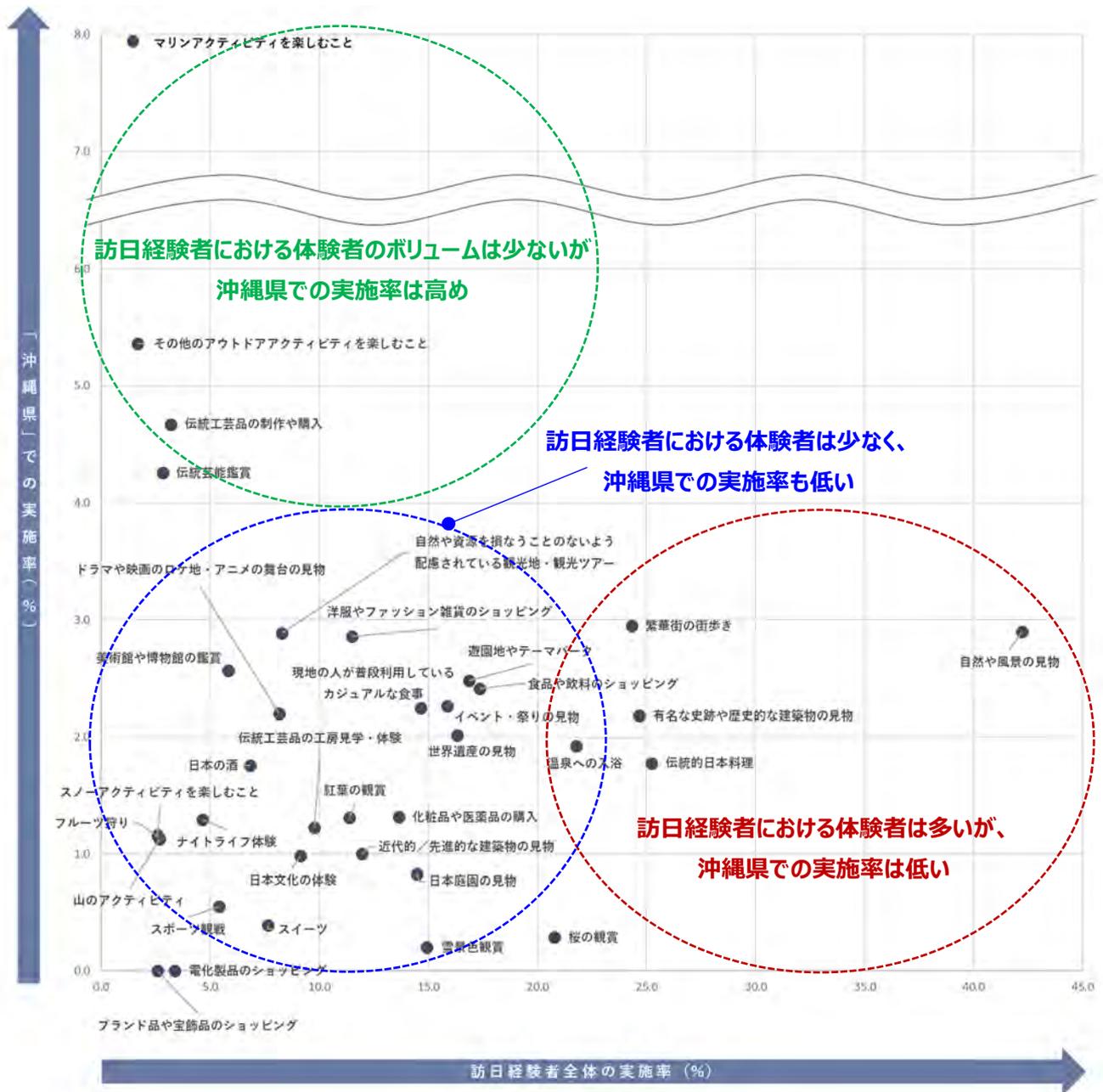
*1 一部、都道府県に振り分けられないケース（例：記入内容が“九州”と記載されたケースなど）や実施場所が不明のケースが含まれている点を留意いただきたい。

*2 支出率とは、各体験を実施した人のうち、何かしらの金銭支払いを行った人の割合を表したものである。

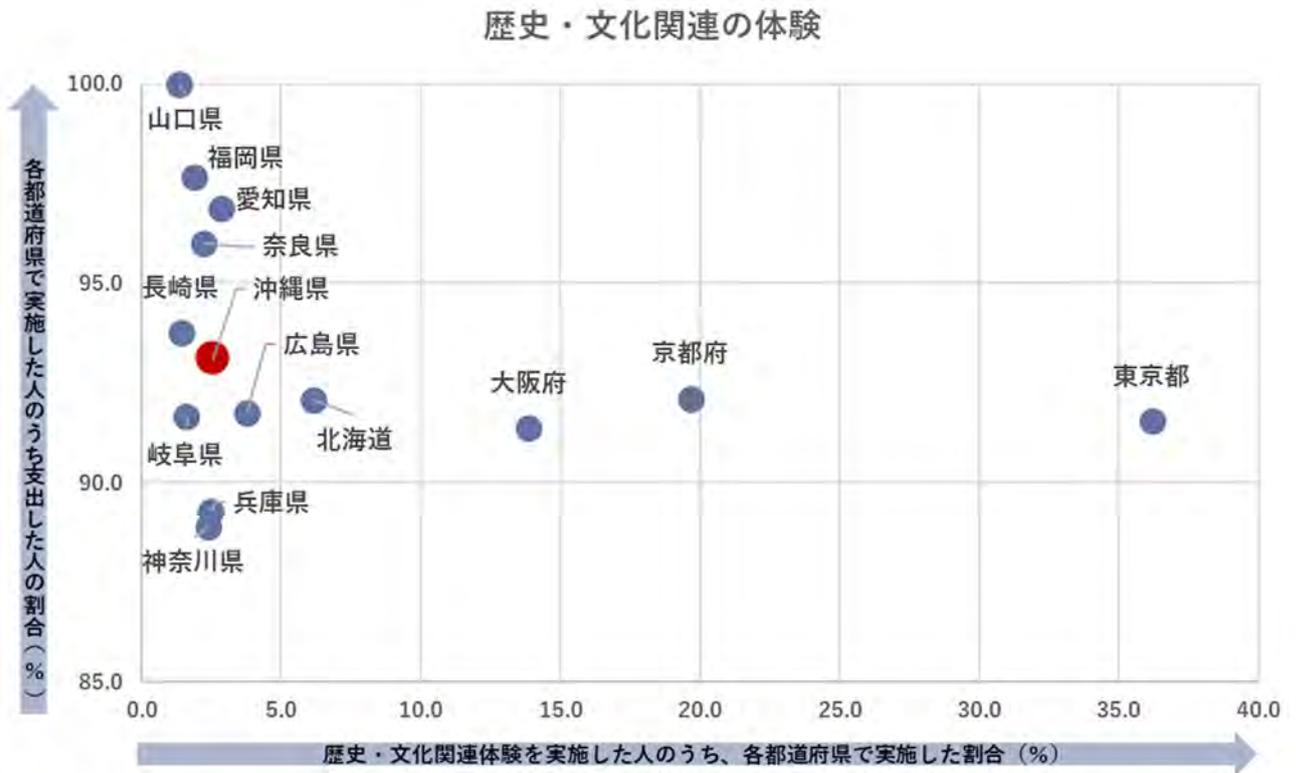
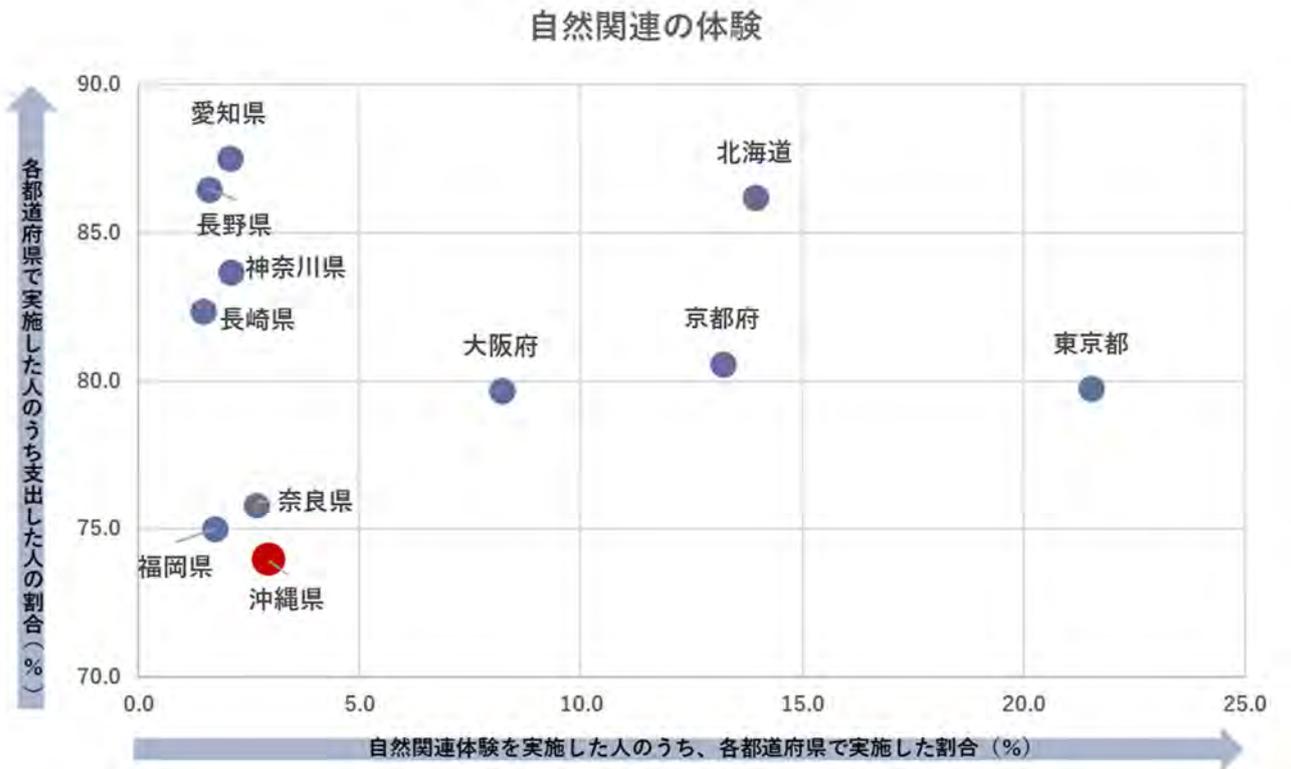
【図表 2-6】 体験別カテゴリ区分

① 自然	② 歴史・文化	③ レジャー	④ 食	⑤ 買い物
自然や風景の見物	有名な史跡や歴史的な建築物の見物	スポーツ観戦	伝統的日本料理	ブランド品や宝飾品のショッピング
雪景色観賞	日本庭園の見物	遊園地やテーマパーク	現地の人が普段利用しているカジュアルな食事	洋服やファッション雑貨のショッピング
桜の観賞	近代的／先進的な建築物の見物	繁華街の街歩き	日本の酒（日本酒・焼酎）	電化製品のショッピング
紅葉の観賞	ドラマや映画のロケ地・アニメの舞台の見物	ナイトライフ（バーやクラブ、芸者遊び等）体験	スイーツ	化粧品や医薬品の購入
自然や資源を損なうことのないよう配慮されている観光地・観光ツアー	伝統工芸品の工房見学・体験	温泉への入浴		食品や飲料のショッピング
スノーアクティビティを楽しむこと	世界遺産の見物	フルーツ狩り		
マリナクティビティを楽しむこと	イベント・祭りの見物			
山のアクティビティ	美術館や博物館の鑑賞			
その他のアウトドアアクティビティを楽しむこと	伝統芸能鑑賞（歌舞伎や能）			
	日本文化の体験（茶道、華道、着物試着など）			
	伝統工芸品の制作や購入			

【図表 2-9】 訪日時ならびに「沖縄県」における体験実施率

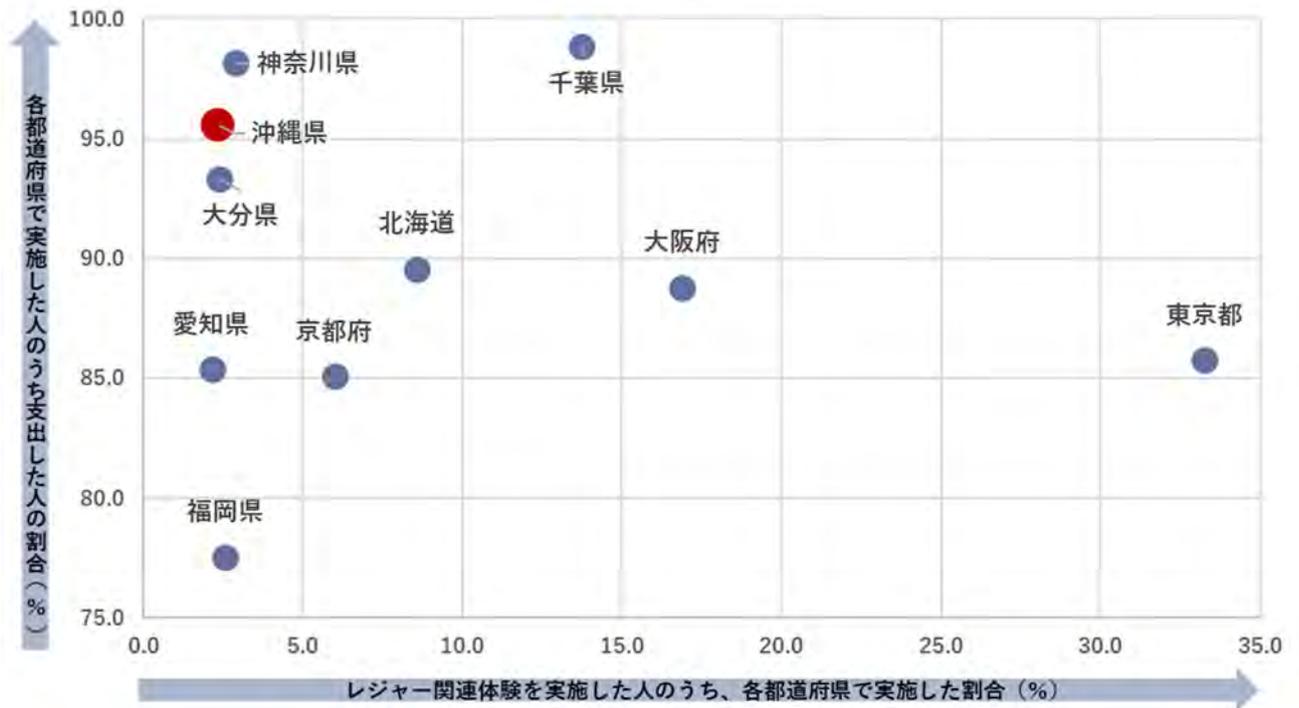


【図表 2-10】 沖縄県の体験上位 3 カテゴリにおける実施率と支出率* の関係性



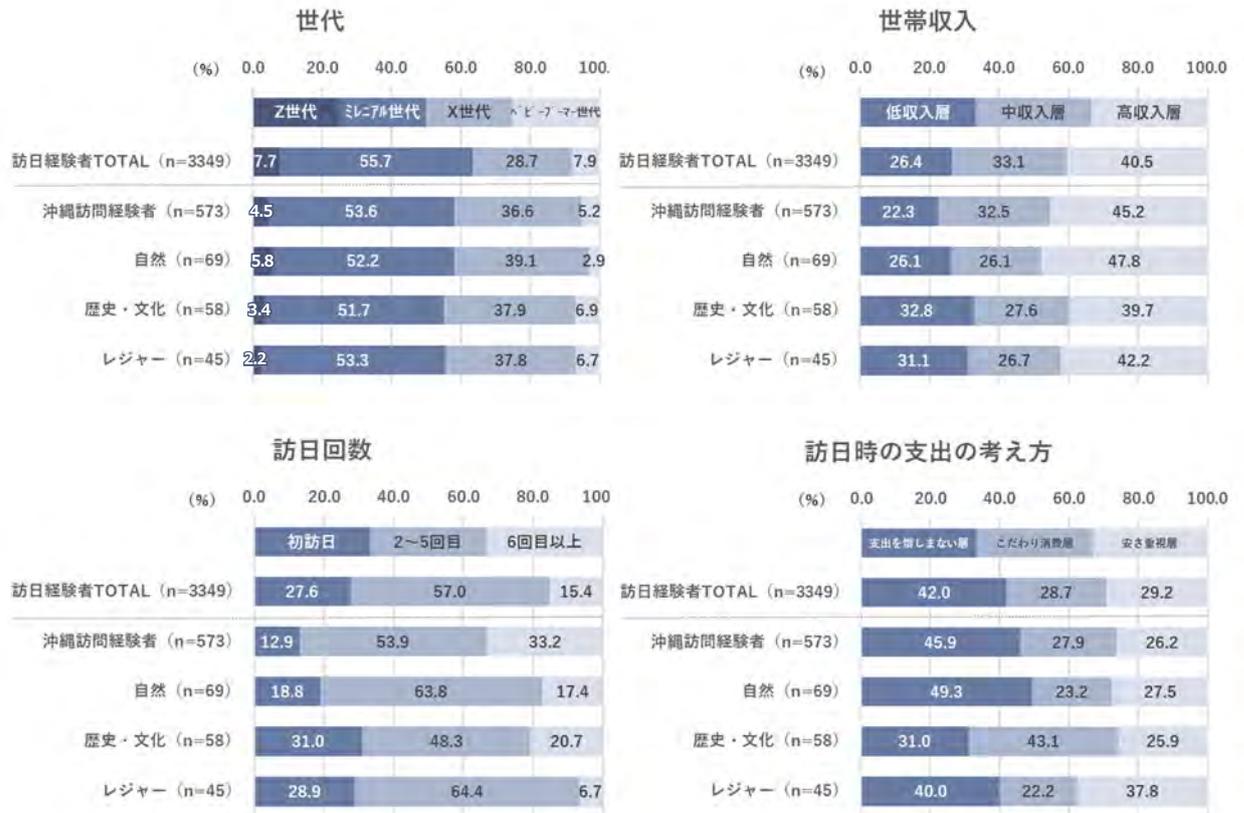
* 支出率は、各体験を実施した人のうち、何かしらの金銭支払いを行った人の割合を表したもの。

レジャー関連の体験



※各都道府県における各体験カテゴリ実施者数が30サンプル以上あるケースのみ提示。

【参考 2-3】 沖縄県で実施した体験上位 3 カテゴリの属性

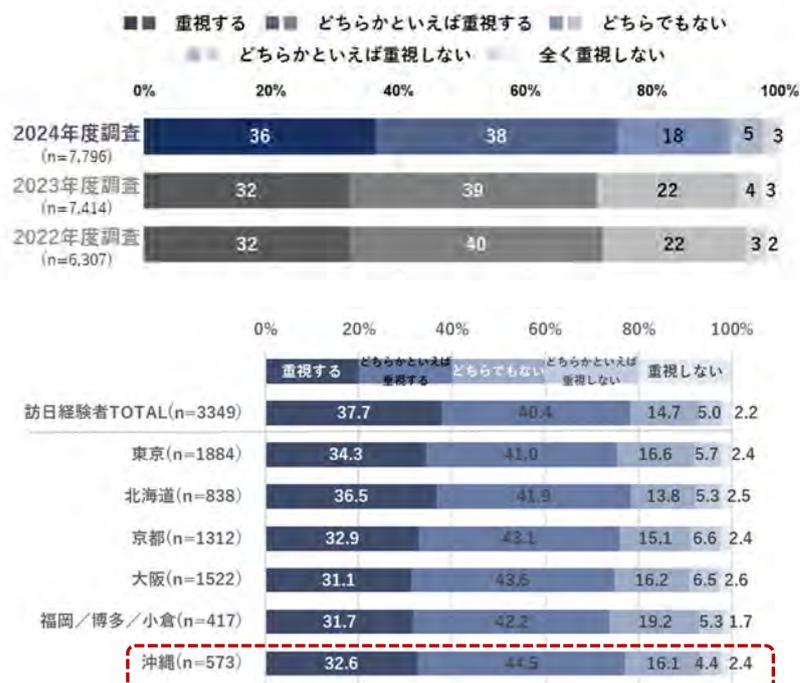


※n=50 未満は参考値。
 ※~24 歳を Z 世代、25~44 歳をミレニアル世代、45~59 歳を X 世代、60 歳以上をベビーブーマー世代とした。
 ※世帯収入は、本調査の各国籍・地域回答者内における相対的な区分である。

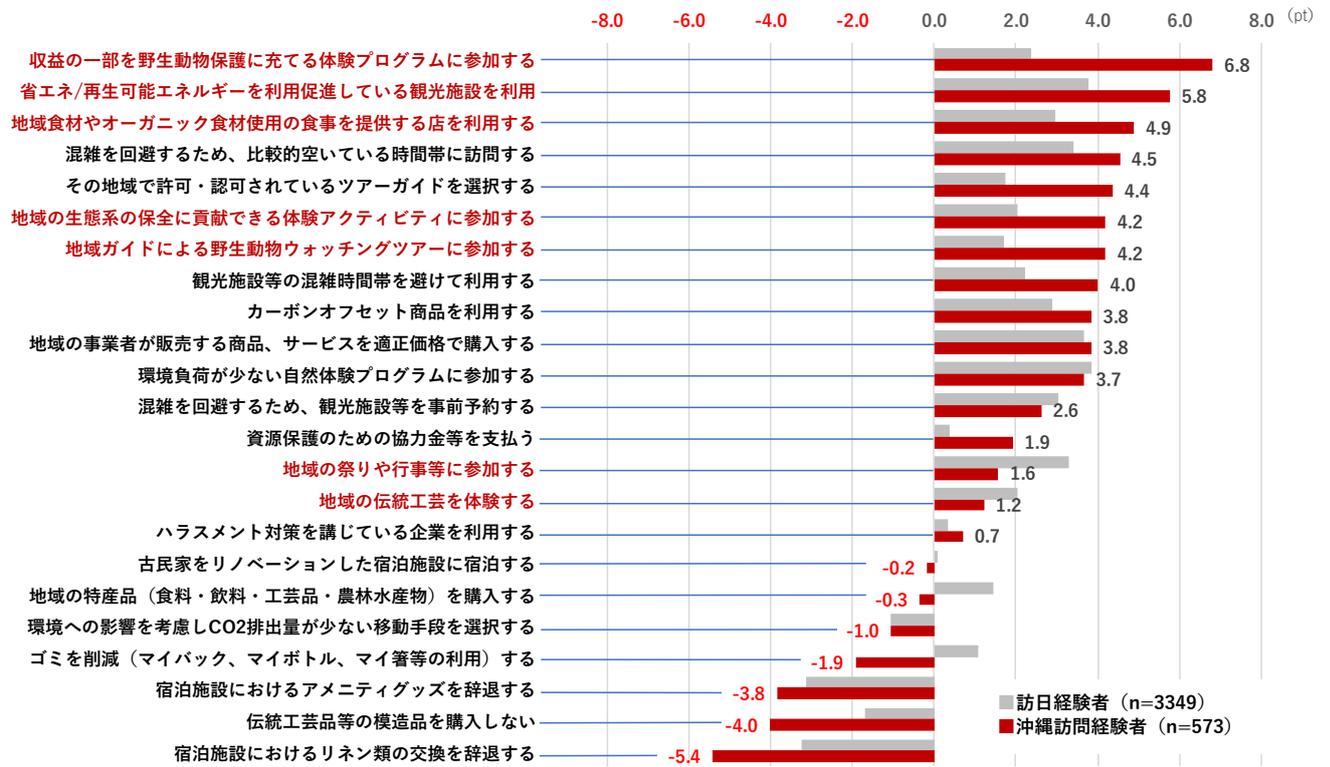
(5) 沖縄訪問経験者のサステナブルに関する意識と行動

- 海外旅行経験者における海外旅行の訪問先や宿泊施設を検討する際の「サステナブルな取組を行っていること」の重視度は、「重視する」「どちらかといえば重視する」の合計が増加傾向にある。また、沖縄訪問経験者は訪日経験者 TOTAL や他エリア訪問経験者と同じ傾向であり、「重視する」「どちらかといえば重視する」の合計が約 8 割である（図表 2-11）。
- 海外旅行先で「実施したい」サステナブルな取組と「実施した」サステナブルな取組の差分をみると、沖縄旅行経験者において、意識が先行（意識＞行動）している上位 3 項目は、「収益の一部を野生動物保護に充てる体験プログラムに参加する」、「省エネ/再生可能エネルギーを利用促進している観光施設を利用」、「地域食材やオーガニック食材使用の食事を提供する店を利用する」である。訪日経験者の結果と比較すると、沖縄訪問経験者における差分がより大きく、沖縄を訪れる旅行者の意識の変化に沖縄の事業者は対応を急ぐ必要があろう。（図表 2-12）。
- 沖縄訪問経験者の実施意向割合に目を向けると、上位項目は比較的实施しやすい取組が多い中で、「地域食材やオーガニック食材使用の食事を提供する店を利用する」は実施意向の割合が高いものの、意識と実施の差分が大きいことから、ニーズへの対応が特に重要な項目である。また、相対的に実施意向割合が高いとは言えないものの、他エリア訪問経験者と比較すると意識と実施の差分が大きい取組は、「収益の一部を野生動物保護に充てる体験プログラムに参加する」、「地域の生態系の保全に貢献できる体験アクティビティに参加する」、「地域ガイドによる野生動物ウォッチングツアーに参加する」といった保全に関連した取組であり、これは沖縄訪問経験者の特徴と言える。また、「地域の祭りや行事等に参加する」、「地域の伝統工芸を体験する」といった取組は、訪日経験者と比較して差分は小さいものの、沖縄訪問経験者における実施意向が高いため、引き続き対応強化が必要である（図表 2-13）。

【図表 2-11】 海外旅行の訪問先や宿泊施設を検討する際に「サステナブルな取組を行っていること」の重視度



【図表 2-12】 沖縄訪問経験者が海外旅行先で実施したい／実施したサステナブルな取組の差分



※各項目について、実施したい割合から実施した割合を引いて算出。値がプラスの場合は意識>行動（実施したい割合に対して、実際に行った割合が低い）、マイナスの場合は意識<行動（実施した割合に対して、実際に行った割合の方が高い）である。
※沖縄訪問経験者の値で降順ソート。

【図表 2-13】 沖縄訪問経験者が実施したいサステナブルな取組の割合と

エリア訪問経験者別の海外旅行先で実施したい／実施したサステナブルな取組の差分

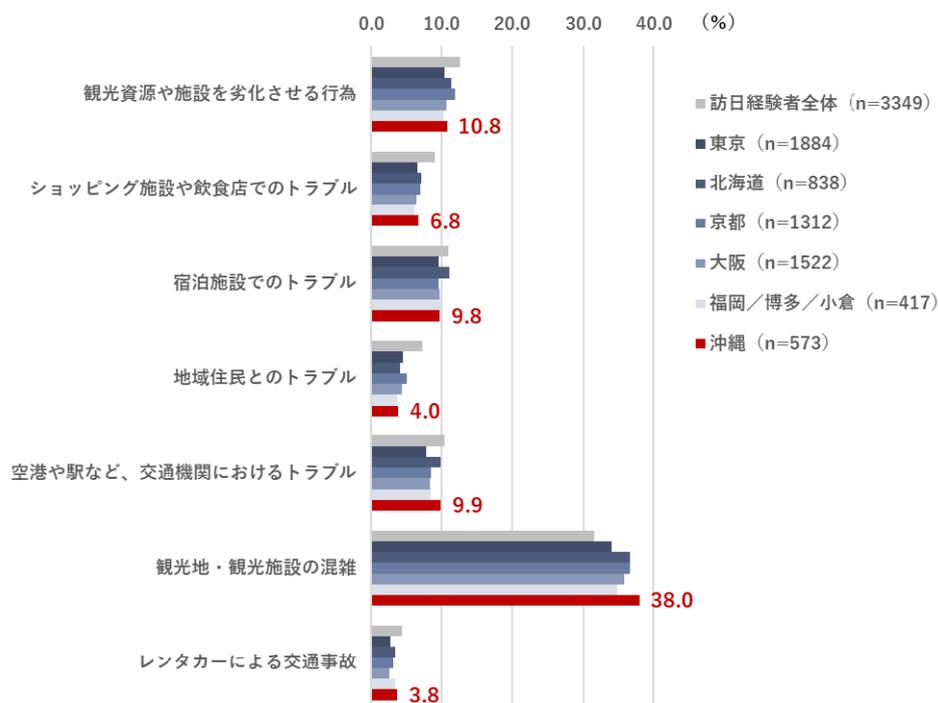
取組	沖縄訪問経験者が実施したい割合	沖縄	北海道	東京	京都	大阪	福岡/博多/小倉
ゴミを削減（マイバック、マイボトル、マイ箸等の利用）する	43.3	-1.9	1.2	0.5	1.4	3.2	5.3
地域の特産品（食料・飲料・工芸品・農林水産物）を購入する	34.0	-0.3	0.1	2.0	0.6	2.8	-2.6
混雑を回避するため、比較的空いている時間帯に訪問する	24.6	4.5	5.8	3.5	4.8	4.1	5.3
観光施設等の混雑時間帯を避けて利用する	24.3	4.0	1.2	2.4	3.1	2.2	4.8
混雑を回避するため、観光施設等を事前予約する	24.1	2.6	3.0	3.6	3.3	3.2	2.4
地域の事業者が販売する商品、サービスを適正価格で購入する	23.7	3.8	4.7	3.9	4.3	4.3	4.3
地域の祭りや行事等に参加する	23.6	1.6	3.5	3.9	3.3	3.4	0.2
地域食材やオーガニック食材使用の食事を提供する店を利用する	23.0	4.9	1.9	2.9	3.4	2.0	-0.5
環境への影響を考慮しCO2排出量が少ない移動手段を選択する	22.3	-1.0	-3.6	-0.9	-2.2	-2.7	-3.4
地域の伝統工芸を体験する	21.3	1.2	1.2	2.3	1.3	2.2	2.2
省エネ/再生可能エネルギーを利用促進している観光施設を利用	18.2	5.8	7.5	4.8	4.6	5.7	0.7
環境負荷が少ない自然体験プログラムに参加する	17.8	3.7	6.4	4.3	5.0	4.6	4.8
宿泊施設におけるアメニティグッズを辞退する	16.1	-3.8	-4.1	-3.7	-4.6	-5.7	-1.0
その地域で許可・認可されているツアーガイドを選択する	15.2	4.4	1.7	2.4	2.3	2.4	5.8
宿泊施設におけるリネン類の交換を辞退する	14.8	-5.4	-4.7	-4.0	-4.8	-4.9	-5.3
収益の一部を野生動物保護に充てる体験プログラムに参加する	14.3	6.8	4.2	3.4	3.2	2.7	4.8
地域の生態系の保全に貢献できる体験アクティビティに参加する	13.6	4.2	2.4	2.5	3.0	2.4	4.6
地域ガイドによる野生動物ウォッチングツアーに参加する	12.9	4.2	1.8	2.1	1.5	1.9	1.2
カーボンオフセット商品を利用する	12.0	3.8	3.8	2.9	2.8	3.9	1.2
資源保護のための協力金等を支払う	9.2	1.9	-0.2	0.6	1.2	-0.5	0.7
伝統工芸品等の模造品を購入しない	7.9	-4.0	-2.0	-1.8	-1.4	-1.8	-4.8
古民家をリノベーションした宿泊施設に宿泊する	7.5	-0.2	0.4	-0.7	0.8	0.5	1.2
ハラスメント対策を講じている企業を利用する	5.1	0.7	0.8	0.6	1.7	0.2	1.4

※項目について、「実施したい」割合から「実施した」割合を引いたもの。プラスは「実施したいがなかった」、マイナスは「実施する意向はないが、実際には行った」ことを現す。
※「海外旅行先で」実施したい／実施したサステナブルな取組の数値を元にした結果のため、各観光地において実施したい／実施した結果ではない点に留意が必要である。

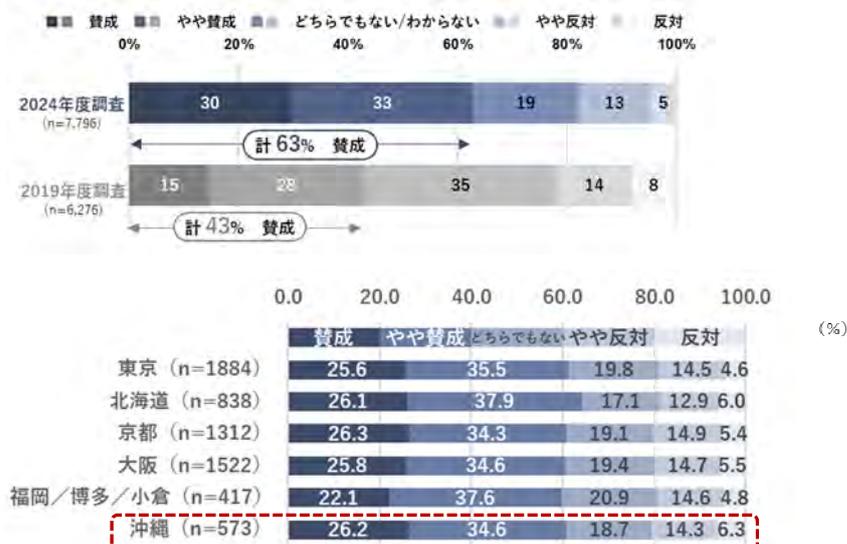
(6) 沖縄訪問経験者の訪日時のトラブル経験

- ・ 沖縄訪問経験者が訪日時に経験したトラブルを他エリア訪問経験者と比較すると、「観光地・観光施設の混雑」が約4割であることも含め、他のトラブルについても大きな差は見られない。また、「観光資源や施設を劣化させる行為」、「空港や駅など、交通機関におけるトラブル」、「宿泊施設でのトラブル」はそれぞれ約1割となっている（図表 2-14）。
- ・ 海外旅行経験者における観光資源・施設の混雑緩和や保護のため金銭を負担することについての考え方は、コロナ禍前と比較すると「賛成」「やや賛成」の合計が約20ポイント上昇した。なお、訪問経験エリア別にみても、大きな差はみられない（参考 2-4）。

【図表 2-14】 沖縄訪問経験者における訪日時に体験したトラブル



【参考 2-4】 観光資源・施設の混雑緩和や保護のため金銭を負担することについての考え方



3. 沖縄訪問意向者の特徴・ニーズ

(1) 沖縄訪問意向者の定義

「沖縄訪問意向者」とは、この調査において「今後行ってみたい日本の観光地」を聴取し、そこで「沖縄」を選択した者を指す。なお、訪問経験の有無は問わない。

(2) 人物像

- ・ 沖縄訪問意向者の属性を他エリア訪問意向者の属性と比較した。
- ・ 国籍・地域は、他エリア訪問意向者と比較すると「アジア」の構成比が北海道、福岡／博多／小倉に次いで高い水準である。さらに、アジアの内訳をみると、沖縄は「台湾」の構成比が他エリアと比べて高く、国籍・地域の中で最も高い 23.1%である。また、福岡／博多／小倉と同様に東アジア 4 か国（韓国、中国、台湾、香港）の構成比が高いことが沖縄の特徴と言える（図表 3-1）。
- ・ 世代、世帯収入層は、他エリア訪問意向者と大きな差は見られない（図表 3-1）。
- ・ 訪日回数は、東京や京都、大阪などゴールデンルートの観光地は訪日未経験者の割合が高いが、沖縄や北海道、福岡／博多／小倉は訪日リピーターの割合が高く、沖縄の訪日リピーター割合は約 5 割である（図表 3-1）。
- ・ 沖縄訪問意向者における沖縄訪問経験有無は、75%が未訪問者であり、他エリア訪問意向者と比べて高い。
- ・ 沖縄訪問意向者の訪日経験有無、沖縄訪問経験有無の内訳をみると、全体の約 65%が訪日経験者、約 25%が沖縄訪問経験者である。また沖縄訪問経験者 25%のうちの大半は訪日リピーターとなっている（参考 3-1）。
- ・ 各エリア訪問意向者における他エリアへの訪問意向をみると、上位 10 位程度までは大きな違いがなく、訪日意向者において人気のエリアと言える。沖縄は他エリア訪問意向者においても上位 10 以内に入っており、訪問意向の高い観光地である（参考 3-2）。また、東アジア 4 か国の訪日時の訪問パターンをみると、沖縄県は単独での訪問パターンが多く、特に滞在日数が少ない東アジアにとって、1 回の訪日で他訪問地とあわせて訪れるケースは現状で発生しにくいと考えられる（参考 3-3）。

【図表 3-1】 沖縄訪問意向者の属性

① 国籍・地域



② アジアの内訳



③ 世代



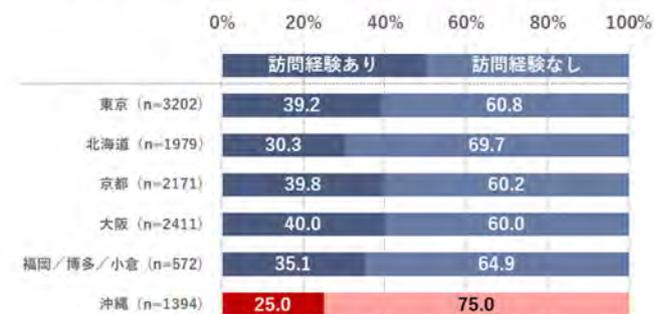
④ 世帯収入



⑤ 訪日回数

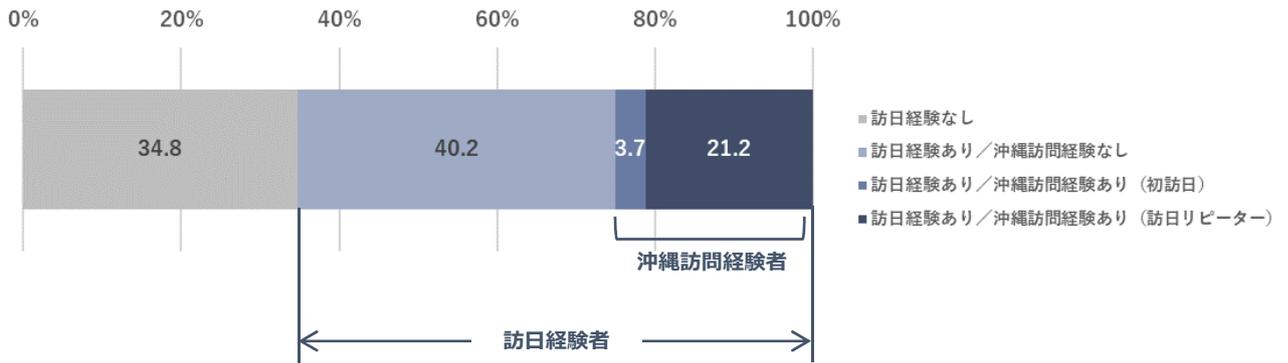


⑥ 各エリアの訪問経験有無



※世帯収入は、本調査の各国籍・地域回答者内における相対的な区分である。
 ※～24歳をZ世代、25～44歳をミレニアル世代、45～59歳をX世代、60歳以上をベビーブーマー世代とした。
 ※世帯収入は、本調査の各国籍・地域回答者内における相対的な区分である。

【参考 3-1】 沖縄訪問意向者の訪日経験有無・沖縄訪問経験有無



【参考 3-2】 各エリア訪問意向者における日本国内の他エリアへの訪問意向

順位	沖縄 (n=1394)		東京 (n=3202)		北海道 (n=1979)		京都 (n=2171)		大阪 (n=2411)		福岡/博多/小倉 (n=572)	
	観光地名	割合	観光地名	割合	観光地名	割合	観光地名	割合	観光地名	割合	観光地名	割合
1位	東京	62.8	富士山	54.9	富士山	58.9	大阪	63.3	東京	63.7	大阪	60.1
2位	大阪	56.9	大阪	47.9	東京	58.7	東京	61.7	京都	57.0	北海道	57.5
3位	富士山	56.2	京都	41.8	大阪	51.8	富士山	55.0	富士山	52.8	東京	56.8
4位	北海道	54.4	北海道	36.3	京都	49.4	北海道	45.0	北海道	42.6	京都	56.3
5位	京都	50.6	沖縄	27.3	札幌	40.1	沖縄	32.5	沖縄	32.9	富士山	54.4
6位	札幌	37.4	札幌	22.3	沖縄	38.4	札幌	30.1	札幌	28.0	札幌	50.0
7位	名古屋	33.8	名古屋	19.9	名古屋	30.7	名古屋	29.8	名古屋	27.9	沖縄	47.4
8位	神戸	24.5	横浜	16.9	神戸	22.5	奈良	24.4	神戸	24.4	神戸	39.3
9位	横浜	24.0	広島	16.9	奈良	21.1	神戸	24.4	奈良	21.2	九州	37.8
10位	九州	23.0	神戸	16.0	横浜	20.3	横浜	20.5	横浜	20.2	神戸	35.0
11位	奈良	22.7	奈良	13.3	九州	19.5	広島	19.0	広島	19.1	奈良	33.4
12位	広島	21.7	九州	11.5	関西	18.0	関西	18.1	関西	17.3	横浜	32.3
13位	関西	19.6	関西	11.1	福岡/博多/小倉	16.6	九州	16.9	九州	16.4	関西	30.9
14位	福岡/博多/小倉	19.4	福岡/博多/小倉	10.1	広島	16.4	福岡/博多/小倉	14.8	福岡/博多/小倉	14.3	広島	28.3
15位	鹿児島	16.8	長崎/佐世保	9.7	函館	13.7	長崎/佐世保	12.2	長崎/佐世保	11.7	長崎/佐世保	26.0
16位	長崎/佐世保	16.7	福島	7.9	鹿児島	12.4	箱根	10.8	鹿児島	9.7	熊本/阿蘇	24.5
17位	函館	14.3	鹿児島	7.1	箱根	12.1	鹿児島	10.6	箱根	9.7	鹿児島	24.0
18位	箱根	13.3	函館	6.7	長崎/佐世保	11.9	函館	10.4	函館	9.2	函館	21.5
19位	熊本/阿蘇	12.1	箱根	6.4	軽井沢	9.9	福島	9.0	福島	8.8	箱根	20.6
20位	青森	10.8	宮崎	5.6	福島	9.9	青森	8.5	熊本/阿蘇	7.6	青森	19.2

※各観光地の訪問意向者をベースに、他観光地の訪問意向率をそれぞれ降順ソートで提示した。

【参考 3-3】 東アジア 4 各国における訪問パターン

<韓国で多い訪問パターン>

<台湾で多い訪問パターン>

<香港で多い訪問パターン>

<中国で多い訪問パターン>

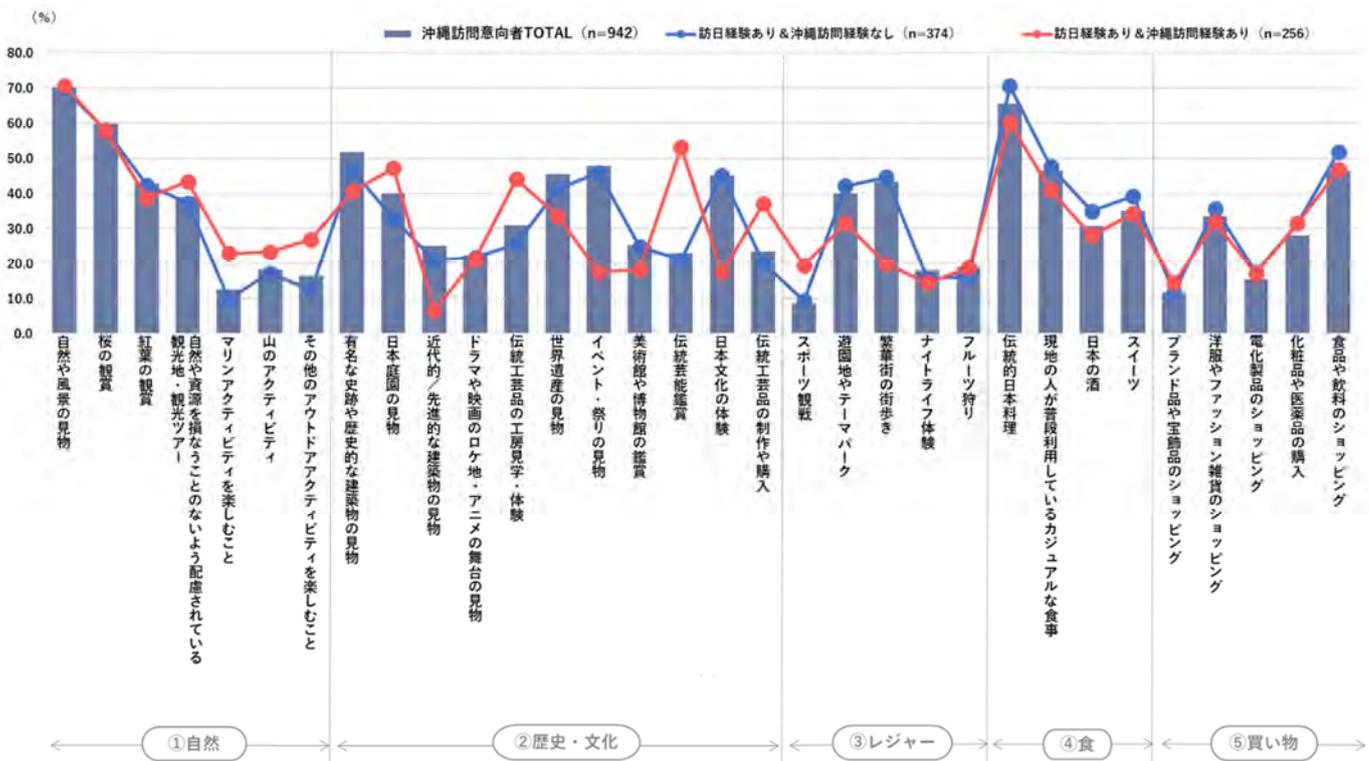
順位	パターン	サンプル数	構成比	順位	パターン	サンプル数	構成比	順位	パターン	サンプル数	構成比	順位	パターン	サンプル数	構成比
1	福岡県	409	14.4%	1	沖縄県	521	10.4%	1	東京都	378	12.0%	1	東京都	298	13.8%
2	大阪府	469	13.0%	2	北海道	310	10.4%	2	沖縄県	338	7.8%	2	3連輪島	125	7.4%
3	東京都	489	12.3%	3	東京都	287	9.0%	3	大阪府	145	6.9%	3	京都府×大阪府	70	6.3%
4	京都府×大阪府	417	11.4%	4	京都府×大阪府	291	8.6%	4	京都府×大阪府	131	6.4%	4	大阪府	65	5.7%
5	北海道	430	9.8%	5	千葉県×東京都	139	4.5%	5	北海道	113	4.8%	5	京都府×大阪府×奈良県	61	5.6%
6	福岡県×大分県	254	8.8%	6	大阪府	151	4.5%	6	東京都×神奈川県	141	4.4%	6	東京都×京都府×大阪府	75	5.5%
7	沖縄県	296	5.0%	7	京都府×大阪府×奈良県	125	3.6%	7	福岡県	98	4.3%	7	東京都×神奈川県	111	5.2%
8	千葉県×東京都	150	3.2%	8	東京都×山梨県	99	3.2%	8	東京都×山梨県	99	3.4%	8	東京都×大阪府	50	2.9%
9	東京都×神奈川県	80	2.0%	9	京都府×大阪府×兵庫県	85	2.7%	9	3連輪島	83	3.1%	9	京都府×大阪府×兵庫県	27	2.3%
10	福岡県×熊本県×大分県	49	1.8%	10	3連輪島	105	2.6%	10	京都府×大阪府×奈良県	57	2.8%	10	千葉県×東京都	48	2.1%
11	京都府×大阪府×兵庫県	58	1.6%	11	福岡県	94	2.4%	11	京都府×大阪府×兵庫県	53	2.6%	11	沖縄県	28	1.8%
12	愛知県	40	1.0%	12	東京都×神奈川県	62	2.1%	12	千葉県×東京都	76	2.4%	12	北海道	34	1.7%
13	京都府	28	0.8%	13	福岡県×熊本県×大分県	58	1.6%	13	福岡県×大分県	33	1.6%	13	千葉県×東京都×神奈川県	35	1.6%
14	京都府×大阪府×奈良県	26	0.7%	14	千葉県×東京都×山梨県	36	1.2%	14	福岡県×熊本県×大分県	21	1.1%	14	東京都×山梨県	32	1.6%
15	大阪府×兵庫県	23	0.7%	15	福岡県×熊本県	31	0.9%	15	東京都×長野県	38	1.0%	15	東京都×静岡県	30	1.5%
16	3連輪島	30	0.6%	16	千葉県×東京都×神奈川県	31	0.9%	16	大阪府×兵庫県	21	1.0%	16	東京都×京都府	23	1.3%
17	東京都×大阪府	20	0.6%	17	東京都×長野県	28	0.9%	17	4連輪島以上	25	1.0%	17	大阪府×兵庫県	9	0.9%
18	大阪府×奈良県	22	0.6%	18	福岡県×大分県	30	0.8%	18	福岡県×熊本県	18	0.9%	18	大阪府×奈良県	10	0.8%
19	福岡県×長崎県	15	0.5%	19	京都府	29	0.8%	19	大阪府×和歌山県	17	0.8%	19	福岡県	14	0.8%
20	福岡県×熊本県	14	0.5%	20	東京都×京都府×大阪府	17	0.6%	20	愛知県	23	0.8%	20	東京都×神奈川県×山梨県	16	0.8%

出典：観光庁「都道府県別訪問状況の分析」（訪日外国人消費動向調査、2023年トピックス分析）

(3) 沖縄訪問意向者における訪日時の体験意向

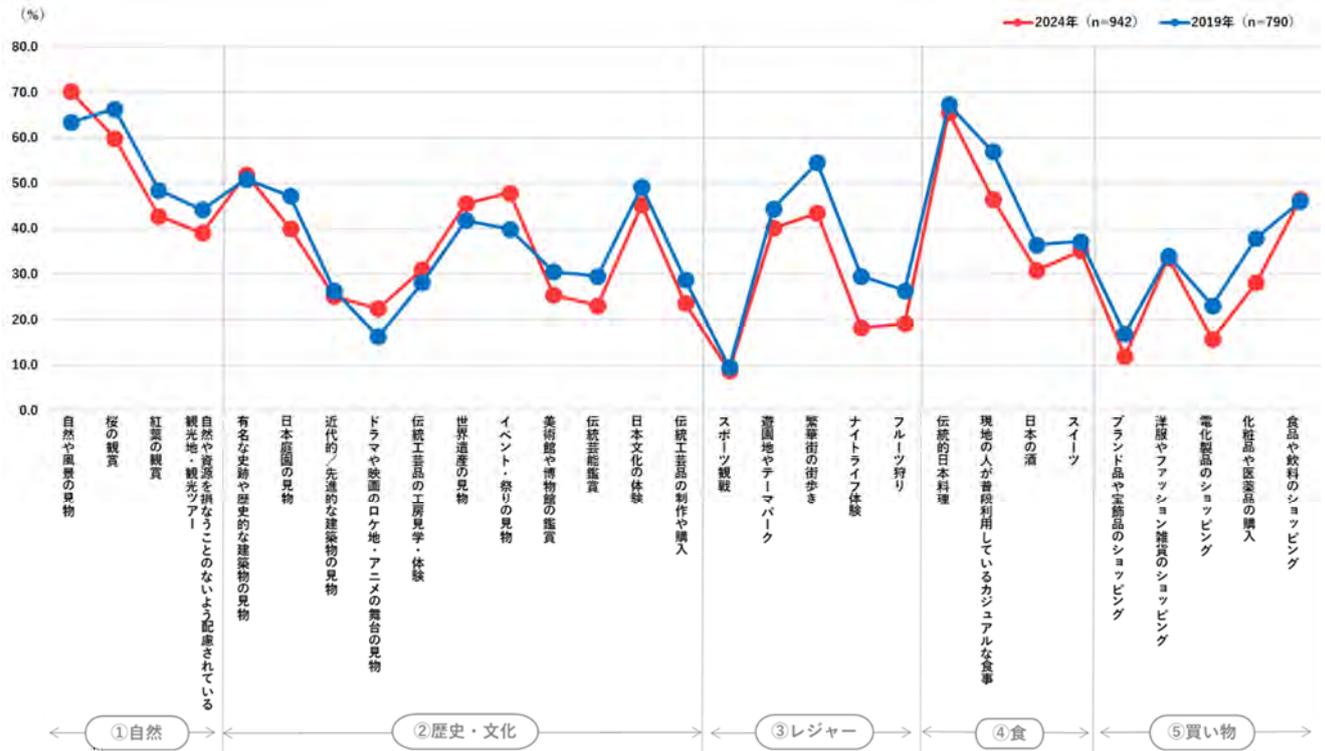
- ・ 沖縄訪問意向者が希望する体験を、他エリア訪問意向者と比較した。なお、訪問意向観光地は複数回答のため、サンプルが重複しているケースがある点（例：1人の回答者が「沖縄」と「東京」に訪問したいと回答している場合は、その回答者が希望している訪日時の体験がそれぞれの訪問意向者の値に含まれる）、必ずしも各体験をその観光地で実施したいと回答しているわけではない点（あくまで“訪日時に”実施したい体験）に留意が必要である。
- ・ 沖縄訪問意向者のうち訪日経験者における沖縄訪問経験有無別の体験意向の違いをみると、沖縄訪問経験者はアクティビティ関連や伝統工芸、伝統芸能関連の体験意向が高い。これらの体験は「2. 沖縄訪問経験者の動向」で記載のとおり、沖縄での実施率が高い傾向にある体験であるため、沖縄の強みの1つと考えられる（図表 3-2）。
- ・ 同様に、沖縄訪問意向者の体験意向について、コロナ禍前後の違いをみると、全体の傾向に大きな変化はみられない。詳細をみると、2019年よりも意向が高い体験は「自然や風景の見物」、「世界遺産の見物」、「イベント・祭りの見物」であり、レジャー関連、食関連、買い物関連は低い傾向にある（図表 3-3）。

【図表 3-2】 沖縄訪問意向者のうち訪日経験者における沖縄訪問経験有無別の体験意向の違い



※訪日旅行希望者ベース

【図表 3-3】 沖縄訪問意向者におけるコロナ禍前後の体験意向の違い ※訪日旅行希望者ベース



※自然アクティビティ関連の体験は、下記のように2024年調査と2019年調査で提示している項目が異なり、一部項目について比較できない。
 2024年調査の提示選択肢：マリンアクティビティを楽しむこと、山のアクティビティ、その他のアウトドアアクティビティを楽しむこと
 2019年調査の提示選択肢：スキー、サイクリング、フィッシング等のアウトドアアクティビティを楽しむこと

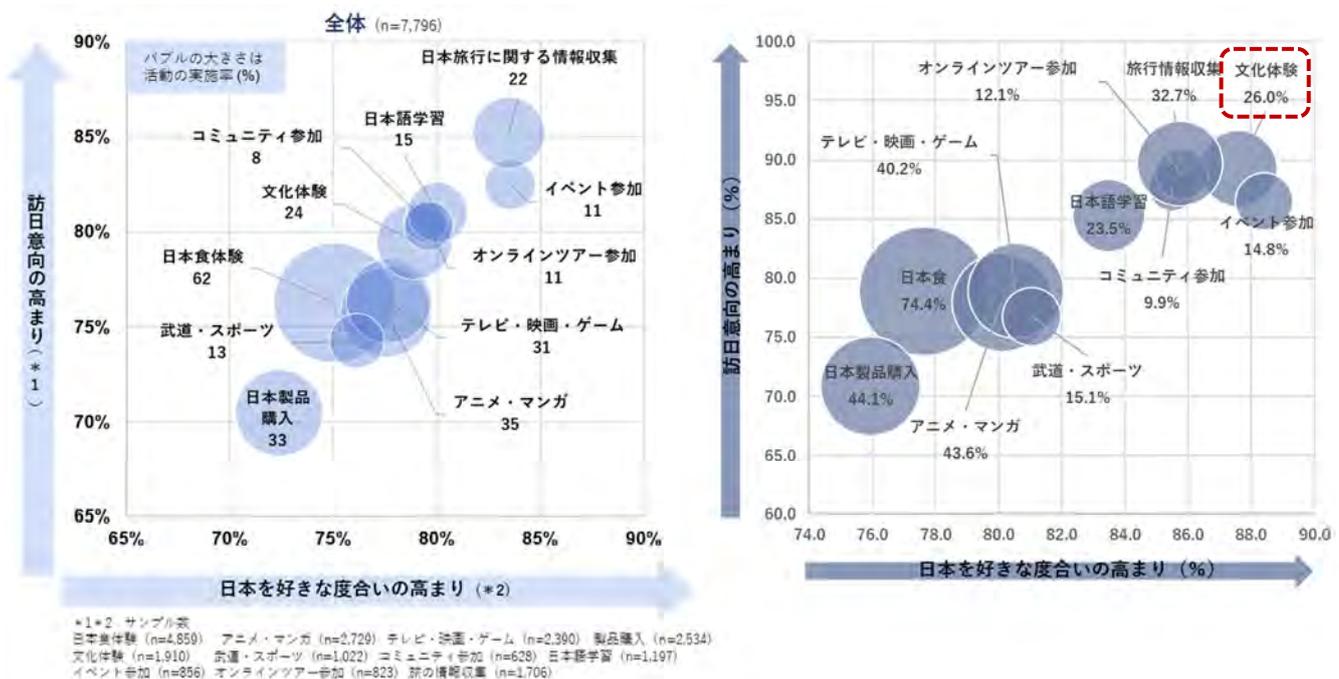
(4) 自国で実施した日本に関する活動とその効果

- ・ 自国で実施した日本に関する活動と、その活動を実施したことによる日本を好きな度合いの高まり、訪日意向の高まりを確認した。
- ・ 沖縄訪問意向者において実施率が高い活動は、「日本食を体験する（日本食）」、「日本企業の製品を購入する（日本製品購入）」、「日本のアニメ、マンガを楽しむ（アニメ・マンガ）」、「日本のアニメ、マンガ以外のテレビ番組、映画、ゲーム、書籍等を楽しむ（テレビ・映画・ゲーム）」であり、いずれも 4 割以上となっている。これらの活動は、日常生活の中で取り入れやすく、幅広く実施されていると想定される。一方で、散布図の右上に位置する「日本の文化を楽しむ、体験する（文化体験）」、「日本に関するイベントに参加する（イベント参加）」、「日本国内を案内するオンラインツアーに参加する（オンラインツアー参加）」は、実施率は相対的に低いものの、訪日意欲の喚起に対する効果が高い。これは回答者全体の傾向と似ているが、特に「文化体験」に関しては、日本への好意度の高まり、訪日意向の高まりとともに全体と比べて 5 ポイント以上高く、沖縄訪問意向者において、より訪日意欲の喚起への効果が高い活動と言える（図表 3-4）。

【図表 3-4】 自国で実施した日本に関する活動の効果

<回答者全体（本編レポートより）>

<沖縄訪問意向者（n=1,394）>



* 1 「訪日意向の高まり」は、各活動を実施した人に、その活動を実施したことによって訪日意向が高まったか否かを 5 段階で聴取り、「活動の実施によって訪日意向が高まった」「活動の実施によって訪日意向がやや高まった」を選択した率の合計。

* 2 「日本を好きな度合いの高まり」は、各活動を実施した人に、その活動を実施したことによって日本を好きな度合いに変化が起きたか否かを 5 段階で聴取り、「活動の実施によって日本が好きな度合いが高まった」「活動の実施によって日本が好きな度合いがやや高まった」を選択した率の合計。

第4章 沖縄に求められる取組の視点

今回の調査結果を踏まえ、訪日客受入にあたり、沖縄には以下の取組が重要になると考えられる。

- ① コロナ禍前後における「沖縄」の認知率、訪問意向率、訪問経験率に大きな変動はないことから、引き続き、認知の底上げに取り組むとともに、訪問意向・訪問経験につながる効果的な取組の検討が必要
- ② アクティビティや自然に配慮したツアー、伝統工芸関連など、沖縄の優位性を活かした体験の環境整備・誘致の強化
- ③ 旅行者のサステナブルやそれに伴う金銭負担への意識の変化や混雑等の環境の変化への早急な対応

1. 認知・訪問意向・訪問経験の底上げ

調査結果	求められる取組の視点
<ul style="list-style-type: none"> - 「沖縄」の認知率はアジアで 45.1%、欧米豪で 23.3%である。 ・ 沖縄訪問経験者ならびに沖縄訪問意向者は、いずれも訪日リピーターの割合が高い。 ・ 沖縄訪日意向者のうち、「訪日経験あり／沖縄訪問経験なし」の割合は約 4 割であり、今後の伸びしろと言える。 ・ 沖縄訪問意向者において、訪日意欲の喚起に特に効果的な活動（自国での活動）は、「日本の文化を楽しむ、体験する」である。また、沖縄訪問経験者に限らず、訪日意欲の喚起に効果的な活動は「日本に関するイベントに参加する」、「日本国内を案内するオンラインツアーに参加する」である。 	<p>◎ 認知の底上げとともに、訪問意向・訪問経験につながる効果的な取組の検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 東アジア市場を中心に、引き続き「認知」の底上げを図る。欧米豪においても、まずは認知の向上に取り組むことで、訪問意向の向上に繋げる。 ➤ 訪日意欲の喚起に効果的な「文化体験」「オンラインツアー参加」「イベント参加」等の活動を軸に、「認知」→「意向」→「経験」へつながる取組に注力する。 ➤ 前述のような海外における沖縄の PR に加えて、訪日観光客に対する沖縄の PR も重要な取組と考えられる。

2. 沖縄の優位性を活かした体験の強化

調査結果	求められる取組の視点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄県における実施率が高い体験は、アクティビティ関連、「伝統工芸品の制作や購入」、「伝統芸能鑑賞」「繁華街の街歩き」等。特にアクティビティ関連や伝統工芸関連は、沖縄訪問意向者のうち沖縄訪問経験者（つまり沖縄リピーター）における意向率が高い。 ・ 沖縄訪問経験者における「意向＞行動」のサステナブルな取組は、「収益の一部を野生動物保護に充てる体験プログラムに参加する」、「省エネ／再生可能エネルギーを利用促進している観光施設を利用」である。また、訪日経験者全体と比較した際に、「意識＞行動」の差分が特に大きい項目は「その地域で許可・認可されているツアーガイドを選択する」、「地域の生態系の保全に貢献できる体験アクティビティに参加する」、「地域ガイドによる野生動物ウォッチングツアーに参加する」である。 	<p>◎ 沖縄の強みを活かした体験の環境整備・誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 自然関連の体験の中でも特に、アクティビティや自然に配慮したツアー、伝統工芸関連など、沖縄の強みを活かした体験の提供に注力する。 ➤ サステナブルに関する意識と行動の乖離が大きい自然保護・保全関連や地域ガイド関連の項目を参考に、沖縄の強みである自然関連の体験と融合させた「沖縄」らしい体験を創る。 ➤ 沖縄が元々保有している自然・文化・食事など多くの資源※を旅行者のニーズにマッチした体験に繋げていく（見せていく）ことも重要である。 ※海を中心とした自然、世界自然遺産に登録された生物・地域社会の多様性、御嶽や聖域、世界文化遺産に指定された琉球王国のグスク及び関連遺産群、伝統祭祀、琉球料理、琉球文化、伝統的な生活スタイル等

3. 旅行者や環境の変化への対応

調査結果	求められる取組の視点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光資源・施設の混雑緩和や保護のため金銭を負担することについての考え方は、コロナ禍前と比較すると「賛成」「やや賛成」の合計が約 20 ポイント上昇。 ・ 沖縄訪問経験者における訪日時のトラブル経験は、いずれの項目も他エリアと大差がない。 ・ 交通に関するトラブル経験率は約 1 割と高い。 	<p>◎ 旅行者の意識、環境変化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ コロナ禍前後で旅行者の意識に変化が見られたが、特にサステナブル関連に関して意識は高まっているものの行動に繋がっていないケースも見受けられる。この状況をチャンスと捉え、自然アクティビティ関連や伝統工芸・伝統芸能など、サステナブルと親和性の高い沖縄の強みを活かす形で、旅行者のニーズに応えていく。 ➤ インバウンド市場の更なる回復を図るとともに、訪日時に経験したトラブルを参考にオーバーツーリズムへの対応も並行して行う。他エリアでの成功事例を参考にした仕組みづくりを進め、特に、本島北部や離島への誘導を進めることで、分散を強化する。 ➤ 2023 年の調査結果に続き、交通に関する課題は沖縄県でも生じているため、継続的な対応が必要である。

「公庫レポート」既刊目録

[数字は号数、()は発行年月]

○ 沖縄県産業連関表による公共投資の波及効果分析 -特に沖縄公庫住宅融資を中心にして-	創刊号(S 56. 3)
○ 沖縄の住宅事情と需要の動向	創刊号(S 56. 3)
○ 昭和57年度設備投資計画調査報告	2 (S 56. 7)
○ 沖縄公庫の融資効果の評価と今後の方向 -沖縄公庫モデルを中心とした計量分析-	2 (S 56. 7)
○ 沖縄のホテル業界の現状と課題	3 (S 57. 3)
○ 沖縄県経済の現状と工業振興の方向	4 (S 57. 8)
○ 昭和58年度設備投資計画調査報告	4 (S 57. 8)
○ 沖縄県主要企業の財務行動	4 (S 57. 8)
○ 昭和58・59年度設備投資計画調査報告	5 (S 58. 8)
○ 沖縄の工業開発と技術集積	6 (S 59. 3)
○ 沖縄県における食肉加工業	6 (S 59. 3)
○ 昭和59・60年度設備投資計画調査報告	7 (S 59. 8)
○ アメリカの地域開発 -いくつかの事例を中心に-	7 (S 59. 8)
○ 昭和59・60年度設備投資計画調査報告(昭和59年10月調査)	8 (S 60. 1)
○ 21世紀沖縄の経済・社会構造と政策課題の提案	8 (S 60. 1)
○ 昭和60・61年度設備投資計画調査報告(昭和60年9月調査)	9 (S 60. 12)
○ 昭和60・61年度設備投資計画調査報告(昭和61年3月調査)	10 (S 61. 7)
○ 復帰特別措置の体系的検討	10 (S 61. 7)
○ 昭和61・62年度設備投資計画調査報告(昭和61年9月調査)	11 (S 62. 2)
○ 規制緩和下における沖縄の航空体制の課題	11 (S 62. 2)
○ 昭和61・62年度設備投資計画調査報告(昭和62年3月調査)	12 (S 62. 6)
○ 動向調査 沖縄の主要産業 -昭和61年度の動向と見通し-	13 (S 62. 11)
○ 地域産業トピックス	13 (S 62. 11)
水産 急成長を遂げるも市況悪化への対応に迫られる車エビ養殖	
流通 中規模店化が進む小売業	
環境変化への対応を迫られる婦人服店	
急成長下、経営戦略が問われる中古車業界	
需要低迷と価格低下で厳しさを増すガソリンスタンド	
サービス 質の変化が著しい飲食業界	
振興事業に着手した美容業界	
リゾート型参入で新展開が見込まれる県内ゴルフ場	
過当競争に突入したスイミングスクール	
○ データ解説 昭和61年度個人住宅資金(一般住宅・建売住宅)利用者調査報告	13 (S 62. 11)
○ 開発調査 沖縄のリゾート開発の課題と開発資金の検討	13 (S 62. 11)
○ 昭和62・63年度設備投資計画調査報告(昭和62年9月調査)	14 (S 62. 12)
○ 昭和62・63年度設備投資計画調査報告(昭和63年3月調査)	15 (S 63. 6)
○ グラム・サイパン市場差別化策の検討	16 (S 63. 8)
○ 動向調査 沖縄の主要産業 -昭和62年度の動向と見通し-	17 (S 63. 11)
○ 地域産業トピックス	17 (S 63. 11)
製造 市場環境の変化と技術革新が著しい印刷業界	
小売 変貌する鮮魚店、食肉店の需要環境	
サービス 新たなサービスのあり方を探る理容業界	
○ データ解説 昭和62年度個人住宅建設資金利用者調査報告	17 (S 63. 11)
○ 昭和63・平成元年度設備投資計画調査報告(昭和63年9月調査)	18 (S 63. 12)
○ 沖縄県の住宅需要動向	19 (H 1. 4)
○ ハワイリゾートの現状と沖縄のリゾート開発の課題 -ハワイリゾート調査報告書-	20 (H 1. 4)
○ 昭和63・平成元年度設備投資計画調査報告(平成元年3月調査)	21 (H 1. 6)
○ 動向調査 沖縄の主要産業の動向-昭和63年度の動向を中心に	22 (H 1. 12)

○ 地域産業トピックス 不動産賃貸 空室率が高い沖縄の貸ビル サービス 沖縄県内の人材派遣業 自動車分解整備業の概要	22	(H 1. 12)
○ データ解説 昭和63年度個人住宅建設資金利用者調査報告 労働生産性が低い県内製造業(工業統計調査より)	22	(H 1. 12)
○ 平成元・2年度設備投資計画調査報告(平成元年9月調査)	22	(H 1. 12)
○ 沖縄洋ラン切花生産の実態・本土市場調査	23	(H 2. 3)
○ タイ国の熱帯果樹農業の現状と輸出産業としての地位 —沖縄県の有望作物としての熱帯果樹産業に関する調査—	23	(H 2. 3)
○ データ解説 平成元年度個人住宅建設資金利用者調査報告	24	(H 2. 7)
○ 平成元・2年度設備投資計画調査報告(平成2年2月調査)	24	(H 2. 7)
○ 沖縄県におけるバイオマス資源活用産業 —新規胎動産業を探る—	25	(H 2. 8)
○ 地域産業トピックス 琉球ガラス産業界の現況 成長著しい県内の生花小売業 県内水産加工業の生産状況 競合激しい県内クリーニング業	26	(H 3. 3)
○ 平成2・3年度設備投資計画調査報告(平成2年9月調査)	26	(H 3. 3)
○ データ解説 平成2年度個人住宅建設資金利用者調査報告	27	(H 3. 7)
○ 平成2・3年度設備投資計画調査報告(平成3年3月調査)	27	(H 3. 7)
○ 沖縄県の観光土産品店	28	(H 4. 1)
○ 平成3・4年度設備投資計画調査報告(平成3年9月調査)	28	(H 4. 1)
○ データ解説 平成3年度個人住宅建設資金利用者調査報告	29	(H 4. 8)
○ 平成3・4年度設備投資計画調査報告(平成4年3月調査)	29	(H 4. 8)
○ 平成4・5年度設備投資計画調査報告(平成4年10月調査)	30	(H 5. 2)
○ データ解説 平成4年度マイホーム新築資金利用者調査報告	31	(H 5. 9)
○ 平成4・5年度設備投資計画調査報告(平成5年3月調査)	31	(H 5. 9)
○ 平成5・6年度設備投資計画調査報告(平成5年9月調査)	32	(H 6. 2)
○ 平成5・6年度設備投資計画調査報告(平成6年3月調査)	33	(H 6. 7)
○ 正念場を迎えるエステティック業界	34	(H 6. 8)
○ 泡盛製造業の現況について	34	(H 6. 8)
○ 需要低迷下生産性の向上が求められる生コン業界	35	(H 6. 9)
○ 沖縄県の花弁農業	35	(H 6. 9)
○ 沖縄県の伝統工芸産業	35	(H 6. 9)
○ データ解説 平成5年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成5年度マンション購入資金利用者調査報告	36	(H 6. 10)
○ 沖縄のデンファレ(切花)について	37	(H 6. 10)
○ 生産性の向上と新しい生産技術への対応が求められる印刷業界	37	(H 6. 10)
○ 貸アパート業実態調査	38	(H 6. 11)
○ 沖縄県のプレハブ住宅の現状について	38	(H 6. 11)
○ 競争激化が進む中で経営体質強化が求められる建設業	39	(H 6. 12)
○ 平成6・7年度設備投資計画調査報告(平成6年9月調査)	39	(H 6. 12)
○ インドネシア・バリ島リゾートの現状	40	(H 7. 2)
○ マンゴー栽培の現状と産地形成に向けての課題	41	(H 7. 3)
○ 総合産業への変容が求められる500万人時代の沖縄観光	42	(H 7. 3)
○ 県内製糖業の現状	43	(H 7. 3)
○ 平成6・7年度設備投資計画調査報告(平成7年3月調査)	44	(H 7. 5)
○ 公庫住宅資金利用者に係る耐久消費財等購入実態調査	45	(H 7. 8)

○ 県内駐車場業の現状と課題	46	(H 7. 9)
○ データ解説	47	(H 7. 9)
平成6年度マイホーム新築資金利用者調査報告		
平成6年度マンション購入資金利用者調査報告		
○ 平成6・7年度設備投資計画調査報告(平成7年9月調査)	48	(H 7. 12)
○ 薬草加工販売業の現状と課題	49	(H 8. 1)
○ 新規開業の実態	50	(H 8. 1)
○ 持家取得実態調査	51	(H 8. 3)
○ 「わしたショップ」—拠点方式による県産品のマーケティング—	52	(H 8. 5)
○ 平成7・8年度設備投資計画調査報告(平成8年3月調査)	53	(H 8. 6)
○ 沖縄県におけるタラソテラピー事業可能性の検討(フランス・タラソテラピー業界視察報告)	54	(H 8. 6)
○ 沖縄での展開が有望なタラソテラピーについて	54	(H 8. 6)
○ 県内小売業の現状	55	(H 8. 7)
○ データ解説	56	(H 8. 7)
平成7年度マイホーム新築資金利用者調査報告		
平成7年度マンション購入資金利用者調査報告		
○ 沖縄の養蜂	57	(H 8. 8)
○ 平成7・8年度設備投資計画調査報告(平成8年9月調査)	58	(H 8. 12)
○ 県内レンタカー業の現状	59	(H 9. 1)
—大規模な規制緩和のもと、更なる発展が見込まれる県内レンタカー業—		
○ 県内貸ビル業の現状	60	(H 9. 2)
—空室率が高い沖縄の貸ビル—		
○ マイホーム新築資金住宅の建設実態	61	(H 9. 3)
○ 車エビ養殖業の現状と課題	62	(H 9. 4)
—全国一の生産県となるも市況悪化への対応が迫られる車エビ養殖業界—		
○ 台湾の中小企業とOEM	63	(H 9. 5)
○ 平成8・9年度設備投資計画調査報告(平成9年3月調査)	64	(H 9. 6)
○ データ解説	65	(H 9. 10)
平成8年度マイホーム新築資金利用者調査報告		
平成8年度マンション購入資金利用者調査報告		
○ 公庫住宅資金利用者に係る耐久消費財等購入実態調査	66	(H 9. 10)
○ 平成8・9年度設備投資計画調査報告(平成9年9月調査)	67	(H 9. 12)
○ 廃棄物リサイクル産業の現状と課題	68	(H 10. 6)
○ 平成9・10年度設備投資計画調査報告(平成10年3月調査)	69	(H 10. 6)
○ 沖縄の産業振興とマルチメディア	70	(H 10. 7)
○ データ解説	71	(H 10. 10)
平成9年度マイホーム新築資金利用者調査報告		
平成9年度マンション購入資金利用者調査報告		
○ 平成9・10年度設備投資計画調査報告(平成10年9月調査)	72	(H 10. 12)
○ 平成9年度ホテル経営状況	73	(H 10. 12)
○ ダイビング業界の現状と課題	74	(H 11. 3)
○ 平成10・11年度設備投資計画調査報告(平成11年3月調査)	75	(H 11. 8)
○ 平成10・11年度設備投資計画調査報告(平成11年9月調査)	76	(H 11. 12)
○ 平成10年度ホテル経営状況	77	(H 12. 2)
○ 新規開業の現状と創業支援	78	(H 12. 5)
○ 沖縄観光の構造転換に向けた整備課題 —ハワイを比較軸として—	79	(H 12. 7)
○ 1999・2000年度設備投資計画調査報告(2000年3月調査)	80	(H 12. 8)
○ 1999・2000年度設備投資計画調査報告(2000年9月調査)	81	(H 12. 12)
○ データ解説	82	(H 13. 1)
平成11年度マイホーム新築資金利用者調査報告		
平成11年度マンション購入資金利用者調査報告		
○ 台湾アグロインダストリー調査報告	83	(H 13. 3)
○ 1999年度ホテル経営状況	84	(H 13. 3)

○ 2000・2001年度設備投資計画調査報告(2001年3月調査)	85	(H 13. 5)
○ 地方都市の水産物市場と水産業の振興 ―自由な市場と消費の拡大―	86	(H 13. 7)
○ 2000・2001年度設備投資計画調査報告(2001年9月調査)	87	(H 13. 12)
○ マンションの維持管理に関する調査報告	88	(H 14. 1)
○ 台湾情報通信産業調査報告	89	(H 14. 2)
○ 2000年度ホテル経営状況	90	(H 14. 3)
○ 県内ホテルの経営課題と改善に向けた方向性	90	(H 14. 3)
○ 2001・2002年度設備投資計画調査報告(2002年3月調査)	91	(H 14. 6)
○ データ解説 平成13年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成13年度マンション購入資金利用者調査報告	92	(H 14. 11)
○ 2001・2002年度設備投資計画調査報告(2002年9月調査)	93	(H 14. 12)
○ 2001年度ホテル経営状況	94	(H 15. 7)
○ 2002・2003年度設備投資計画調査報告(2003年3月調査)	95	(H 15. 8)
○ 2002・2003年度設備投資計画調査報告(2003年9月調査)	96	(H 16. 1)
○ 2003・2004年度設備投資計画調査報告(2004年3月調査)	97	(H 16. 6)
○ データ解説 平成14年度マイホーム新築資金利用者調査報告 平成14年度マンション購入資金利用者調査報告	98	(H 16. 7)
○ 2002年度ホテル経営状況	99	(H 16. 8)
○ 2003・2004年度設備投資計画調査報告(2004年9月調査)	100	(H 16. 11)
○ 2004・2005年度設備投資計画調査報告(2005年3月調査)	101	(H 17. 6)
○ 2004・2005年度設備投資計画調査報告(2005年9月調査)	102	(H 17. 11)
○ 2005・2006年度設備投資計画調査報告(2006年3月調査)	103	(H 18. 9)
○ 泡盛業界の現状と課題 ―最近の泡盛・もろみ酢の動向を中心に―	104	(H 18. 10)
○ 2005・2006年度設備投資計画調査報告(2006年9月調査)	105	(H 18. 12)
○ 2006・2007年度設備投資計画調査報告(2007年3月調査)	106	(H 19. 9)
○ 2006・2007年度設備投資計画調査報告(2007年9月調査)	107	(H 19. 11)
○ バイオエタノールの現状 ―JETRO・ブラジルバイオエタノールミッション報告―	108	(H 20. 3)
○ 2007・2008年度設備投資計画調査報告(2008年3月調査)	109	(H 20. 6)
○ 沖縄公庫取引先からみた新規開業の現状	110	(H 20. 7)
○ 2007・2008年度設備投資計画調査報告(2008年9月調査)	111	(H 20. 11)
○ 2007年度県内主要ホテルの稼働状況	112	(H 20. 12)
○ 2008・2009年度設備投資計画調査報告(2009年3月調査)	113	(H 21. 6)
○ 2008・2009年度設備投資計画調査報告(2009年9月調査)	114	(H 21. 12)
○ 沖縄県内ホテルのホスピタリティ向上への取り組み状況 2008年度県内主要ホテルの稼働状況	115	(H 22. 3)
○ 2009・2010年度設備投資計画調査報告(2010年3月調査)	116	(H 22. 6)
○ 2009年度県内主要ホテルの稼働状況	117	(H 22. 7)
○ 沖縄公庫取引先からみた新規開業の現状2010	118	(H 22. 9)
○ 2009・2010年度設備投資計画調査報告(2010年9月調査)	119	(H 22. 11)
○ 沖縄県内の「道の駅」と「農産物直売所」	120	(H 23. 4)
○ 2010・2011年度設備投資計画調査報告(2011年3月調査)	121	(H 23. 6)
○ 2010年度県内主要ホテルの稼働状況 東日本大震災による県内主要ホテルへの影響	122	(H 23. 7)
○ 2010・2011年度設備投資計画調査報告(2011年9月調査)	123	(H 23. 11)
○ 平成22年度 沖縄公庫教育資金利用者調査報告	124	(H 24. 4)

○ 2011・2012年度設備投資計画調査報告(2012年3月調査)	125	(H 24. 6)
○ 2011年度県内主要ホテルの稼働状況 八重山主要ホテルの稼働状況	126	(H 24. 10)
○ 2011・2012年度設備投資計画調査報告(2012年9月調査)	127	(H 24. 11)
○ 沖縄:新たな挑戦 経済のグローバル化と地域の繁栄 世界の目を沖縄へ、沖縄の心を世界へ	128	(H 25. 2)
○ OKINAWA: THE CHALLENGES AHEAD THRIVING LOCALLY IN A GLOBALIZED ECONOMY "AS THE EYES OF THE WORLD FOCUS ON OKINAWA OKINAWA OFFERS ITS HEART TO THE WORLD"	129	(H 25. 2)
○ 2012・2013年度設備投資計画調査報告(2013年3月調査)	130	(H 25. 6)
○ 2012年度県内主要ホテルの稼働状況	131	(H 25. 9)
○ 2012・2013年度設備投資計画調査報告(2013年9月調査)	132	(H 25. 12)
○ 平成24年度 沖縄公庫教育資金利用者調査報告	133	(H 26. 5)
○ 2013・2014年度設備投資計画調査報告(2014年3月調査)	134	(H 26. 6)
○ 世界自然遺産登録を活かした奄美・琉球の地域活性化策 (やんばる地域・西表島編)～持続可能な地域づくりに向けて～	135	(H 26. 6)
○ 県内主要ホテルの動向分析 第一部 2013年度県内主要ホテルの稼働状況 第二部 シティホテルの長期稼働状況からみた今後の取組 第三部 県内の宿泊特化型ホテルの動向分析	136	(H 26. 10)
○ 2013・2014年度設備投資計画調査報告(2014年9月調査)	137	(H 26. 11)
○ 「人手不足の影響と人材確保の取組」に関する調査報告	138	(H 27. 4)
○ 「沖縄の6次産業化認定企業の現況と今後の取組」に関する調査報告	139	(H 27. 5)
○ 2014・2015年度設備投資計画調査報告(2015年3月調査)	140	(H 27. 6)
○ 沖縄公庫取引先からみた新規開業の現状2015	141	(H 27. 10)
○ 県内主要ホテルの動向分析 第一部 2014年度県内主要ホテルの稼働状況 第二部 新石垣空港開港に伴う八重山地域主要ホテルの稼働状況	142	(H 27. 11)
○ 2014・2015年度設備投資計画調査報告(2015年9月調査)	143	(H 27. 11)
○ 平成26年度 沖縄公庫教育資金利用者調査報告	144	(H 28. 3)
○ 「インバウンドの影響とその取組」に関する調査報告	145	(H 28. 3)
○ 2015・2016年度設備投資計画調査報告(2016年3月調査)	146	(H 28. 6)
○ 2015・2016年度設備投資計画調査報告(2016年9月調査)	147	(H 28. 11)
○ 県内主要ホテルの動向分析 第一部 2015年度県内主要ホテルの稼働状況 第二部 沖縄県内主要ホテルの人手不足に関する調査報告	148	(H 28. 12)
○ 「沖縄における若年雇用問題ーミスマッチを生む意識構造の分析を中心にー」 に関する調査報告	149	(H 29. 2)
○ 定住・交流人口の維持・増加に向けた考察 第一部 沖縄への移住意向に関する調査報告 第二部 沖縄の離島観光に関する意識調査報告	150	(H 29. 5)
○ 2016・2017年度設備投資計画調査報告(2017年3月調査)	151	(H 29. 5)
○ 県内主要ホテルの動向分析 第一部 2016年度県内主要ホテルの稼働状況 第二部 リーマンショック直前からの長期推移	152	(H 29. 10)
○ 2016・2017年度設備投資計画調査報告(2017年9月調査)	153	(H 29. 11)
○ 拡大する沖縄経済の下で深刻化する人手不足 ～県内企業への影響と課題への対応～	154	(H 30. 1)
○ 県内小規模企業実態調査報告	155	(H 30. 5)
○ 2017・2018年度設備投資計画調査報告(2018年3月調査)	156	(H 30. 6)
○ 教育資金と進学意識に関する調査結果 第一部 平成28年度 沖縄公庫教育資金利用者調査 第二部 進学に対する親と学生の意識調査	157	(H 30. 6)
○ 沖縄公庫取引先からみた泡盛メーカーの現状と課題について	158	(H 30. 7)

○ 2017・2018年度設備投資計画調査報告(2018年9月調査)	159	(H 30. 11)
○ 県内主要ホテルの動向分析	160	(H 31. 3)
第一部 2017年度県内主要ホテルの稼働状況		
第二部 県内主要ホテルの改装動向		
○ 2018・2019年度設備投資計画調査報告(2019年3月調査)	161	(R 1. 6)
○ 2018・2019年度設備投資計画調査報告(2019年9月調査)	162	(R 1. 11)
○ 2018年度県内主要ホテルの稼働状況	163	(R 1. 12)
○ 平成30年度 沖縄公庫教育資金利用者調査	164	(R 2. 3)
○ 2019・2020年度設備投資計画調査報告(2020年3月調査)	165	(R 2. 6)
○ 2019・2020年度設備投資計画調査報告(2020年9月調査)	166	(R 2. 12)
○ 沖縄県内の物流需給バランスの現状と将来推計について	167	(R 3. 3)
○ 沖縄公庫取引先の事業承継に関する実態調査	168	(R 3. 3)
○ 2019年度県内主要ホテルの稼働状況	169	(R 3. 6)
○ コロナ禍における自治体経営の状況と今後の展望	170	(R 3. 6)
○ 「コロナ禍における旅行者の動向と沖縄が取り組むべき事項」に関する調査	171	(R 3. 6)
第一部 「コロナ禍における日本人旅行者の動向と沖縄が取り組むべき事項」 に関する調査報告		
第二部 「コロナ禍における訪日外国人旅行者の意向と沖縄が取り組むべき事項」 ～DBJ・JTBFアジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)より～		
○ 2020・2021年度設備投資計画調査報告(2021年3月調査)	172	(R 3. 6)
○ 2020・2021年度設備投資計画調査報告(2021年9月調査)	173	(R 3. 10)
○ 2020年度県内主要ホテルの稼働状況	174	(R 3. 11)
○ 新型コロナウイルス感染症の県内景況に及ぼす影響について	175	(R 4. 2)
○ 令和2年度 沖縄公庫教育資金利用者調査報告	176	(R 4. 3)
第一部 令和2年度 沖縄公庫教育資金利用者調査		
第二部 令和2年度 沖縄公庫教育資金利用者意識調査		
○ ポストコロナ時代に向けた自治体経営の状況と今後の展望	177	(R 4. 5)
○ コロナ禍における日本人・訪日外国人の沖縄旅行に関する調査	178	(R 4. 5)
第一部 コロナ禍における日本人の沖縄旅行に関する調査(2021年版)		
第二部 コロナ禍における訪日外国人旅行者の意向調査【沖縄版】 ～DBJ・JTBFアジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回 新型コロナ影響度 特別調査)より～		
○ 「ポストコロナ時代における沖縄観光のあり方」に関する調査 ～これからの“旅行牽引世代”の意向を踏まえた観光(観光地)とは～	179	(R 4. 6)
○ 2021・2022年度設備投資計画調査報告(2022年3月調査)	180	(R 4. 6)
○ 2021・2022年度設備投資計画調査報告(2022年9月調査)	181	(R 4. 11)
○ 2021年度県内主要ホテルの稼働状況	182	(R 5. 1)
○ ポストコロナ時代における沖縄観光の二次交通に関する調査 ～レンタカーを利用しない観光客のニーズから考える移動手段～	183	(R 5. 6)
○ コロナ禍からの再始動に向けた日本人・訪日外国人の沖縄旅行に関する調査	184	(R 5. 6)
第一部 コロナ禍における日本人の沖縄旅行に関する調査(2022年度版)		
第二部 訪日外国人旅行者のサステナブルツーリズムへの意向と沖縄観光について		
○ 県内都市公園の現況と課題に関する調査	185	(R 5. 6)
○ 2022・2023年度 設備投資計画調査報告(2023年3月調査)	186	(R 5. 6)
○ 沖縄振興計画に沖縄公庫が果たしてきた役割 ～政策金融にみる20年間(平成14～令和3年度)の沖縄振興～	187	(R 5. 7)
○ 2022年度県内主要ホテルの稼働状況	188	(R 5. 1)
第一部 2022年度県内主要ホテルの稼働状況		
第二部 (寄稿)人手不足が県内宿泊施設の稼働に与える影響の試算		
○ 2022・2023年度 設備投資計画調査報告(2023年9月調査)	189	(R 5. 11)
○ 日本人・訪日客の沖縄旅行に関する調査(2023年版)	190	(R 6. 6)
第一部 日本人の沖縄旅行に関する調査		
第二部 訪日客の沖縄旅行に関する調査		
○ サステナブルツーリズムの実現に向けた日本人観光客の意向調査	191	(R 6. 6)

○ 「住宅確保に関する現状と課題」に関する調査	192 (R 6. 6)
○ 2023・2024年度 設備投資計画調査報告(2024年3月調査)	193 (R 6. 6)
○ 2023・2024年度 設備投資計画調査報告(2024年9月調査)	194 (R 6. 11)
○ 2023年度県内主要ホテルの稼働状況	195 (R 6. 12)
○ 統計資料でみる沖縄県内物流の現状	196 (R 7. 2)
○ 教育資金と県民の大学等進学への課題に関する調査報告	197 (R 7. 3)
○ 沖縄におけるソーシャルビジネスの現況	198 (R 7. 5)
○ 沖縄本島内における陸上交通の現状と課題	199 (R 7. 6)
○ 日本人・訪日客の沖縄旅行に関する調査(2024年版)	200 (R 7. 6)
第一部 日本人の沖縄旅行に関する調査	
第二部 訪日客の沖縄旅行に関する調査	

公庫レポート

令和7年6月発行

編集兼発行者 大西 公一郎

発行所 沖縄振興開発金融公庫

調査部 地域連携情報室

那覇市おもろまち1丁目2番26号

電話(098)941-1853

FAX(098)941-1920

URL <https://www.okinawakouko.go.jp>

印刷所 有限会社アイドマ印刷

本レポートは再生紙を使用しています。



沖縄振興開発金融公庫
THE OKINAWA DEVELOPMENT FINANCE CORPORATION